

都市計畫法案外一件(都市計畫法案)委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正八年三月十二日午前九時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

小山	溫君	若尾	幾造君	坪田	十郎君
前田	米藏君	米田	穰君	岩崎總十郎君	
則元	由庸君	三輪市太郎君	高木	正年君	
横田	孝史君	森	秀次君	横山勝太郎君	
小山	松壽君	磯貝	浩君	川崎安之助君	
渡邊	昭君	白河	次郎君	高木益太郎君	
櫻井兵五郎君					

同月十一日委員横山金太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日戶井嘉作君ヲ、又同月十二日委員長田桃藏君、委員棚瀬軍之佐君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日三輪市太郎君、櫻井兵五郎君ヲ就モ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣	床次竹二郎君
出席政府委員左ノ如シ	內務書記官 池田 宏君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

都市計畫法案

市街地建築物法案

○委員長 法學博士小山溫君) ソレデハ是ヨリ開會致シマス

○小山松壽君 此都市計畫法案ト建築物法案ノ兩法案ニ就テ、本日ハ特ニ內務大臣ノ御答ヲ得タイト存ジマス私ノ質問ハ大別致シマシテ五ツニ分ケテ居リマスガ、其各一問ニ付テ二三點ツ、申述ヘマスカラ、一問ツ、御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ私ハ本案ノ大體ノ趣旨ニ於テ、其必要ヲ政府ト感テ同ジウスル者デゴザイマスカラ、私ノ質問ハ大體要ヲ摘申上ゲマス、但シ御答ハ成ベク細說ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス、而シテ私ノ質問ハ、此質問ヲ致シマスレバ此兩案ニ對スル質問ヲ終ル積リデアリマス、第一ニ近年都市ガ年々各種ノ方面ニ發達致シテ來マシタ結果、國家トシテモ之ヲ統一指導シ若クハ整理シテ、其都市本來ノ目的ヲ達スルコトヲ云フ目的カラ、兩案ヲ御提出ノコト、了解スルデアリマス、デ此都市大體ノコトニ付テハ、是ハ申上ゲルマデモナク、當局大臣ニ於テモ能ク御承知ノコト、ハ存シマスガ、但シ此計畫法案ノ第一條及建築物法案ノ第一條、計畫法案ノ第十條、建築物法案第四條、十三條、十五條等ニ依リ

マシテ、是等ニ關係スル條項ニ相當リマスルコトニ付テノ御尋ヲシタイト思フデアリマス、計畫法案ノ第一條ニ於テ、經濟、衛生、保安、交通ト云フモノヲ大體ノ眼目トシテ、地域内ニ於テ又ハ其地域外ニ互リ執行スルコト云フ此精神ヲ酌ミマシテ、此建築物法ニ現ハレテ參ルデアリマス、第二條ニ於テ主務大臣ガ決定セラレテ閣議ヲ經テ之ヲ執行セラレルト云フコトデアリマス、是ハ頗ル重要ナモノニ當テ居ルデアリマスガ、元來此都市計畫ハ昨年ノ議會ニ於テ、此二重監督ノ制ヲ廢シマシテ、直接監督トシテ此目的ヲ達スルト云フコトニ付テノ精神デアタト認メルデアリマス、ソコデ其結果トシテ第一ニ御尋シタイノハ、實ハ當局內務大臣モ此道路法ノ委員會ニ御出席ニナリマシタ當時、本員モ委員デアリマシテ、道路法ノ關係上、都市計畫法ニ關シテハ案ニ對シテ、政府當局ニ御尋シマシタ所ガ、未定稿デアアルガ差支ナイモノデアアルカラ御目ニ懸ケヤウ、斯ウ云フ御話デアタ、其未定稿ナルモノ、計畫法ニ依リマスレバ、其第九條ニ、內務大臣ノ特ニ指定スル都市計畫事業ニ對シテハ國庫ヨリ其ノ一部ヲ補助スルコトヲ得ト云フ規定ガゴザイマシタ、吾々都市ニ付テハ多少研究致シテ居ル者デ、頗ル其意ヲ強ウシタデアリマス、此點ニ付テ本案ヲ見マサルト、此條項ニ相當ルモノガゴザイマセヌ、隨テ其失望ヲ多カラシメタデアリマシテ、過日ノ委員會ニ於テ大藏大臣ノ出席ヲ求メマシテ、此點ニ付テ質問致シマシタ所ガ甚ダ要領ヲ得マセヌデアリマス、大體ニ於テ最後ニハ御了解ヲ得タヤウデアリマシタガ、先ツ當局大臣トシテハ唯今申上ゲマシタ未定稿ニ於テ、此國庫補助ノ事アリ、而シテ今回御提出ノ法案ニ此事ガ無イ、併ナガラ其精神ニ於テ何等カ御考慮ノアルコト、信ジマスカラ、此點ヲ第一ニ伺ヒタイデアリマス、ソレカラ第二ニ此都市計畫委員會ノ事デアリマス、是ハ頗ル重大ナ權限ヲ與ヘラレヤウデアリマス、固ヨリ是ハ此位ノ代理ヲ致ス者ニハ、或ル程度マデハ其必要ヲ感ズルデアリマスガ、併ナガラ本案ヲ一面カラ見マスルト、殆ト官憲萬能ト云フ風ニモ見エマシテ、一方カラ見レバ自治體ノ精神ヲモ能ク發揮セシメ、又自治體ノ精神ノテ爾所ヲ認メテ居ルヤウデアアルガ、此點ニ對シテモ能ク考ヘテ置ク必要ガアラウト思ヒマス、此市區改正ノ事ニ對シテ、東京市區改正條例ニ依リマシテ、此準用ヲ受ケマシタ所ノ大都會モソレノ改正委員ノ任命ガゴザイマシタ、私ノ考ヘル所ニ依リマスレバ、此任命致シマシタ市區改正ノ調査委員ハ、本案

ノ分布ニ依リマシテ當然舊法ハ消滅イタスデアリマスカラ、更ニ都市計畫委員ト云フ者ノ任命ヲ見ルコト、思ヒマスガ、是ハ當然ノ事トシテ必要ナデアリマスガ、就テハ本案ニ依テ任命サレル所ノ都市計畫委員ナル者ハ、私一個ノ考ヲ以テ申上ゲマスレバ、是等ハ地方自治體ノ重要ナ事業執行ノ機關ニ當ルデアリマスカラ、今日任命サレテ居ル手續、即チ知事ノ推薦ニ依リ、之ニ依テ主務大臣ノ任命奏請ノ手續ヲ執ラレルト云フコトノ手續ヲ更ニ立憲的ニ致シマシテ、其大都會ノ市會議員中ヨリ、市會ニ於テ之ヲ選舉セシメテ、而シテ其選舉ニ基イテ委員ヲ任命スルコトガ極メテ立憲的ナル事ト思ヒマス、此二點ニ付テ御答ヲ得タイト思ヒマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 第一問ハ國庫補助ニ關スル規定此原案ヲ提出スルマデノ間ニ色々審議ヲ致シタデアリマシタガ、結局殊ニ此所ニ明記シテ置ク必要モアルマイ、特ニ設ケル必要モアルマイト云フノ點ヲ次第デアリマス、此事柄ハ唯今ノ御尋ニハアリマセヌガ、國庫ノ補助ニ關スル規定、或ハ此市區改正ニ付テハ特別會計ヲ設ケルトカ、若クハ公債ノ募集ヲ爲スコトガ出來ルトカ、現在市區改正條例ノ中ニモアリマスガ、前回モ申シマシタ如ク、特ニ此所ニ入レテ置ク必要モアルマイト云フコトヲ創ツノデス、其趣意ハドウ云フ譯カト言ヘバ、是ハ詰リ有テモ無クテモ宜イ箇條デアリマシテ、國庫ハ必要ヲ認メテ補助セント欲スレバ、何時デモ議會ノ御協賛ニ依テ爲シ得ル譯デアリマス、御尋ニハ無クテモ序ニ又申シテ置キマスガ、特別會計ノ設定デアルト云フヤウナ事柄ハ、市町村制ノ中ニ在ル所ニ依テ自然出來ル事柄デアリマスカラ、有レバ明カデアリマスガ、無イ所ガ實行上ニ何等差支ナイコトデアリマスレバ、テ創ツノデアリマス、色々是ガ無クレバ國庫ハ補助セヌ積リデハナイカト云フヤウナ、或ハ御疑ガアルカモ知レマセヌガ、左様ナ次第デアリマシテ、必要ナル仕事ダケハ實行致シタイト思フデアリマス、ソレナラバ此所ニ此箇條ヲ更ニ挿入シタラドウカト云フ、又併セテ御尋モアルカモ知レマセヌガ、ソレハ挿入致シテモ別ニ差支モゴザイマセヌ、ゴザイマセヌガ當局ニ於テハ右様ナ次第デアリマスカラ、此所ニ更ニ修正シテ加ヘルナド、云フコトハ、ドウゾ相成ベクハ意見ヲ御提出下サラヌヤウニ、當局者ノ説明ニ依テ自由ニ働キノ出來ルコトデアアルカラ、併シ將來ノ當局者ハ知リマセヌガ、現當局者

ニ於テハ有ル無シニ拘ラズ、必要ナル事業ニ出會ハシタ時
分ニハ、相當ノ盡力ヲ致スノデアリマス、斯ウ云フヤウナコ
トデ會期モ切迫シテ居リマスカラ、成ベク原案ノ儘デ御賛
成ヲ願フコト云フコトヲ併セテ申上ゲテ置キマス、ソレカラ委
員會ノ組織ニ付テハ、唯今ノ御連ノコトハ至極御尤ナ事ト
考ヘマスカラ、相成ベク左様ニ致シタイト思ヒマス、又尤モ
此事ハ勅令デ規定シテ宜イコトデアリマスカラ、凡ソ是ダケ
ノ御話ヲシテ御同感デアルト云フコトノ御答ヲシテ置キマス
○小山松壽君 唯今ノ御答ヲ得マシテ一二共ニ私ハ滿
足ヲ表シマス、第二問ニ移リマシテ大體ノ御方針ヲ承リタ
イト思フノハ、此中ノ第一ト致シマシテハ、此都市計畫法ハ
大體ノ御方針ヲシテハ、舊市街ヲ整理スルコト云フ御方針ニ
依リマスルカ、舊市街ハ非常ニ整理ニ巨額ノ金額ヲ要スル
カラ、是ハソコノニシテ置イテ、新市街ヲ建設スルコト云フ方
ノコトガ、寧ろ將來ニ於テハ便宜デハナイカト云フ方ニナル
カ執レノ御方針ヲ御執リニナリマスガ、是等ハ時間ノ浪費
ト勢力ノ經濟ト云フヤウナ事ガ伴ヒマスルコトデアリマス
カラ、此事ニ付テハ大體ノ御方針ヲ承テ置キマス、隨テ第
二ニ起リマスル御尋ヲ致シマスガ、其新市街ノ都市計畫
ノ方ガ將來ニ考ヘテ宜カラウト思フガ、最モ都市ノ狀況ニ
依リマスコトデ、御斷リ申シテ置カレバナラヌコトハ、殆
ド隣接町村ノ關係ト云フ問題ガ起リマス、是等ハ計畫
法ノ一條、二條、建築法ノ第二十三條ニ該當スルモノデア
リマス、而シテ此隣接町村ノ事ニナリマスル、市區改正條
例ニ依リマスレバ、其第一條ノ中ニ「東京市區改正委員會
ハ市區改正ノ設計及毎年度施行スベキ事業ヲ東京市ノ
區域外ニ互リ議定スルコトヲ得」同第十四條ニ「第一條第
二項ノ規定ニ依ル事業ニシテ東京市ノ區域外ニ於テ施行
スベキ部分ハ前項ノ規定ニ拘ラズ其地ノ町村長之ヲ施行
スベシ但シ勅令ノ定ムル所ニ依リ町村長其施行ヲ東京市
長ニ委託シ又ハ內務大臣東京市長ヲシテ施行セシムルコ
トヲ得」前條第一項又ハ第二項ニ依リ要スル費用ハ東京
市又ハ東京市及事業地ノ町村ノ負擔トス「前項ノ負擔ニ
付テハ關係市町村長ノ意見ヲ聞キ東京市區改正委員會
ノ議定ヲ取り內務大臣之ヲ定ム」斯ウ云フコトガゴザイマ
ス、又建物處分規則ト云フ勅令ガアリマス、其規則ノ第一
條ニ「民有地及其地ニ屬スル民有ノ建物植物又ハ官有地
ニ在ル民有ノ建物植物等ハ（東京府知事）其所有者ト協
議ノ上相當ノ代價又ハ移轉料ヲ償却スベシ」若シ協議調
ハザルトキハ雙方ヨリ評價人各一人ヲ出シ評價セシメ（東
京府知事）之ニ意見ヲ付シ內務大臣ノ決ヲ請ヒ之ヲ定ム
ベシ」ソレカラ第二條「市區改正ノ爲メニ民有地買上ノ場
合ニ於テ一宅地ヲ爲スニ足ラザル殘餘ヲ生ズルモノハ併セ

テ之ヲ買上グベシ」同三條「市區改正ニ關シ不用ニ屬シタ
ル土地一宅地ヲ爲スニ足ルモノニシテ幾ニ公用土地買上
規則又ハ本則第一條ニ依リ買上タルモノハ原價ヲ以テ特
ニ舊所有者ニ拂下ベシ若シ舊所有者之ヲ買受ルコトヲ欲
セザルカ又ハ舊所有者ナキモノハ直ニ公賣ニ付スベシ」前
項ノ土地一宅地ヲ爲スニ足ラザルモノハ其接續地ノ所有
者之ヲ買受クベキモノトス若シ其所有者之ヲ買受ルコトヲ
欲セザルトキハ（東京府知事）ハ第一條ニ依リ其接續地及
建物植物等ヲ買上クベシ」斯ウ云フヤウナ規定ガゴザイマ
ス、是等ハ本案ニ規定モゴザイマセヌガ、或ハ委任命令ニ讓
ラル、コトト思ヒマスガ、是等ノ事ハ何レモ所有權ニ關シテ
重要ノコトニ當リマスガ、此點ニ關シテ御意見ヲ伺ヒタク思
ヒマス

致サウト云フコトニ改正ヲ致シテ居リマス、又區域外ニ互
テ同一ノ大計畫ヲ立テル時分ノ爲メニモ、此度ノ方ガ便利
ヲ開イテアリマス積リデアリマス、或ハ又道路ノ改築ヲ致ス
ニ付テ、道路ノ兩側ニ於ケル建築地ノ設定ヲ致スニ付テモ、
此度ノ法律デハ餘程便宜ヲ圖ツタ積リデアリマス、左様ニ御
承知ヲ願ヒマシテ、委シキ各箇條ニ付テハ却テ政府委員ヨ
リ申上ゲル方ガ詳細ヲ盡シマスコト、思ヒマス

○國務大臣（床次竹二郎君） 第一問ハ舊市街ヲ整理ス
ルカ若クハ寧ろ新市街ヲ設定スル積リニシタ方ガ宜イカト
云フ、斯ウ云フ御尋デアッタト思ヒマスガ、是ハ土地ノ狀況ニ
依テ自ラ定マル問題デアリマスケレドモ、併シ大體ノ舊
市街ヲ是ガ爲メニ棄テルコトハ大ナル問題デアリマスカラ、
サウ云フ事ハ先ヅヤラス方ガ宜シカラウト私ハ考ヘマス、矢
張舊市街ヲ本ニシテソレニ整理改善ヲ圖テ行ク、併ナガラ
デス、近來都市ノ發達ノ狀況ヲ見マスルコト云フト、其區域
外ニ互リ膨脹スル方面ニ向テ、今日ニ於テ舊市街ト合セ
テ一ツノ大市街ヲ爲ス目的ヲ以テ大計畫ヲ立テ居リマス
云フト、將來ノ爲メニ甚ダ憂慮スベキコトガアルデアラウト
云フ、斯ウ云フ狀態ガ到ル處ニアルノデアリマスカラ、舊市
街ノ整理改善ハ勿論ノ事デアリマスガ、即チ區域外ニ互ラテ
其接續シタ區域ヲモ一ツ區域內ニ入レテ、今日ヨリ相當ノ
準備ヲ致スガ最モ適當ノ事デアリマシテ、六大都市ノ何レ
ヲ見マシテモ、ソレニ觸レナイ事柄ハナイノデアリマスカラ、
是ハ舊市街新市街ト云フ區別ナシニ、舊市街ニ於キマシテ
モ、道路ナリ若クハ並ニ新タニ工業區域ナルモノヲ設置スル
時分ニハ、即チ舊市街ノ整理ニナリ、即チ接續地方ヲ眼中
ニ入レテ、同計畫——同一ノ方針ノ下ニ計畫ヲ立テル時
分ニハ、申サバ新市街ト申シテ宜イカモ知レマセヌガ、要スル
ニ舊市街並ニ其區域外ニ互ラテ同一ノ大計畫ヲ立テ、進
ムト云フコトガ、最モ將來ノ爲メニ今日ノ急務ナリトスウ思
フノデアリマス、ソコデ今段々御引用ニナリマシタ舊市區改
正條例若クハ建物處分規則等ノ箇條デゴザイマスガ、是
レノ事ハ政府委員ヨリ御答申ス方ガ詳細ヲ盡スコト、
ナリマスガ、併シ大體ハ既ニ御說明申シタ如ク今度ノ法案
ニ依リマスレバ先ヅ地區ノ設定ヲ定メルト云フコトモ出來
マスシ、若クハ又土地ノ收用ナリ建物ノ處分ニ付キマシテ
モ、新ナル時代ニ相當シタ方法ヲ以テ處分若クハ收用ヲ

○小山松壽君 唯今ノ外ノ關係ノ事ハ政府委員ヨリ別
ニ御答ヲ得テモ宜シウゴザイマス、ソレデ其次第二問ニ移
リマスガ、是ハ都市計畫ト交通ノ關係ノコトヲ伺ウテ置キタ
イト思ヒマス、殊ニ內務大臣ハ鐵道院總裁ヲ兼ネラレテ
居リマスカラ、旁、此質問ハ御答辯ヲ得ラル、コト、私ハ期
待致シマシタノデアリマス、第一ニ道路ノコトデアリマスガ、
是ハ建築法ノ二十六條ニ當ツテ居リマス、此御方針ハ如何
ナル御意見ヲ有セラシ、モノデアリマスガ、人道車道ノ整理
若クハ幅員——幅員ハ此建築法ノ唯今申上ゲマシタ箇條
ニ一ツ定メデアリマスガ、ソレ以上ノ事ハ何ニモ規定サレテ
ゴザイマセヌ、ソレデ路面ノ縮少ノ事デアリマス、水道、瓦斯、
電燈、電信、電話等ニ關シテ參リマスガ、此電氣事業法、明
治四十四年三月三十日法律第五十五號、第九條「電氣
事業者ハ河川、橋梁、溝渠、道路、堤防、其他公共ノ用ニ
供セラレタル土地ノ地上又ハ地中ニ電線路ヲ施設スル必
要アルトキハ其效用ヲ妨ケサル限度ニ於テ管理者ノ許可ヲ
受ケテ之ヲ使用スルコトヲ得」前項ノ場合ニ於テハ電氣事
業者ハ管理者ノ定メタル所ニ依リ使用料ヲ納ムベシ、管
理者タル地方行政廳ニ於テ正當ノ事由ナクシテ第一項ノ
許可ヲ拒ミタルトキ又ハ管轄者ノ定メタル使用料ノ額ヲ不
相當ナリトスルトキハ主務大臣ハ電氣事業者ノ申請ニ依
リ使用料ノ許可シ又ハ使用料ノ額ヲ定ムルコトヲ得」ソレカラ
電信電話建設條例明治二十三年八月六日法律第五十
八條第一條「電信省ニ於テ公衆通信ノ用ニ供スル電信線
電話線ヲ建設スルタメ民有ノ土地又ハ營造物ノ使用ヲ要
スルトキハ所有者及其他ノ權利者之ヲ拒ムコトヲ得ス」官
有ノ土地又ハ營造物ハ其所管應ニ通知シテ之ヲ使用スル
コトヲ得」斯様ナ法律モアルノデアリマスガ、其電燈、電信、
電話、或ハ軍用電話、警察電信、電話ト云フヤウナモノデ、
中ニ空中ノ設ケモアリマス、地上ニ於テハ御覽ノ通りノ交
通ガ輻輳致シテ居リマス、之ニ對シテハ大體ノ御方針ヲ一
ツ承リマシテ、又細カイコトハ池田政府委員ヨリ御答ヲ得
マシテモ宜シイノデアリマス、ソレカラ第二ト致シマシテ、是
ハ成ベク主務大臣ヨリ簡單ノ御意見ヲ承リタイ、唯今申上
ゲマシタ關係カラ、都會ノ市民ヲ得意トシテ居リマスル會社
即チ電燈、電鐵、瓦斯ト云フ獨占會社ト其市入ノ間ニ、報

報

償契約ヲ締結シテ居ルノガアルノデアリマス、大阪ニ於テ問題トナリ、續イテ名古屋ニ於テ問題トナリ、續イテ東京ニ於テ問題トナリ、其他都市到ル處ニ獨占會社ト報償契約ノ關係ヲ持テ居ル、此獨占會社ト間ニ在ル所ノ報償契約ハ一法人ノ契約デアリマス、是ハ主務大臣ノ御見解トシテ之ヲ御認ニナルヤ否ヤ、此事ハ將來ノ都市計畫ヲ致シマスルニ於テ、ソレノ關係ヲ持ツコトニナッテ参リマスカラ、大體ノ御方針ヲ承テ置キタイト思ヒマス、ソレカラモウツハ都市計畫ノ事業ヲ遂行致シマスルニ最も關係ノ起リマスルノハ道路ノ新設若クハ改築デアリマス、此場合ニ於テ必ズ其電鐵ナドハ今日ノ狀態デ申セバ將來地下ノ問題モ起リマス、其他ニ於テ動力問題ガ必ズ起テ参ラウト思ヒマス、是ハ尤モ通信省ノ所管事務ニ互リマスカラ、通信省ノ政府委員ノ方ニ御交渉ヲ願ヒマシテ、御答ヲ得マシテモ宜シウゴザイマス、是等ノ關係ガ起リマスカラ、大體此事ニ付テノ御感想ヲ伺テ置キタイト思ヒマス、其例ト申シマシテハ自動車ノ營業——近頃新橋上野間ヲ三十人乗リカノ自動車ヲ運轉セシメテ居ル、是等モ東京市會デモ問題トナッテ居リマス、斯様ナ問題ガ今後續々出テ來ヤウト思ヒマスカラ、之ニ付テノ御考ヲ伺テ見タイト思ヒマス、ソレカラ第三ニ都市計畫ト營利會社ノ關係デアリマス、是ハ計畫法ノ第六條第二項ニ「著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ受クル利益ノ限度ニ於テ前項ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得」ト云フ規定ガゴザイマス、是ハ道路法ニモ同ジ規定ガアッテ、道路法ノ場合ハ鑛山採掘若クハ森林カラ有價物ヲ出スト云フコトニ相當シテ居リマス、是其場合合ト違フ、文面ハ殆ド同ジデアリマス、違フト思ヒマス、此事ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、次ニ停車場ノ事ヲ伺ヒタイト思ヒマス、停車場ノ改築新設ト云フコトハ、都市計畫ノ上ニ重大ナル關係ヲ持テ來ルコト、思ヒマス、現ニ東京停車場ノ位置ガ、彼處ニ旅客ヲ集中スル可否如何ト云フヤウナ事ニ付テハ、委員長モ昨日此處デ難談中ニ御意見ヲ御述ニナッヤウナコトガアリマシタ、之ニ對シテ殊ニ内務大臣ハ鐵道總裁ヲ兼ネラル、ノデ、此點モ今申上ゲマシタヤウニ、御答ニ多大ノ期待ヲ致ス譯デアリマス、適切ニ私自分ノ關係ノアル例ヲ申上ゲルノハ甚ダ恐縮スル譯デアリマス、一例ヲ申上ゲテ適切ナ問題デアリマスカラ、之ヲ申上ゲタガ宜カラウト思ヒマス、即チ名古屋停車場ハ此度一千二百萬圓ヲ以テ改築スルコトニ付テ、其案ヲ先月木下局長カラ御發表ニナリマシタ、然ル所其千二百萬圓ノ設計御發表ノ内容ニ依リマスレバ、アレハ現停車場ノ稍、西南ニ當リマス、其方面ニ新築サレテ、現停車場ヲ廢サレルコトニナルダラウト思フ、是ハ運輸關係上相當ノ事

ト存ジマス、而シテ更ニ其後ハソレノ御意見等ヲ發表サレタ所ヲ見マスルニ、現在ノ平地ノ上ヲ走りマスル設計ヲ襲踏サレヤウナコトニナッテ居リマス、サウ致シマス、都市計畫法ノ工業地域ヲ定メル、住宅地域ヲ定メル、商業地域ヲ定メルト云フコトニ付テ、重大ノ關係ガ起テ参リマス、京都ノ停車場ハ最近改築サレタモノデアリマス、アノ停車場ガ高架式ニ依ラズシテ、平地ニ線路ヲ敷設サレタ結果、京都ハ全ク工業地帯デアリマス、南ノ方ニ市ガ發展スルコトハ、到底不可能ノコトニナッテ居ル、爰ニ於テ固ヨリ建設改良費ハ多額ヲ要スルコトデアリマス、理想ノモノトハ参リマス、マイケレドモ、都市計畫法ヲ遂行スルニ於テ妨ゲトナラザル限度ニ於テ、出來得ベクンバ理想ノニナラズトモ、之ニ近キモノ、若クハ其理想ニ達セシムルニ便利ナ設計方法ト云フヤウナ方針ニ於テ、高架線ヲ以テ市街ヲ横斷スル鐵道ヲ造ルト云フコトガ至當ト思ヒマス、是等ニ付テノ御考ハ如何デアリマセウカ、尤モ都市計畫法ハ計畫ノ決定ニ依テ遂行サレルモノデアリスカラ、此法律ガ公布サレマシテ其計畫委員會ニ於テ市街ヲ定メテ、而シテ主務大臣ガ決定シテ、計畫ノ結果ニ依テ施行スルコトニナリマスレバ、固ヨリ鐵道院ノ執ラル、所ノ計畫ハ、此法案ニ依リ計畫ニ從ハル、コトハ當然デアラウト思ヒマス、此事ニ就テ御意見ヲ伺テ置キタイト考ヘマス、其次ハ運河ノ事デアリマス、是ハ吾々委員會ニ於テモ又色々ノ意見ガゴザイマス、昨日モ此事ニ就テ審議致シテ居タヤウナ譯デアリマス、此計畫法第一條ニ交通、衛生、保安、經濟トアリマシテ、外ノ文字ヲ入レナイ譯デアラ、之ニ水利ト云フコトノ文字ヲドウシテモ必要トスルコト云フコトハ、吾々同僚ノ中ノ委員ノ意見モアリマス、其事ニ對シテハ水利ト云フコトハ、即チ經濟ノ中ニ含ムモノデアリカト云フ私意見ヲ申シテ居タノデアリマス、此運河ノ事ハ港灣等ノ關係ト致シマシテモ又港灣ヲ有セザル都會ノ關係ヲ見マシテモ、即チ京都ノ如キ疏水ヲ利用スルコト云フヤウナ事カラ見マシテモ、此水利運河ト云フコトニ對シテハ、ドウシテモ都市計畫ノ上ニ、一應御意見ヲ伺テ置キ必要ガアルト思フデアリマス、此事ヲ御尋致シマスノハ、續イテ起リマス事ハ第五條第二項ニ「主務大臣特別ノ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政廳ニ非サル者ヲシテ其ノ出願ニ依リ都市計畫事業ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得」第十六條ニ「河川」ト云フコトガアリマス、ソレカラ又其二項ニ「土地附近ノ土地」ト云フ文句ガアリマス、是ハサウ云フコトヲ言フデアリマス、是ハ唯今申上ゲマス此運河若クハ水利ノ事ニ就テ此御尋ヲ致シマスノハ、此唯今申上ゲタ第五條ノ第二項ノ事業ヲセシムルト云フ場合ニ於テ、明治四年十二月十四日太

政官布告修路架橋運輸ノ便宜與ス者ニ入費金徵收許可ノ事デアリマス、一寸之ヲ讀ムダマス「治水修路ノ儀ハ地方ノ要務ニシテ物產蕃盛庶民殷富ノ基本ニ付府縣管下ニ於テ有志ノ者共自費或ハ會社ヲ結ヒ水行ヲ疏シ險路ヲ開キ橋梁ヲ架スル等諸般運輸ノ便利ヲ興シ候者ハ落成ノ上功費ノ多寡ニ應ジ年限ヲ定メ税金取立方被差許候間地方官ニ於テ此旨相心得右等ノ儀願出候者有之節ハ其地ノ民情ヲ詳察シ利害得失ヲ考ヘ入費税金ノ制限等篇ト取調大藏省ヘ可申出事但本文ノ趣管下ヘ無洩可相達事」斯ウ云フヤウナ太政官布告アリマス、是等ノ事ニ依テ見ルト、若シ計畫事業ノ一部ヲ行政廳ニ非ザル者ヲシテセシムルト云フコトニナルト、水利運河等ガ個人若ハ會社等ニ於テ出願シ、其事業ガ計畫事業ニ相當ルト云フヤウナ場合ニハ、之ヲ許スコトニモナルデアリマス、其場合ニ於テ起リマス疑問ハ、之ニハ河川法ヲ適用スルヤ否ヤ、明治二十九年四月八日法律第七十一號、此河川法ヲ適用スルト云フコトニナリマス、到底私人若クハ會社デハ此事業ハ成功シマセヌ、何故カト云フト申上ゲルマデモナク、河川法ニハ其準用ヲ定メラレクル地區ガアリマス、依テ其財源ヲ得ルコトガ出來ルデアリマス、此事ニ對シテノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、尤モ内務大臣カラハ大體ノ御方針ヲ伺ヒマシテ、詳細ノ唯今申シタ法規ノ事ハ政府委員ヨリ御答ヲ得マシテ結構デアリマス、ソレハ後刻宜シウゴザイマス、其御方針ヲ伺テ置キタイ、而シテ尙ホ耕地整理法ヲ適用スルコトニナリマシテ、土地計畫ノ整理等ヲ致スデアリマス、爰ニ起リマス問題ハ計畫法ノ第十五條デアリマス、第十五條「土地ノ地價ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ定ム」ト斯ウアリマス、土地ノ地價ハ唯今ノ水利若クハ運河ノ事業ヲ興シマシタ場合ノ其地價ノ地價、若クハ耕地整理法ニ於ケル所ノ其地價ノ地價、此地價ト云フモノハ、勅令ニ依テ定メルデアリマス、凡ソドウ云フ風ナ標準ニ依テ其地價ヲ定メラレムデアラカ、是等ノ事ハ今日ノ大都會ノ隣接ニハ耕地整理法ニ依テ將來ノ地區設定ヲ致シテ居ルノヲ往々見受ケマス、其地區ハ今日マデ定テ居リマセヌ、此法律ニ依テ何レ其事ハ定マルコト、思ヒマス、是ハ將來市街地ヲ發展セシメ、若クハ商業地工業地ヲ建設スル上ニ重要ナコト、思ヒマス、大體ノ御方針ヲ伺テ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 都市計畫ト交通ニ關シテ先ゾ道路ノ設計ノ御話デアリマシタ、ソレハ大體此道路ノ幅員ナリ其他ノ事ハ道路法ニ依リマス、道路ノ大體ノ計畫ハ此都市計畫委員會ノ設計ニ依テ定メルガ宜シト考ヘテ居リマス、ソレカラ電氣事業、電信線、電話線、其

等ノ法規ノ事ハ道路法ノ第六十三條ニ依テ、道路ニ關シテハ今申シテ法令ノ規定ハ適用セズ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ報償契約ト云フモノハ大體ドウ考ヘルカト云フ御話アリマスガ、是ハ今日モ各地デ行ハレテ居ルヤウデアリマスガ、大體ハ今日マデノ慣例ニ依ルコトガ宜シイト思ッテ居リマス、此法規ノ上カラ申セバ、道路法ノ二十八條ニ「管理者ハ交通ヲ妨ケザル限度ニ於テ道路ノ占用ヲ許可又ハ承認スルコトヲ得」トアリマスルカラ、其時分ニ此問題ガ自然起ル譯デアリマス、大體ハ從來ノ慣例ハ認メルガ宜イト思ッテ居リマス、ソレカラ此市内ノ交通機關ノ動力トカ道路トノ關係ニ付テ如何ニ考ヘテ居ルカト云フ御尋ノヤウニ思ヒマスガ、是ハ御質問ノ如ク文化ノ進ムニ從テ、段段新シイ交通機關ガ出來テ參ルノデ、ソレガ爲メニ道路ハエライ迷惑ヲスル譯デアリマス、即チ御引用ニナッテ自動車營業ノ如キ迷惑ヲスル譯デアリマスガ、大體カラ申セバ文明ノ利器ヲ道路ヲ破壊スルガ爲メニ利用セヌト云フ譯ニハ參リマセヌカラ、是ハ道路ヲソレニ應ジテ改良シテ行クヨリ外仕方ナカラウト思フノデ、ソレ故六大都市ノ道路ノ改善ト云フコトニ付テハ、將來考慮シ計畫スル所ガナケレバナルマイト思ッテ居リマス、今ハソレ以上ニ進ンダ考ヘ持ッテ居リマセヌガ、大體左様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ停車場ノ改築新築等ニ付テ道路計畫トノ關係ハドウカ、成ベク都市ノ發展ニ妨ゲニナラザルヤウ其便利ヲ進メルヤウニ、都市計畫ノ立ッテ所デアリマスレバ、其都市計畫ノ法ニ從テヤルノガ穩當ナル當リ前ノ造方デアルト考ヘテ居リマス、今日マデモ多分所謂都市計畫ナルモノハ、先ヅ東京市ダケニシカナイノデアリマスレドモ、其外ノ都市ニ致シマシテモ、如何ナル手續ヲ執ッテ居ルカト云フコトハ、是ハ別ノ問題デアリマスガ、免ニ角何等カノ手續ヲ以テ都市ノ利害ト成ベク調和シテ施設スル方針ヲ執ッテ居ルノデ、直接御尋デアッテ所ノ名古屋ノ停車場、是ハ成程御話ノ如ク大擴張ヲヤル考デアリマス、而モ今ノ所デアハ高築式デアリマセヌ、ソレハ今私ノ方デ考ヘテ居リマス所ハ、アレハドツチニナリマスガ、即チ今ノ名古屋市ト反對側ニ當リマス所ハ、現在ノ所デアハヤウ甚シク交通ナリ若クハ市ノ經濟上カラ考ヘテ、市ニ影響ヲ及ボス地形ニナッテ居ラヌト考ヘル爲メニ、高築式ヲ執ッテ居ラヌヤウナ譯デアリマス

○小山松壽君 工業地ヲ全ク阻碍スル事ニナリマス
○國務大臣(床次竹二郎君) 併シソレニ付テハ名古屋デ御議論ガアルト云フコトハ承ッテ居リマスガ、此方ノ考トシテハソレ程デアリト思ッテ居ッテ爲メニ高築式ニハナッテ居リマセヌ、此高築式ニヤルトヤラヌトハ、大變ニ費用ニ關係ガアリマスカラ、莫大ナ費用ヲ要スルガ爲メニ、若シ大體ニ改築計畫ト云フモノガ遅レルト、是亦考慮シナケレバナラヌコトデアッテ、免ニ角名古屋ノ停車場ヲ大體ニ於テ改築スルト云フコトハ急ナ事ト思ッテ不取敢其計畫ヲ立テツ、アル、但シ今御尋ノ地方ノコトハ、前申スヤウナ考デアルト、高築式ヲ執ッテ居ラス、斯ウ申スノデアリマス、何レ是等ノ事ハ實際ノ問題デアリマスカラ、攻究ヲ致スヨリ外ハアルマイト思ヒマス、ソレカラ運河ノ事ハ、御尋ノ如ク都市計畫デアハ、若シサウ云フ場所ガアルトスレバ、重大ナル是ハ矢張一ツノ都市計畫事業ト考ヘテ居リマス、第一條ノ條文ノ中ニハ明ニ運河ト云フコトハアリマセヌガ、唯今規定シテアルダケノ條文ニ依ッテ、十分ニ働キハ著ク考デアリマス、其等ノ事モ地方ニ依ッテハ初メカラアル積リデハ、出來テ居ルノデアリマス、ソレカラ何カ運河法ノ舊ノ條文ニ付テ御話デアリマシタガ、或ハ御引用ニナッテ規定ハ既ニ運河法ニ依ッテ廢止セラレテ居ルモノナゾモアリマスル様子デアリマスカラ、是等ハ政府委員ヨリ詳シク御話申シマセウ、十五條ノ地價ノ定メ方ハ、原則トシテハ耕地整理法ノ趣旨ニ依ラズ、地租條例ノ趣旨ニ依ッテ、土地發展ノ狀況地域ノ種別又ハ地方ノ狀況、地形、地位等ニ應ジ地價ヲ定メ、又ハ地價ヲ修正セントスト云フノガ腹案ニナッテ居リマスガ、是モソレデ御了解下サレバ宜シソレ以上ノ委細ノ事ハ政府委員ヨリ御答申上ダマス

○委員長(法學博士小山温君) 小山君今内務大臣ハ貴族院ノ委員會カラ呼ビニ來マシタカラ、外ノ方モ居リマスカラ……

○小山松壽君 一寸デ終リマスガ如何デスカ、サウスルト甚ダ自分ノ事ニ引當リマスシ、繰返シテ恐縮デアリマスガ、今ノ停車場ノ事ハ向ホ都市計畫委員會等ノ決定ニ依ッテハ、是ニ對シテハ向ホ考慮スベキ餘地ハアル、印チ考慮スルト云フコトニ付テ御答ト考ヘテ宜ウゴザイマスカラ、之ヲ一ツ唯今ノ事ニ併セテ何デ置キマス、次ニ第四回ニ移リマス、是ハ一般的事業デ法規等ニ觸レマセヌカラ、其御考デアッテ願ヒタイト思ヒマス、此中產階級以下主トシテ細民階級若クハ勞働階級ノ住宅問題ト云フコト、是ハモウ都市政策ノ上カラ見テ非常ニ重大ナルコトニナッテ參ルト思ヒマス、此事ニ付テハ社會政策上ノ施設トシテ、今日各都市ハソレノ「救貧、救濟、救助、養育、養老、宿泊、職業紹介、或ハ墓地ノ整理」ト云フヤウナコトヲ致シテ居ルノデアリマシテ、此社會政策ノ施設ノ事ニ對シテハ、内務大臣ハ貴族院議員ノ質問ニ對シテ御答ニナリマシタキニ、私モ傍聴シテ其事ヲ聽イテ居リマシタノデ、此大體ノ御趣意ハ、今日モ向ホ其御趣旨ト私ハ思ヒマスガ、唯今申上ゲタ中產階級以下ノ住宅問題ト云フコトニ對シテ、大體ノ御感想ヲ承リ

タイト思ヒマス、次ニ保安警察上ノ見地カラ見マシテ娛樂的設備ノ地區ヲ凡ソ定メル必要ガアラウト思ヒマス、例ハ東京デ云ハバ淺草、大阪デ申セバ千日前、殊ニ淺草、千日前邊ニ出火デモアリマス、非常ニ混雜ヲスル、又一方カラ見マスルト、東京ニハ劇場、寄席アタリガ轉々散在シテ居リマス、是等ニ對シテハ都市計畫ノ上カラ見テモ、何等カノ考慮ヲ致サナケレバナラヌモノト思ヒマス、其次ニ風紀ノ問題デアリマスガ、是ハ計畫法第十條第二項ニ風致又ハ風紀、斯ウ云フコトガアリマス、特ニ地區ヲ指定スルト云フコトモ定メテアルノデアリマスガ、此事ニ付テハ一二別ケテ置キマスガ、第一ハ遊樂地區ノ事ニ對シテ、大體ノ御方針ヲ承リタイト思ヒマス、私ハ公娯制度ノ存廢ト云フ如キ左様ナ問題ニ觸レルノデアリマセヌカラ、其事ハ御斷リ申シテ置キマス、公娯制度ノ存廢如何ト云フコトニハ觸レマセヌ、唯、現在ノ儘ノ問題ニ就テデアリマス、即チ遊樂ノ地區ト云フモノニ對シテハ、今日ノ如クニ密娯制、集メテ置クト云フ制度ガ宜シイカ、或ハ散娯制、一緒ニ集メズシテ方々ニ散ラシテ置クト云フコトノ制度ヲ採ルカ、此事ハ學者ガ大分議論シテ居リマス、是等ニ對シテハドウ云フ御考ヲ御採リナルカ、此密娯制ノ方針カラ能ク間違ノ起リマスノハ所謂遊樂移轉問題デアアル、是等ニ對シテハ先頃大阪ニモ大分問題ガアッテヤウデアリマス、又自分ノ處ヲ言ヒマシテ甚ダ恐縮デアリマスガ、名古屋ノ如キモ、アレガ爲メニ大ナル疑獄ヲ起シマシテ、知事市長財界ノ巨頭アタリガ之ニ依ッテ因レノ身トナッテヤウナコトモアリマス、此問題ハ凡ソ御方針ノ御定メガゴザイマセウト思ヒマスカラ、之ヲ何デ見タイト思ヒマス、ソレカラ風紀ノ一、是ハ近來市内ニ藝者——藝妓等ガ益、増加致シマシテ、其結果トシテ待合小料理屋等ノ風紀上ノ問題ガ切タトシテ起ッテ參リマス、現ニ今日ノ新聞ヲ見マスルト、動坂ニ藝者屋ヲ拵ヘルトテ三百圓ノ運動費、之ヲ若服シタカ何トカ云フ、是ハ細カイ事デアリマスガ、斯ウ云フ事ヲ種ニシテ色々ノ惡事ガ行ハレルト云フヤウナコトガアリマシテ、藝妓ト云フモノ、之ニ附隨スル待合小料理屋ト云フモノモ、凡ソ都市計畫ノ上カラ見テ、住居地カ、商業地カ、或ハ開放地ト申シマスカ何レノ所ニ是等ノ地區ヲ定メテ其營業ヲ差許スカ、尤モ是ハ警察事項ニ互リマスガ、是等ニ對シテハ大體ノ御方針ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス、尤モ遊樂、藝妓、是等ノ花柳病等ニ關シマスル事ハ、内務省カラ今期議會ニ御提出ニナリマシタ結核豫防等ニモ、至大ノ關係ヲ有スルモノデアッテ、豫デ又保健調查會アタリデモソレノ「此事ニ付テハ御審議中デアラウト思ヒマスガ、免ニ角内務大臣トシテ是等ニ對スル御方針ヲ一應承ッデ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 此小サナ家屋、詰リ住宅ハ
社會政策上最モ考慮シナケレバナラヌノデアリマシテ、サウ
云フ住宅ノ設備ハ是カラ或ハ特ニサウ云フ目的ノ爲メニ會
社ナドガ起シテ來ルコトモナリトモ限リマセヌ、又市ニ於テ
即チ市ノ力ヲ以テ或ハ解決シヤウト云フヤウナ問題モ起ル
デアラウト思ヒマス、サウ云フ事ニ付テハ自然今日ノ計畫法
ニ依テ、大分便利ニナラウト思フデ居リマス、是等モ或ハ都
市計畫法ノ委員會アタリデハ、随分大體カラ見テハ論議サ
レテモ宜イ問題ニナリマセヌ、併ナガラ今私ハドウ云フコ
トスル時分ニハ、茲ニ便利ナ途ガ開カレテアル、斯ウ云フコ
トダケ申上ゲテ置キマス、ソレカラ娛樂地其他遊廊若クハ
藝者屋ナドト云フヤウナ風紀娛樂ニ關スルモノモ、其區域
ヲ設定シヤウト云フ時分ニハ、大體ハ矢張能ク都市計畫
委員會アリテ議論サレルガ良クハナカト思フデ居リマス、遊
廊地域ノ如キハ一方警察取締ノ關係モアリマス、是ハ將
來カラ定メラレテ居ル地區モアルモノデスカ、獨リサウ云フ
地區ノ問題ハ遊廊地許リデハアリマセヌ、娛樂地ニシテモ住
宅ニ致シテモ重大ナル關係ノアルコトデ、此計畫法ガ出來
タカラト云ウテ、全ク新シイ土地ニ持ッテ行テ、勝手次第ニ
計畫設計ヲ致スト云フノハ違ヒマス、甚ダシク經濟ナリ
其他ニ府民ノ迷惑ニナルヤウナコトヲ一氣呵成ニヤルト云
フヤウナコトハ、餘程考慮ヲシナケレバナルマイト思ヒマス、
其邊ノ事ハ唯、內務ノ當局者ガ單純ニ考ヘマスルヨリハ、
能ク都市計畫委員會アリテ於テ議論ヲ盡サレルガ良クハ
ナカト思フデ居ルデアリマス、遊廊地ヲ今何處ニシヤウト
カ、藝者ノ住宅地ハ何處ニシヤウトカ云フコトハ、今の確ニ
考ヘテ居リマセヌ、併シ藝者屋ガマア何デスナ普通ノ住宅
地ノ中ニ無暗ニ這入ッテ來ラレテモ困ノデスカ、自ラ其
邊ハ何處カニ片付ヲシナケレバナルマイト思ヒマス、ケレドモ
マア今ハボンヤリシタ其位ナ考デアリマス

○小山松壽君 私ハ……

○國務大臣(床次竹二郎君) マダ澤山アルノデスナラ、一
寸貴族院ヲ濟マシテ來マスカラ……

○小山松壽君 モウ一ツダケ……

○國務大臣(床次竹二郎君) 宜シウゴザイマス、參リマス
○小山松壽君 甚ダ諸君ニ對シテ濟ミマセヌガ、法規等ニ
關スルコトハ政府委員ヲシテ答辯セシムル申サレタ、其部
分ハ答辯ヲ池田政府委員カラ得タイト思ヒマス

○政府委員(池田宏君) 大臣ノ御答辯デ大體盡キテ居
ルト思フデアリマス、先程小山君カラ第五條、第六條、
第十六條ト他ノ法規若クハ現在ノ市區改正條例ト間ノ
關係ニ付テ御質問ガアッタコトデアリマス、其點ニ付キ

マシテ一應御答辯致シタイト思ヒマス、現在ノ市區改正條
例第十四條ニ於テ執行ノ機關ヲ規定致シ、ソレニ照應致
シマシテ十四條ノ二項ニ於テ費用ノ分擔ニ關スル規定ヲ
致シテアル、其等ニ對シテ並ニ現行ノ土地建物處分規則ニ
於テ第一條乃至第三條ノ規定ヲ爲シテ居ルガ、ソレニ代ル
ベキヤウナ法規ガ無イヤウデアルト云フ御趣意デアッヤウニ
拜聽致シマシタガ、ソレハ詰リ都市計畫法ノ第五條、第六
條並ニ第十六條以下ニ於テ具備シテ居ル考デ居リマス、即
チ第五條ニ於キマシテハ「都市計畫事業ハ勅令ノ定ムル所
ニ依リ行政廳之ヲ執行ス」ト云フコトニ致シマシタ、此行政
廳ノ如何ナル者ガ如何ナル事業ノ執行機關ニ當ルト云フ
事ニ付キマシテハ、勅令ニ讓ッテ置キマス、勅令ニ於キマ
シテハ大體現行ノ市區改正條例第十四條ニ依リマシテ規
定ヲ致スコトデゴザイマス、唯ダ此現行ノ市區改正條例第
十四條ニ依リマシテ、市長並ニ町村長ノ執行關係ヲ規
定シテ居ルニ止マリマシテ、都市計畫事業トシマシテハ其外
ニ上級行政廳ノアル場合ガアリマス、其邊ノ所頗ル不
明確ヲ來シマシテ、或場合ニハ府縣廳ニ於キマシテモ都市
計畫ノ實質ヲ持ッテ仕事ヲ致シマシテモ、ソレハ府縣知事ノ
執行ニ係リマスモノハ、市區改正條例ニ依ラザルガ如キ疑
モアリマス、サウ云フヤウナ事ヲ防ギマス爲メニ、勅令デ以
テ適當ニ定メタイ積デ居リマス、主義トシマシテ現行ノ市區
改正條例第十四條ヲ變フ積リデ居リマス、費用ノ點ニ付キ
マシテモ第六條ノ規定ヲ置キマシタノデ、是デ現行市區改
正條例第十四條ノ二ノ規定ノ精神ヲ襲ヒマシテ規定ヲ致
ス積リニ考ヘテ居リマス、土地建物處分ニ係リマス規定ハ、
即チ第十六條以下ノ規定ニナル譯デアリマス、先程御引用
ニナリマシタ第一條ノ規定ノ如キハ、即チ第十六條ノ一項
ニ依リマシテ費用又ハ使用スルコトニナリマス、其費用又ハ
使用スル事ヲ得マス時分ニ、如何ニシテ費用致シ如何ニシ
テ使用致シマス、其手續又ハ法律上ノ效果如何ト云フ
問題ハ、第十八條ニアリマス、如クニ本法ニ別段ノ定メヲ致
シマシタモノ、外ハ、土地收用法ヲ適用シマシテ、土地收用
法デヤッテ行カウト云フ考デアリマス、隨テ殘地ガアリマシタ
時分ニ、其殘地ガ一宅地ヲ爲ス時分ニハドウナルノデアルカ
ト云フヤウナ規定ニ對シマシテハ、ソレハ土地收用法ノ規定
ガ適用サレテ來ルコトニナリマス、其點ニ付テハ本法ハ別段
ノ規定ヲ置キマセヌデシタカラ、土地收用法ノ規定ニ依リマ
シテ、殘地ヲ持ッテ居ル者ハ此仕事ヲ執行スル者ニ對シマシ
テ、全部ノ賠償ヲ請求スルコトガ出來ルコトニナリマス、ソレ
カラ不用地ガ生ジマシタ時分ニハドウナルカト云フ問題ガ
殘デ來マス、ソレニ付テモ本法ハ特別ノ規定ヲ置キマセ
ヌカラ、土地收用法第六十條ニ依ッテ土地收用法ノ事業ト

同ジヤウニ處分シテ行クコトニナリマス、即チ元ノ所有者
ニ下付スルコトニナリマス、ソレデ十分ニ働ガ付イテ行クコト
ト思ヒマス、ソレカラ電氣事業法第九條若クハ電信、電話
線建設條例ト道路トノ關係ニ付キマシテ御尋ガゴザイマシ
タガ、此點ニ付テハ大臣ノ御話ニナリマシタ通り、前ニ御審
議ヲ戴キマシタ道路法ノ第三條ニ依リマシテ解決ガ若イデ
來マスノデ、道路ニ關シテハ適用ナシ、又都市計畫ニ付テモ
適用ガナイコトニ御承知ヲ願ヒマス、第十六條ノ第二項ニ「前
項土地附近ノ土地」ハドウ云フ意味デアアルカト斯ウ云フ御
尋モアッヤウデゴザイマス、是ハ即チ第十六條ノ第一項
「道路、廣場、河川、港灣、公園其ノ他勅令ヲ以テ指定スル
施設ニ關スル都市計畫事業ニシテ內閣ノ認可ヲ受ケタル
モノ」ニ必要ナル土地ハ之ヲ收用「云々」土地附近ノ土地
即チ道路デアアル、或ハ運河デアアル、ソレニ連接シテ居ル土地、
斯ウ云フ意味デアリマス、ソレカラ明治四年ノ大政官ノ布
告ヲ御引用ニナリマシタガ、是亦其運河ニ關スル部分ニ付
キマシテハ、既ニ運河法ノ規定ガ出來テ居リマス、又道
路ト架橋ノ事ニ付キマシテハ、今回御審議ヲ戴キマシタ道
路法ノ規定ニ依リマシテハ、今回御審議ヲ戴キマシタ道
路法ノ規定ニ依リマシテハ、此明治四年ノ布告ハ道路並
運河ニ付テハ適用ガアリマセヌ、治水ノ問題ニナリマス、
云フト河川法ノ規定ガアリマセヌ、此明治四年ノ布告
ハ同ジク適用サレヌコトニナリマス、唯、此布告デ問題ノ殘
リマス所ハ、港灣ニ關スル問題ガ殘リマス、港灣ニ付キマ
シテ港灣ノ運輸ノ利便ヲ起シマス爲メニ、人民ニ一太政官
布告ノ文言ヲ以テシマスレバ、人民ニ於テ一個若クハ會ヲ
結ンデ港灣ノ運輸ノ利便ヲ増サツトスルモノガアル時分ニ
ハ、此布告ニ依リマシテ今日税金ヲ取立テ、宜シイト云フ
コトニナリマス、其點ダケ尙ホ適用ガアル譯デアリマス、此
港灣ニ付キマシテハ、近ク法律ヲ此議會ニハ行キマセヌガ、
法律ヲ出シマシテ、サウシテ明治初年ノ布告ノ如キモノハ全
ク土木トシテノ適用ヲ實施サセル考デアリマス、今日ハ港灣
ニ就テノミノ考デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○小山松壽君 唯今ノ御答辯デ稍、要領ヲ得タイト思ヒマ
ス、茲ニ斯様ナ場合ガアルト假定シテ、尙ホ一應御尋シマ
シタ、他ノ者ヲシテセシムル場合ニ、茲ニ運河事業ヲ起シマス
トキニハ、假ニ其費用ガ二千萬圓掛カル、二千萬圓掛リマ
ス其事業ノ土地ヲ收用スル場合ニ、河川法ニハ其幅何間、
水路ヲ隔テ、水路ヨリ左右ノ何間ト云フヤウナコトノ規定
ガアリマス、是ハ或ル地區マデ收用若クハ使用ヲ致シマス
レバ、此二千萬圓ノ會社ノ設計目論見ガ立ッノデアリマス
ガ、是ガ法規ニ依リマシテ定メラレタル地區ダケ此事業ガ
起サウト云フトキニハ、到底其財源ノ問題ニ觸レテ遂行ガ

出來ナイノデアリマスルカラ、斯ウ云フ場合ニ於テ特ニ收用若クハ使用スルコトガ出來ルト云フコトガ、都市計畫法ニ於テ認メラレルト云フコトナリマス、此事業ヲ遂行スルニ容易デアリ、斯ウ云フヤウナ實際問題ガ起ラデ参ラウト思ヒマス、其邊ノ事ヲ先キニ顧慮シテ質問シタノデアリマス、尙ホ唯今ノ御答辯デ少シ要領ヲ得タト思ヒマスガ、假定のノ事デアリマスガ、將來アリ得ベキコト、思ヒマスカラ、尙ホ此際此點ニ付テ一應御尋ヲ致シマス

○政府委員(池田宏君) 御答致シマスガ、性質論ト致シマシテハ、第十六條ノ二項ガ勸コトト思ヒマス、但シ此十六條ノ二項ナル規定ハ、我國ニ於キマシテハ初メテ試ミタ所ノ立法例デアリマス、御承知ノ通り外國ニ於キマシテハ、夙ニ斯ウ云フヤウナ法制ガアリマシテ、又今日アリマセヌ所モ是ガ極メテ必要ノ制デアリマシテ、又都市計畫事業ヲ執行致シマスル殆ド基礎法ト言フテモ宜シイ位デアリマスルガ故ニ、此規定ヲ盛ニ利用シテ居リマス、去リナガラ此規定ノ利用ハ、外國ニ於キマシテモ多クハ公共團體ト企業ノ場合ニ止メテ居ルヤウニ私ハ記憶シテ居リマス、ソレデアリマスカラ我ガ國ニ於キマシテハ、勸令ヲ以テ定メマスル場合ニハ、今日私共ノ考ト致シマシテ、公共團體ノ事業ヲスル場合ニ限局スルノガ至當デアリナカト考ヘテ居リマス、モウ一ツハ公共團體ガ若シモ運河ノ事業ヲ致シマスル土地デアデ、運河ノ利用ノ爲メニ適當ナル建設地區トナル土地ノ範圍ヲ認メマスルコトハ、必ズシモ運河法ノ制限ノ十五間トカ三十間ト云フ範圍ニ限ラズシテ、買收スルコトガ出來ルヤウニ致シタイ考デアリマス、但シ是ハ今日私ハ斯様ニ考ヘテ居リマスルノデ、此勸令ヲ施行致シマスル際ニハ、固ヨリ司法省ノ當局者トモ十分ニ相談ヲ致シマシテ決メナクバナラスコトデアリマスルカラ、勸令ガモウ少シ廣イ範圍マデ規定ガ出來ルト云フコトニナラヌトモ云ヘマセヌケレドモ、今日ニ於テハ私ハ外國ノ立法例又我國ノ實狀等ニ鑑ミマシテ、成ベク公共團體ノ事業ニ制限シテ行キタイト云フ考ヲ持テ居リマス

○小山松壽君 私ハモウ一ツ極ク簡單ナモノデアリマスガ御尋シテ置キマス、ソレハ市内ノ墓地ノコトデアリマスガ、是ハ市區改良事業ノ上カラ見テ、埋葬ヲ禁止スルト云フコトニ至リマセヌケレバ、此土地利用ノ事モ出テ参ラスノデアリマスガ、是ハ昨今何レノ都市デモ問題ニナデ居リマス、市内ノ埋葬ニ對シテハ如何ナル御方針ヲ以テ、今後處置セラル、カト云フコトヲ御尋致シタイト思ヒマス

○政府委員(池田宏君) 此問題ハ極メテ重要ナ問題デアリマシテ、逃ゲル譯ヂヤアリマセヌガ、都市計畫委員會デ以テ十分御討論ヲ願フデ、サウシテ適當ニ決メテ戴キタイト

思フノデアリマス、唯、爰ニ御參考マデニ申上デテ置キマスノハ東京市ノ例デアリマス、是ハ成ベク墓地ハ市内ニ置カナイヤウニシタイト云フヤウナ事カラ致シマシテ、既ニ東京市ニ於キマシテハ明治二十二年ノ頃、即チ市區改正ノ設計ヲ決メマス際ニ、當時ハ殆ド野原ノヤウデアリマシタ所ノ青山ナリ、澁谷ナリ、雜司ヶ谷、染井、谷中、龜井戸ト云フヤウナ處ニ墓地ヲ數万坪、多クハ十萬坪以上ヲ選定致シマシテ其處へ設定致スト云フコトニナデ、サウシテ市内ノ墓地ニシテ市區改正ノ設計ニ當リマスモノハ、ソレニ對シテ相當ノ移轉料ヲ出スヤウニシテ、段々其方ニ移サレルヤウニシテ居リマス、或ハ市内ノ墓地ニ對シテハ、後ト地ヲ其寺院ニ所有權ヲ渡スヤウニ致シマシテ、幾ラ獎勵ノ意味ヲ以チマシテ、一ツノ土地ニ持テ行クト云フ方針ヲ執ッテ今日マデ來テ居ル譯デアリマス、是等ノ例ハ固ヨリ今後ノ各都市計畫委員會ニ於テ、十分御參考ニナデ相當ナ計畫ガ出來テ行ク筈ダト承知致シマス、是デ以テ御免蒙リタイト思ヒマス

○小山松壽君 私ハ此質問ハ尙ホ内務大臣ト唯今御約束ヲ致シマシタガ、後ト一問デ終リマス、是ハ内務大臣御出席ノ場合ニ御許ヲ願フ事ヲ保留シテ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○委員長(法學博士小山溫君) 横田君モ内務大臣ニデスカ

○横田孝史君 私ハ小山君程長クハアリマセヌガ内務大臣ニデスカ

○白河次郎君 私ノ質問ハ今ノ御配付ニナリマシク命令要項ア了解シタモノガ二、三件アリマデスカラ、尙ソレヲ一讀シタ上デ致シタイト思ヒマス

○委員長(法學博士小山溫君) ソレデ御報告ガアリマスガ、長田桃藏君ガ辭任ニナリマシテ三輪市太郎君ガ代リニ指名サレマシタ、通告ニナリマシタカラ三輪市太郎君

○三輪市太郎君 私デスカ

○委員長(法學博士小山溫君) ソレデハ三輪君ハ止メデスカ

○三輪市太郎君 止メマセヌガ横山君ト代リマス

○委員長(法學博士小山溫君) ソレデハ横山君

○横山勝太郎君 成ベク簡單ニ申シマス、市街地建築物法ノ第一條ニ住居地域、商業地域、工業地域ト云フモノヲ示シテアリマスガ、行政ニ關スル區別若クハ地域ト云フモノヲ指定セザル理由ハ那邊ニ在ルカト云フコトヲ承リタイ、御承知ノ如ク既ニ司法裁判所ニ付テハ、政府ハ一緒ニ之ヲ集メルノ趣意ヲ取ラレテ、大審院ヨリ區裁判所ニ至ルマデ、一定ノ地域ニ之ヲ集メルト云フコトニナリマシテ、現ニ實行サレテ居リマス、所ガ他ノ行政廳ハ此處大ナル東京市ノ

到ル所ニ散在シテ居ル、是ハ官民共ニ非常ニ迷惑ヲ受ケマス、郵便局ノ如キ、又警察署ノ如キ、區役所ノ如キモノハ性質上各地ニ散在スルノガ當リ前デアリマスケレドモ、其他ノ行政廳ニ至テハ成ベク一定ノ地域ニ之ヲ纏メルト云フコトガ官廳ノ爲メニモ人民ノ爲メニモ利益デアルト考ヘマスノデアリマス、農商務省ハ築地ニ在リ、文部省ハ丸ノ内ニ在リ海軍省、司法省ハ西日比谷ニ在ルト云フコトデ、官民共ニ困テ居ル事情デアリマスガ、何故ニ此市街建築物法第一條ニ行政區劃ニ關スル規定ヲ省イタカト云フコトガ一疑問デアリマス、或ル立法上若クハ其他ノ學者ノ說ヲ參照致シマスレバ、矢張行政區劃ヲ認メテ居ルコトニナデ居リマス、何故ニ本案ニ限リテ之ヲ除外サレタカ、其經過ヲ承リタイ

○政府委員(池田宏君) 御意見ノ如クニ各種ノ行政官廳公署ノ事務ヲ執ルベキモノヲ、或ル地區ニ纏メルト云フコトハ、是ハ行政上ノ能率ヲ發揮スル上カラ申シマシテモ、亦人民ノ利便ヨリ考ヘマシテモ、極メテ結構ナコトデアリマスノデ、御話ニナリマス如クニ此方ノ學者專門家等ハ常ニサウ云フヤウナコトヲ主張シマシテ、或ハ「シビックセンター」ト云フコトヲ以チマシテ、ソレヲ以テ都市ノ生活ノ中心ニスル、ソレヲ起點トシテ各種ノ區劃ヲ實行シナクバナラスト云フ論ヲ唱ヘテ居ル譯デアリマス、又新シイ都市デアリマスレバ、サウ云フ方針デ以テ進ンデ居ル處モアリマス、是ハ誠ニ結構ナ事ト考ヘマスシ、又成ベクサウナレバ誠ニ都市計畫上望マシキコトデアルト考ヘマスケレドモ、去リナガラ各種ノ行政廳ヲ盡ク或一ツノ場所ニ、法律ノ適用ノ結果トシテ纏メテシマヒ、行政公館區域ト云フヤウニ極メマスコトハ、是ハ舊來今日マデノ發展狀況來テ居リマス都市ニ在ッデハ、中々容易ナコトデアリナカト考ヘマス、唯今モ御引例ニナリマシタ如ク、司法省ノ方針ヲ各省其他ニ於テモ持チマシテ、各地ニ於キマシテモ其方針ヲ以チマシテ改築ナリ新築スルコトニ注意致シマシタナラバ、適當ニ整理ガ出來ルモノデアルト然カスルノガ寧ろ今日ノ實狀ニ適シテ居ランカト云フコトヨリシマシタ、此問題ハ本法ノ中ニ規定ハ致サナカッタデアリマス、本法ニ於キマシテモ先日モ申上デマシタ通り、都市ノ代表ノモノニ付キマシテ、即チ商業、工業等ニ付キマシテ、各、其能率ヲ發揮セシメ、多數ノ人ノ安息所デアアル所ノ住居ノ安寧ヲ十分ニ發揮セシメ、多クハ、今日ノ都市計畫トシマシテ最善最急務ナリト考ヘマシテ、ソレヲ主トシテ規定致シマシテ、唯今ノ問題ニ對シテハ、各行政廳ノ了解ニ依リマシテ、整理セラレルノヲ待テタイト云フ積リデアリマス

○横山勝太郎君 意味ハ能ク分リマシタガ、若シ左様ナ

御意見デアルトスルト、御説明ニ相成リマシタ趣旨デモ明瞭致シマス、又法案自體カラ明瞭デアリマス斯ク、都市計畫法案ニ致シマシテモ、市街地建築物法案ニ致シマシテ、是ハ即時ニ施行スルト云フ意味ノ法律デナイ、現狀並ニ將來ノ進運ニ伴フテ漸次之ヲ實行シテ往クト云フ法律デアリマス、此故ニ左様ナ事柄マデ既ニ立法官ノ頭腦ノ中ニ畫カレテアルコトデアリマスナラバ、此市街地建築物法ニ於テ我日本國ノ將來ノ進運ニ伴フ爲メニ、矢張今申サレテ居ルヤウナ原則ヲ此第一條ニ明記シテ置ク方ガ、私ハ立法上適當デアルト考ヘマス、法文ノ體裁カラ申シマシテモ、亦立法者ガソレマデ考慮ヲ運シテ居ルト云フコトカラ申シマシテモ、將來サウ云フコトガ起ツタ時分ニ慌テ、法律ヲ改正スルト云フコトハ甚ダ宜クナイコトデアリマス、現ニ今日カラ豫想シテ居ルコトデアリマスカラ、直チニ之ヲ實行スルヤ否ヤハ問題トシテ、否實行スルコトハ困難デアリマセウカラ、直チニ必要ナラズトスルモ、此法律案ノ性質上原則ノ上ニ行ク行政地域ヲ設ケルト云フコトヲ明定シタ方ガ宜イト考ヘマス、其點ニ付テ御審議ノアリシコト、考ヘマス、其一點ヲ承テ置キマス

○政府委員(池田宏君) 御説デアリマスガ、唯今申上ダテ通り自然ニ解決スルヤウニシタイ考デ居リマス、殊ニ行政廳ノ中デモ色々ノ例外モゴザイマセウ、例ヘバ東京ノ例デ申シマシテモ先ツ或ル一定ノ所ニ略々集テ居ルヤウナ風ニナッテ居リマス、又今日多少離レタヤウナ處ニ在リマス行政公館ノ如キモノ、既ニ御承知ノ如クニ其行政公館ノ集リサウニナッテ居リマス處ニ豫定地ヲ持テ居ルコトデモアリマス、強テ之ヲ法規ノ中ニ入レマシテ整理ヲ致ス方針ヲ特ニ明言致シマセヌデモ足リハセヌカト云フ考デ居リマス

○横山勝太郎君 其餘ハ議論ニナリマスカラ、ソレハソレデ後ニ申上ダマス、其次ニ承リタイノハ先刻私ガ中途カラ參リマシタカラ、小山君ノ御質問ノ趣旨、並ニ内務大臣ノ御答辯ノ趣旨ヲ誤解シテ居ルヤモ存ジマセヌガ、内務大臣ノ御答辯ノ趣旨ニ依ルト、詰リ從來ノ都市ノ舊市街ト云フモノニ對シテ、大ナル斧鉞ヲ加ヘルト云フコトハシナイ方針デアルト云フコトニ承リマシタ、其御意見ニ關シテ承リタイ、此我國ノ六大都市、殊ニ此東京、大阪、京都、此三大都市ニ付テ吾々ノ經驗スル所ニ依リマスレバ、大阪市ノ殆ド全部——舊市街ノ殆ド全部、京都市ノ殆ド全部、又東京市ノ中デモ京橋、日本橋、本所ノ一部、是ハ市街ノ形式ガ所謂基盤ノ目ノ如ク、即チ格子縞ノ式ニナツテ出來テ居リマス、是ハ地圖ノ上ニ描イテ見ルト、非常ニ體裁ガ宜シノデアリマス、併ナガラ是ハ今日ノ如ク人口ガ増加致シマシテ、而シテ水道下水ト云フヤウナ文明國ノ設備ガ出來テ來ル

ニ從テ、非常ナル困難ヲ感ジテ居ルト云フコトハ、是ハ申スマデモナキ事柄デアリマス、即チ此方式ヲドウスルカ、現ニ或ル文書ノ傳フル所ニ依レバ、紐育ノ如キハ其弊ニ堪ヘナイ、値ニ高架鐵道ノ働キニ依テ、其缺點ノ一部ヲ補フテ居ルト云フコトデアリマス、之ニ反シテ放射線式ノ市街當今ニ於キマシテハ倫敦並ニ巴里ノ如キ市街ガ、左様ナ形式ニ依テ經營セラレテ居ル、又經營セラレツ、アルト云フコトニ承テ居リマス、是ハ一定ノ中心地目標ノ地域ト云フモノヲ置イテサウシテ市街ニ通行スベキ大ナル放射線式ノ道路ヲ設ケルコトガ、非常ニ便利デアルト云フコトニ、今日ノ實例並ニ學説デハ之ヲ歡迎シテ居ルヤウデアリマス、此事柄ニ付キマシテ都市計畫法、並ニ市街地建築物法如何ナル考慮ヲ運ラシテ居ルカト云フコトヲ承リタイ、東京ノ如キハ御承知ノ如ク、唯今デハ形ヲ成シテ居リマセヌ、昔カラ變遷ノ地圖ヲ繪イテ見ルト、山ノ上ニ家ヲ建テタリ、或ハ谷底ニ家ヲ建テタリ、或ハ水ノ少イ川ニ於テ、其川ノ中ニ家ヲ建テタリシテ、今日ノ大東京ト云フモノガ出來テ居ルノデアリマス、市街ノ内ニ坂ガアルシ、川ガアルシ、谷ガアルシ、基盤ノ目、格子縞ノ式ニナッテ居ラズ、ソレカラ放射線式ニナッテ居ラズ、雖然トシテ人間ノ巢ガ出來タ、原始時式ノ人間ガ文明的ノ假面ヲ冠テ棲息ヲ致シテ居ルト云フコトニナッテ居リマス、是ハ衛生ノ上カラ申シマシテモ、交通ノ上カラ申シマシテモ、體面ノ上カラ申シマシテモ、何レカラ見テモドウシカ之ヲ整理シナケレバナラス、此點ヲ慮テ都市計畫法ガ出來タモノト考ヘテ居リマス、然ルニ此點ニ付テハ立法官ノ苦心ハ寸毫モ此法律ノ上ニ現ハレテ居リマセヌ、之ヲドウスルノデアルカト云フコトハ大問題デアル、今計畫サレツ、アル高架線ヲ利用スルカ、或ハ地下鐵道ノ經營ヲスルカ、斯ウ云フ問題ニマデ影響スルノデアリマスガ、何等ノ苦心モ經營モ此法案ノ上ニ現ハレテ居ラヌ、是ハ無論都市計畫法ヲ造ルニ付テハ、第一ニ考究サルベキ事項デアル、斯ノ如キ事項モ都市計畫委員會ノ審議ニ待ツト云フ事柄ハ、餘リニ政府當局ノ無方針ヲ暴露スルコトニナリマス、總テノ事項ニ付テ、又小サイ事項ニ付テ、都市計畫委員會ノ意見ヲ尊重シナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスガ、其題目タケハ示シテ置カナケレバナラヌ、委員會ヲ設置シテ悉ク其指揮命令ニ待ツト云フナラバ、何モ都市計畫法ハ要ラヌ、都市計畫法ヲ法律ニシナイデモ都市計畫ニ關スル委員會設置ノ件ト云フ勅令ヲ設ケテモ、法律ヲ設ケテモ宜シイ、是ハ法律デアル、形式名目ヲ持テテ居リマスケレドモ、其内容ニ入テ見マスト、此僅カノ規定ノ中ニ勅令ノ規程ニ讓ルト云フコトガ十箇所モアル、今申上ダル市街ノ形式ニ關スル大問題デスガ、此法案デハ決定シテ居ラヌ、何レ委員會ガ決定スルデアラウ、委員會ハ

ドウ云フ人間ガ出ルカ、ソレモ分ラナイ、サウ云フコトデハ、折角此都市計畫法案ト云フモノガ通過致シマシテモ、政府立法者ガ考ヘテ居ラル、ヤウナ十全ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌト思ヒマス、此點ニ付テドウ云フ考ヲ御持チニナッテ居ラル、カト云フコトヲ委シク承リタイノデアリマス、要スルニ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、先刻内務大臣ノ御話ノ如ク、今日ノ如キ錯綜シタル舊式殊ニ不便ナル舊市街ヲ其儘存續シテ置イテ、之ニ膏藥張ヲ加ヘテ一時ノ姑息策ノ改善ヲスルニ過ギナイノデアルカ、根柢カラ大改正ヲスル方針デアルト云フ點ニ觸レルノデアリマス、其點ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(池田宏君) 段々委シイ御意見ヲ拜聽致シマシタガ、都市計畫ノ如キモノニナリマスレバ、今御話ノ基盤ノ目ガ適當デアルカ、放射線式ニ依ルノ適當デアルカト云フコトノ如キハ、是ハ都市ノ狀況ニ依リマシテ異リマス——都市發展ノ狀況ニ依リマシテ異リマス、全ク地方ノ事情ニ依リマシテ違フ問題デアリマス、如何ナル都市ト雖モ、必ズ放射線式ニシナケレバナラヌト云フ如キコトデモアリマセヌ、又此放射線式ト云フヤウナ問題ニ對シマシテハ、學者ノ間ニ於テモ、又外國ノ實際家ノ經驗ニ依リマシテハ、都市デモ必ズサウシナケレバナラヌ方式デアルト云フ風ニ決ツタモノデモゴザイマセヌ、是等ニ付キマシテハ十分ニ攻究ノ餘地ガアリマスノデアリマス、殊ニ其地方ノ狀況ニ應ジマシテ、適當ナル施設計畫ヲスルト云フコトガ最も必要ナコトデアルト考ヘルトデアリマス、固ヨリ大阪ノ如キ東京ノ如キヤウナ都市、例ヘバ此九ノ内邊デアルト云フヤウナ處ガ、益々人口ト夜ノ人口ト相違シテ來ル、即チ潮ノ如クニ一定ノ時ニ多數ノ人ガ這入テ來ルト云フヤウナコトニナリ、又非常ナ貨物ガ或ル一定ノ地區ニ集テ來ルヤウニナルト云フコトヲ想像シマスレバ、此場合ハ此箇所ニ付テハ勿論放射線式ノ道路ニ依ラナケレバ到底運輸交通ノ便ヲ充スコトハ出來ヌノデアリマスガ、去リナガラ其等ハ全ク都市ノ狀況ニ依ッテ地域ノ事情ニ依ッテ異ナルノデアリマシテ、ソレヲ法律トシテ何處デモ其方針ニ依ッテヤラナケレバナラヌト云フ事ヲ規定スルガ如キハ、聊カ度ヲ過ギテ居ルダラウト考ヘマス、其等ノ問題ノ取捨ハ十分ニ計畫委員會ニ於テ、各都市ノ情況ニ依リマシテ適當ニ致スノガ相當ト考ヘルトデアリマス、何レノ都市ニ於キマシテモ、斯ノ如クニ放射式ヲ採ルト云フ事ヲ規定致シテ居ルト云フヤウナ事ハ寡聞ニシテ未ダ聞キマセヌノデアリマス、恐ラク各都市ニ於テ斯ノ如キ委員會ノ如キモノヲ設ケマシテ、或ハ行政廳ノ考ニ依リマシテ適當ナル設計ヲ決メマシテ、其設計ニ依ッテ如何ニシテ實行シタラ宜シイカ、其實行ニ對シテ如何ナル便宜ヲ與ヘタラ宜シイカ、其負擔關係其他建築物ノ制限等ハ如何ニシテ行

タラ宜イカト云フコトハ、立法事項トシテ規定シテ居リマス、必ズ放射線式ニヤラナレバナラヌト云フ事ヲ法律ニ規定シテ居ルコトハ、實ハ寡聞ニシテ聞イテ居リマセヌノデアリマスガ、ドウカ是等ノ問題ハ實際ニ其都市ノ狀況ニ應ジシムベキ大事ナ新計畫デアリマスルガ故ニ、新計畫委員會ヲシテ十分ニ審議セシメテ決定スルヲ相當ト思フ次第デアリマス

○横山勝太郎君 ソレカラ次ニ伺ヒタイノハ地下ノ行政ニ關スル政策デアリマス、殊ニ大都市ノ地下行政ニ關スル事項デアリマス、御承知ノ如ク新聞紙上デモ、其他ノ言論其他ノ人ノヨリ常ニ東京市ノ道路ガ惡イト云フ攻撃ヲ受ケテ居リマス、是ハ固ヨリ此道路ヲ管理シテ居ル東京市ノ責任デアル、隨テ東京市ノ市長、助役其他ノ機關ガ其責ヲ負ハナレバナラヌト云フコトハ、勿論デアリマスガ、併ナガラ私ノ見ル所ニ依レバ、一概ニ是等ノ機關ノミヲ責メル譯ニハイカナイ、地下ノ行政ト云フモノガ完全ニナラナレバ、地上ノ行政ト云フモノノ完全ニ整頓スルコトハ出來ナイノデアリマス、一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、今日東京市ノ地下ヲドウシテ居ルカト申シマスレバ、實ニ亂雜ナル有様デアリマス、電燈線ノ一部モ通過シテ居リマス、ソレカラ確テ電話線モ通過シテ居ル、ソレカラ瓦斯、ソレカラ水道、下水其他ノモノガアルノデアリマス、是等ノモノガ地下行政ニ關スル一般ノ法規無キガ故ニ、自分ノ都合ニ依テ勝手放題ニ地面ヲ掘返ス、電燈ノ方デ都合ガ好ケレバ瓦斯管ノ方ハ少々不便デモ破損シテモ一向構ハナイ、水道ノ方デ必要ガアレバ瓦斯管ヲ掘返シ、サウ云フヤウニ勝手放題ニ地面ヲ掘ルノデアリマス、今漸ク水道ノ工事が済シテ道ガ良クナツカト思ヘバ、今度ハ瓦斯會社ガ來テ掘返ス、今度ハ下水ノ方ノ工事をヤル甚シキニ至ッテハ二年モ三年モ道路トシテノ用ヲナサヌヤウナ事が出來ル、例ヘテ見レバ師範學校ノ前ノ如キ彼處ハ商賣モ廢メテ居リマス、或ハ芝言ヘバ白金方面是等ハ多クハ下水ノ爲メデアリマス、是ハ地上地下ニ關係ヲ持ッテ居ル事項デアリマスガ、主トシテ地下ニ關スル法令ガ完備シテ居リマセヌカラ、斯ウ云フ狀態ニナッテ居ルノデアリマス、只サハ貧弱ナル豫算ヲ持ッテ居ル東京市ガ、漸クニシテ錢ヲ出シテ道路ヲ改築シテモ、地下ニ在ル設備ニ缺陷ヲ生ズレバ何時デモ來テ道路ヲ壞ス權能ヲ持ッテ居ルノデアリマス、此故ニ道路ノ不完全ナルヲ訴フル前ニ、道路ノ下ノ行政ヲドウ云フヤウニカシナレバナラヌト云フコトハ、識者ヲ俟タズシテ直チニ分ル事柄デアリマス、今日ニ於テハ地下行政ノ問題ハ全然聞却サレテ居ル、瓦斯ニ關スル規定、電燈ニ關スル規定、水道ニ關スル條例等ニ於テ貧弱ナル、不統一ナル法

規ハアリマスケレドモ、統一セル一貫セル法規ハ無イノデアリマス、各事業者間ニ於ケル調和ヲ圖リ、事業ノ圓滿ヲ期スルコトニ於テハ甚ダ遺憾ガアル、是ハ道路法ニモ關係ノアル事項デアリマセウガ、都市計畫法案ト云フモノヲ見ルト、是ハ一瞥シテハ地下ノ行政マデモ含シテ居ルカドウカト云フコトハ分ラナイ、恐ラク含シテ居ルト思フノデアリマスガ、此都市計畫法案ノ如キモノヲ立法セラル、ニ當ッテハ、是等ノ事項ヲモ慎重審議ヲ經テ居ルコト、考ヘマス、即チ計畫法案ハ斯ノ如キ事項ヲモ整理スル積リデアリマスガ、若クハ地下ノ行政ニ關スル法規ト云フモノハ別ニ作ル考デアリマスガ、私ハ別ニ獨立シタル法規ヲ必要トスルト考ヘテ居リマス、此點ニ付テ從來ノ經過並ニ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(池田宏君) 地下ノ行政ニ關スル政策ニ付キマシテハ、一昨日デシタカモ、横山君カラ御話ガアリマシテ一應御答辯ヲ致シタムデアリマスガ、重ネテ御質問デアリマスカラ申上ゲマスガ、現在ニ於テハ御話ノ如クニ洵ニ混亂シタ狀況ニナッテ居リマス、今日ニ於キマシテハ所謂八釜敷イ訓令ノ四六二號ト云フモノガア、ソレニ依リマシテ道路ノ使用トカ處分トカ、道路管理者ガシテ居ルト云フコトニナリマス、今回道路法ガ出來ントシテ居ルノデアリマスガ、此法案ガ通過致シマスレバ、道路法ノ二十八條ノ規定ニ依リマシテ一先程モ大臣ガ御引用ニナリマシタ條文ニ依テ「交通ヲ妨ケサル限度ニ於テ道路ノ占用ヲ許可又ハ承認スルコトヲ得」此妨ゲザル限度ニ於テ云フコトニ依ッテ、十分ニ管理者ガ働キガ出來得ル譯ニナッテ居リマス、而シテ又其道路ニ於ケル工事を施行シ、或ハ道路ヲ維持スル、即チ掘ッタナラバ跡埋ハドウスルカト云フガ如キハ、是ハ同ジ第二十四條ニ依リマシテ「管理者ノ許可又ハ承認ヲ得テ道路ニ關スル工事を執行シ又ハ道路ヲ維持スル爲メコトヲ得」トアリマス、其承認許可ノ條件ニ依リマシテ、適當ノ處置ヲスルコトニナッテ居リマス、斯ノ如クニ道路其モノ、實體ヲ維持スル爲メニ必要ナル措置ハ、道路法デ以テ十分ニ働キガ出來ルノデアリマスカラ、管理者ニ於テ相當ノ措置ヲ致サセレバ足リルノデアラウト思ヒマス、去リナガラ御話ノ如クニ此地下ノ行政ニ關シ、殊ニ地下ノ埋設物ヲ統一整理スルト云フ計畫ニナルト、是ハ都市ノ交通、營業、衛生或ハ經濟ト云フヤウナ方面ニ於キマシテ、都市ノ重要ナル施設計畫ノ設備ヲ爲スノデアリマスカラ、其施設計畫ノ如何ニ付テハ是ハ都市計畫委員會ニ於テ十分審議ヲスルヤウニシタイト云フ考デアリマス、其案ノ如キモノニナリマスレバ先日モ申シマシタ通り、一通りノ私案ハ得テ居ルノデアリマス、ソレヲ如何ニ實行スルカト云フコト、如何ニシテ適用スルカト云フ

コトハ、固ヨリ研究ヲ要スルコトデアリマスガ、大體其様ニ考ヘテ居リマス、併ナガラ尙ホ其計畫ガ出來マシテモ其計畫ヲ實行スルニ當リマシテハ、固ヨリ地下ノ行政ニ關スル特別ノ法規ガナレバ、其働キヲ十分ナラシメルコトガ出來ナイト考ヘマス、故ニ其等必要ナル法規ニ付テハ尙ホ十分諒議ノ上ニ一種ノ計畫ガ確定サレマスレバ、其計畫ニ應ジテ之ヲ實行スルニ必要ナル取締法規ハ、別ニ考ヘナレバナラヌ事ト思ッテ居リマス

○横山勝太郎君 尙ホ市街地建築物法案ト借地法案トノ關係ニ付テ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、此法案ガ通過致シマシタナラバ是ガ現實ニ市民ノ上ニ、即チ大都市ノ住民ノ上ニ效果ヲ及ボシテ來ル時期デス、即チ凡ソ何時頃カラ斯ウ云フ事ガ行ハレノデアルカト云フコトヲ承リタイノデス、例ヘバ第一條ノ如キ第十二條ノ如キ、或ハ第十三條ノ如キ、最モ住民ニ影響アル事項デアリマス、殊ニ二十三條ノ如キハ火災豫防上必要ト認ムルトキ、防火地區ト云フモノ、指定ガ出來ル、ソレカラ其地域内ニ於テハ防火設備又ハ建築物ノ防火構造ニ關シ、必要ナル規定ヲ設ケルコトヲ得ルト、斯ウ云フ規定ガアリマスカラ、現在ノ木造ノ日本家屋ノ所有者カラ申セバ、非常ナル迷惑ガ及ンデ來ル、公共ノニハ利益デアルケレドモ、個人ノ財産權カラ云ヘバ非常ナル迷惑ヲ及ボスコト申サデモナイ、即チ防火ノ設備ニ付テハ不燃質ノ物質ヲ以テ構造セナレバナラヌト云フヤウナ勅令ガ出來ル事ト考ヘマスガ、サウ云フ事ハ凡ソ何時頃カラ出來ルカト云フコトヲ承ッテ置キタイノデアリマス

○政府委員(池田宏君) 幸ニシテ兩院ノ御協賛ヲ得マスレバ、成ベク早く此法規ハ施行スルヤウニ致シタイト思ヒマス、即チ施行ニ關スル必要ナル勅令其他命令ノ條項ノ證議ヲ得マシタナラバ、成ベク早く適用シタイト思ッテ居リマスガ、唯今御尋ノ如キ點ニ付キマシテハ、是ハ固ヨリ十分考慮シナレバナラヌ點デアリマス、故ニ建築物法ノ第十八條中ニ規定ヲ設ケマシテ「行政官廳ハ相當ノ期間ヲ指定シ其ノ建築物ニ付前條ニ掲ケル必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得」ト云フコトニシテ置キマシタ、結局御懸念ニナリ御質問ニナルヤウナ相當ノ期間ヲ如何ニスルカト云フ問題ダラウト思ヒマスガ、此事ニ付キマシテハ十分ニ考慮ヲ致シマシテ、今マデ警察令ヲ以テ、例ヘバ屋上制限ノ如キモノヲ施行スル時分ニモ必ズ相當ノ期間ヲ付ケテ、其相當ノ期間ダテハ猶豫ヲ致シ、相當ノ期間マデニ完了セシムル、ソレニ付テハ民度其他ノ事ヲ十分ニ斟酌シテ、無理ノナイヤウニシテ居ッタノデアリマス、其様ニ矢張今回モ其點ハ十分ニ考慮シテ、適當ナル期間ヲ行政廳ニ於テ指定スルコトガ出來ルヤウニ致シタイト思ヒマス

○横山勝太郎君 唯今ノ御話ノ如ク即時ニ實行スルコトハシナイ、又實行スルコトハ宜シクナイト思ヒマス、併ナガラ現下ノ大都市殊ニ東京市ノ如キ、木造家屋ヲ多ク持テ居ル地域カラ申シマスレバ、是ハ寸時モ早ク實行シテ戴キタイ法律デアル、所ガ一面借地法案トノ關係ヲ考慮致シマスレバ、甚ダ心配ニ堪ヘナイモノガアル、御承知ノ如ク借地法ノ制定ニ依テ借地人ノ權利ガ的確ニ保障セラレ、ニアラザレバ、借地人ハ本案ノ如キ法律ノ適用ニ依テ、不燃質ノ材料ヲ以テ家屋ノ建築ヲ行ハスルコト云フコトハ困難デアリマス、寧ロ不能デアリマス、東京市ノ借地問題ノ現狀ハ、本案ニ直接ノ關係ガアリマセウカラ深クハ述ベマセウガ、御承知ノ如ク地主ガ必要デアル時分ニハ、六箇月以内ニ地所ヲ明渡ス、若クハ通知シテ一箇年以内明渡ス、若クハ地代ヲ一箇月デモ延滞シタラバ契約ヲ解除スルコトガ出來ルト、斯ウ云フ残酷極マル借地證書ヲ授受サレテアリマシテ、地主ガ要求スル通りニ、地代ノ値上ノ要求ニ、應ズレバ事ガ圓滿ニ行キマスガ、十錢ノ地代ヲ二十錢ニ値上ノ通知ヲスル、是ガ無論問題トナテ來ル、問題トナテ來ルト、所謂一般例文トナテ居ル所ノ不動文字ニ依ル證書ヲ利用シテ裁判所ニ訴ヘル、是ガ地主ガ勝ツカ借地人ガ勝ツカハ別トシテ、是ガ爲メニ非常ナル努力ヲ費用ヲ要シ、是ガ爲メニ家屋ノ建築改良ト云フ事ノ妨害ニナル、地主ニア、云フ證書ヲ取ラレテ居ルカラ、此地面ノ上ニハ堅牢ナル家屋ハ造レナイ、地主ガ残酷デアルカラ、此家屋ハ餘リ修繕セム方ガ宜カラウト云フデ、家屋其モノ、建築保存改良ノ上ニ非常ナル妨害ヲ爲シテ居ル、又貸家ヲ建テ、其金利ニ依テ衣食セントスル者ガアレバ、大抵二年カ三年カノ家賃ヲ以テ、家屋ノ建築ニ必要ナリシ元本ヲ支辨スルコトガ出來ル方法、即チ粗惡ナル家屋ヲ建テ、早ク元本ノ皆済ヲ見タイト云フ策ヲ取ル、是ハ修繕スレバマダ十年カ十五年ハ保ツト思フデモ、地主ガ八釜敷イカラ好イ加減ニシテ居ルト云フコトハ屢々實見シテ居ル、是ガ爲メニ個人ノ財産權モ非常ナル迫害ヲ被リ、都市ノ美觀ヲ損傷スルコトモ甚ダシイ、此故ニ當局モ此邊ノ事情ヲ斟酌ニナシテ、借地法案ト云フ堂々タル法律ガ出來タ、出來タレドモ地主黨ヲ以テ造ラレテアル所ノ貴族院ハ、四十議會ニ於テモ之ヲ握リ潰シタ、又今期ノ四十一議會ニ於テモ握リ潰シナル運命ト考ヘル、其他是ヨリ以前政友會ノ提出ノ案ノ如キモ、非常ナル斧鉞ヲ加ヘタ、國民黨カラ御出シニナタ案モ修正ヲシタリ、或ハ握リ潰スト云フヤウナコトデ、全ク貴族院ニ依テ民論ヲ抑ヘラレテアル、此時此際ニ當テ斯ノ如キ市街建築物法ト云フモノヲ實行シテ、其一例デアル所ノ十三條ノ如キ

ヲ活用シテ、東京ノ如キ大都市ノ火災防禦ノ爲メニ貢獻スル所アラントスレバ、兎ニ角家屋ノ所有者ニ向テ多大ナル負擔ヲ命ジナケレバナラヌ、從來木造デアツケレドモ、木造ノ上ニ鐵ヲ張レタカ、其他煉瓦ノ家屋ヲ造レタカ云フヤウナ六ヶ敷イ條件ヲ規定スルニ違ヒナイ、サウスルト是マデ坪五十圓若クハ六十圓デ出來テ居タ家屋ガ、此建築物法ノ第十三條ノ規定ニ依テ勅令ガ出マシ結果ハ、五倍六倍ノ費用ヲ要スルコトニナルト考ヘマス、或ハ眞鍮デ壁ヲ張ルカスレバ五倍モ六倍モ十二倍モ金ヲ要スルガ、建築法ノ精神ヲ貫徹セシメテ、都市ノ衛生トカ保安ノ目的ヲ達セントスル程ヲラバ、ソレ以前ニ借地法案ノ通過ヲ圖ツテ、借地權ノ安定ヲ計ルガ必要ナルコトデアリト云フコトニナルノハ、必然到達スベキ結論ト思ヒマス、先刻モ申シマシタ如ク、地下ノ行政法規ヲ作ラズシテ、本法ノ通過ヲ圖ルト云フコトハ無理デアリマス、借地人ノ安全ヲ圖ラズシテ借地權ヲ論ズルノハ不能ノ事デアリマス、無理ナ考デアリマス、其點ニ付テ如何ナル御考ヲ持テ居リマスカ、無論第十八條ノ規定ニ依テ、行政官ハ相當ノ機關ヲ置クコト、思ヒマスガ、然レドモ之ヲ永久ニ此法律ヲ使用シナカッタラバ、本案ハ通過サセル必要ハ無いデアリマス、一面ニ於テハ此法律ヲ運用スベキ基礎法トモ云フベキ借地法ハ、貴族院ニ停滯シテ通過ノ見込ハゴザイマセウ、左スレバ少クモ十三條ハ死文徒法トナリマス、此點ニ付テ如何ナル御考デゴザイマスガ、吾ハ借地人ニ同情スルト同時ニ、地主ニ對シテモ多大ノ注意ヲ拂テ居リマスガ、ドウシテモ地主ト借地人トハ圓滿ニ調和シナケレバ、決シテ良キ結果ヲ見ラレマセウカラ、借地人ノ權利ヲ主張スルト同時ニ、地主モ保護シナケレバナラヌデアリマスカラ、借地法ヲ前ニ決メ掛カルノガ當然デアリマス、借地法ニハ地主ノ權利モ明定セラレテアリマス、此邊ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(池田宏君) 借地法案ノ運命ニ付キマシテハ、私ハ與リ知リマセウガ、必ズヤ適當ナル解決ノ時期ガアラウト信ジテ居リマス、デ借地法ハ法トシテ關係ナシニ、都市ノ保安上カラ考ヘ衛生上カラ考ヘマシテ、建築物ニ對シマシテ相當ノ規定ヲ設ケ、サウシテ多數市民ノ財産生命ヲ保護致シマスコトハ、極メテ必要デアルト考ヘマスノデ、借地法案ノ運命如何ニ拘ラズ、此法規ノ成立ヲ希望致シ、其法規ニ依リマシテ施行ノ際ニハ、御話ノアリマシタ事ニ付キマシテモ十分ノ考慮ヲ致シ、都市ノ保安衛生上ノ必要ト考ヘマシテ、適當ニ施行致サユニ致シタイト考ヘテ居リマス

○横山勝太郎君 サウスルト唯今ノ御話ハ分リマシタガ、私ノ質問ニハ答ヘテ居ラス、ソレデ此法案ヲ通過セムル希望アルト同時ニ、今申シタヤウナ不便ガアルカラ、借地法案モ帝國議會ヲ通過サレルコトヲ希望セラレルデアリマセウカ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(池田宏君) 元ヨリ借地權ノ保護ト云フコトハ、土地ノ問題トシマシテハ、最も重要ノ問題デアリマス、段段地主ガ少クナリ、借地人ガ非常ニ殖エテ來ルト云フコトハ、都市ノ今日ノ事實デアリマス、隨テ此借地人ノ關係法規ニ於テ明確ニシテ置クコト云フコトハ、是ハ都市政策上カラ考ヘマシテモ極メテ結構ト思ヒマス、尤モ政府モ昨年彼ノ通りノ運命ニナタニモ拘ラズ、今年モ出シテ是ガ通過ヲ圖ツテ居ルデアリマスガ、其點ハ全ク横山君ト同ジヤウナ考ヲ以テ、此法案ノ成立ヲ切望シテ居ル譯デアリマス

○横山勝太郎君 其次ニハ此市街建築法ノ第十一條ハ民法トノ關係デアリマス、第十一條ハ御承知ノ通り、地方ノ狀況、地域及地區ノ種別、土地ノ狀態、建築物ノ構造ト、此四項ヲ斟酌シテ勅令ヲ以テ必要ナル規定ヲ設ケラルノデアリマセウガ、建築物ノ高さ並ニ敷地ニ關スルコトハ、勅令ニ依テ決定スルノデアリマセウカ、高さニ付テハ無論此法案ヲ贊成致シマスガ、此ノ空地ニ關シテ當局ノ御意見ニ對シテ申シテ見タイノデスガ、御承知ノ通り民法ノ第二百九條……條文ハ讀ミマセウ、所謂隣地ノ地上權ヲ認メテ居リマス、二百十條デモ隣地ノ地上權ヲ認メテ居リマス、ソレカラ二百二十一條ニハ隣地ノ地上權ヲ認メテ居リマス、ノ認メテアリマス、而シテ此建築物法ノ十一條ト最モ關係ノアルノハ、民法ノ二百三十四條デアリマス、是ニハ建築物ノ築造スルニハ疆界線ヨリ一尺五寸以上ノ距離ヲ存スルコトヲ要ストアリ、二百三十五條ニハ「疆界線ヨリ三尺未満ノ距離ニ於テ他人ノ宅地ヲ觀望スヘキ窓又ハ棧側ヲ設クル者ハ目隠ヲ附スルコトヲ要ストアリマス、即チ二百三十四條ニ百三十五條ノ此二ツノ規定ニ依テ、工作物ノ建築ニ關シテ一定ノ距離ヲ置カケレバナラヌト云フコトハ規定シテアルノデアリマス、尤モ是ハ矢張民法ノ規定ニ依テ特別ノ習慣アル場合ハ通用シナイコトニナテ居リマスガ、吾ハ見ル所デハ、本案ノ十一條ノ高さニ關スル法規ニ付テハ何等疑ヲ持マセウガ、此問題ニ付テ特ニ斯ノ如キ法律ヲ設ケテ、民法以外ニ斯ノ如キ法規ヲ造ルト云フ二重ノ立法ヲ爲ス必要ハ無いト思ヒマス、民法ノ運用デ如何様ニモ出來ルコトデアル、是ハ却テ民法ノ規定ヲ主トシテ運用スルニ依テ、寧ロ適當デハナイカト思ヒマス、故ニ此點ニ付テ當局ノ意見ヲ承リタイノハ、此建築物法第十一條ノ法文ニ依テ、先刻申シマシタル民法ノ二百九條、二百十條、二百二十一條ト、此二百三十四條、二百三十五條ノ如ク普通私法ノ變更ヲナサントスル必要ガ那邊ニ在ルカ、ソレカラ或ハ此解釋

ノ方法ニ依テハ民法ノ二百三十四條ノ二百三十五條ノ變更ニナルカモ知レナイ、是ハ單ニ特別ノ法規トシテ存在セシムルコト云フコトニ過ギヌノデアラウト考ヘマスルガ、其邊ニ付テノ御意見、ソレカラ此規定ハ都鄙ヲ通ジテ適用ノアル事項デアリマスルケレドモガデス、殊ニ此大都市ニ於テハデス、一尺五寸トカ三尺トカノ距離ヲ要スルコト云フコトハ、民法ノ規定ニ於テハ之ヲ習慣ニ一任シテ居リマスルケレドモガ、寧ろハ強行法規トシテ實行スル必要ガアルトマデ私ハ考ヘテ居リマス、斯ハ如キ次第デアリマスルカラシテ、何モ特ニ本案ノ如キ——即チ十一條ノ如キ二重ノ立法ヲ爲スノ必要ハ私ハ無シト認メマスルガ、其點ニ關スル御意見ヲ承リタイト存ジマス

○政府委員(池田宏君) 建築物法ノ第十一條ナリ或ハ第十三條等ノ規定ハ、是ハ唯今モ御話ガアリマシタ如クニ民法ノ特別規定トシテ働カセタイト云フ積リデアリマス、其必要ナルコトハ是ハ家屋ニ對シマシテ光線ノ射入ヲ好クスル、或ハ空氣ノ流通ヲ好クスル、又人口ノ過度ノ密集ヲ防壓スル——程度ハ固ヨリ問題デアリマスガ、或ハ災害時ニ於キマスル消防アルトカ、避難アルトカ云フコトノ爲メニ備ヘルト云フコトハ、是ハ都市ノ如ク量ノ頗ル多シ、又質ニ於テモ非常ナル程度ニナッテ居リマスル建築物ヲ有スル處ニ於キマシテハ、唯今ノ點ヨリシマシテ十分ニ考慮ヲ致サナケレバナラヌコトデアリマス、此點ニ付キマシテハ十分ノ御了解ノアルコト、思フノデアリマス、其等ノ關係ヨリ致シマシテ、民法ノ規定ニ拘ラズ特別ノ規定ヲ致シタ譯デアリマス、唯今ノ御質問ニハゴザイマセヌデシタガ、サウ云フヤウナ次第デアリマスカラ、此十三條ノ防火地區内ニ於キマシテモ、例ヘバ建物ノ部分ヲ成ス所ノ防火壁ノ如キ物ハ、民法ノ規定ニ拘ラズ、土地ノ疆界線ニ接シマシテ之ヲ設ケルコトガ出來ルト云フヤウナ規定モ設ケマシタ、防火壁ノ獎勵ヲ致シ、且又防火地區内ニ於ケル火災豫防上ノ措置ヲ執リ、都市ノ保安上ノ必要ニ應ゼシメ、一面ニ於キマシテハ或ハ民法ノ規定ニ依リマシテ、隣地トノ間ニ三尺ヅ、區間ヲ取ラナケレバナラヌト云フヤウナ規定、是ハ固ヨリ唯今モ御引用ニナリマシタ通り、慣習ガアリマストカ、或ハ相談度以テヤリマスルコトカ云フコトモアリマセウガ、固ヨリ特別ノ制度ノ取レナイナラヌト云フガ爲メニ、此都市ノ利用ヲ妨ゲルト云フヤウナコトモ非常ニ多シ譯デアリマス、サウ云フヤウナ利用モ或ル程度ニ於キマシテハ成ベクサセマシテ、都市ノ經濟上ノ用意ニモ備ヘタイト云フヤウナ考カラ致シマシテ、斯ノ如キ規定ヲ設ケタデアリマスガ、或ル意味カラシマスレバ成程二重規定ノ如キ觀ガアルカハ知リマセヌガ、ソレハ全ク都市ノ保

安、衛生、經濟、交通等ノ關係ヨリ致シマシテ必要ナル規定デアリマス、ソレヲ取締リマスル爲メニ此規定ヲ置イタ譯デアリマス、此精神ニ依リマシテ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(法學博士小山溫君) ソレデハ午前ハ是ニ止メ、休憩ヲ致シマシテ午後一時更ニ開會ヲ致シマス、午後一時ニハ內務大臣ハ見エサルサウデスカラ、成ベク時間通り御參集ヲ願ヒマス

午前十一時五十六分休憩

午後一時十九分開議

○委員長(法學博士小山溫君) 午前ニ引續キ開會致シマス——小山君

○小山松壽君 午前ニ內務大臣ニ御尋致シマシタ風致、地區ニ依ッテ起テ參リマスル問題、風紀問題ノ二ツヲ舉ゲテ御尋シマシタコトニ對スル御答辯ニ依ッテ了解スル所ニ依レバ、此問題ハ其地方ノ舊慣歴史等ニモ關係シ、及ビ其地方ノ盛衰地價ノ騰落ニモ關係スルコト云フヤウナ事情ガアルカラ、是等ハ從來ノ事情ヲ斟酌シテ考慮スベキモノデアアルス様ナ御答辯ヲ得マシタ譯デアリマス、隨テ是等ノ問題ニ對シマシテハ、本法ニ依ッテ設ケラレタル所ノ都市計畫委員會等ノ議ヲ經マシテ、其意見ニ基キマシテ命令ヲスルコト云フコトノ御意見ニ了解シマシテ宜カラウカト思フデ居リマス、之ヲ繰返シテ御尋致シマシタ事ノ、聊カ寺内内閣時代ニ於キマシテ、所謂大都市ノ中ニ考慮サルベキモノ、思ヒ當ル事モアリマシタノデ、尤モソレハ實現ハ致シマセヌデアリマシタガ、特ニ御尋申シタヤウナ次第デアリマスカラ、此點ハ唯今申述ベマシタ通り了解致シマシテ差支ナイト心得マスルガ、尙ホ此通りデアルト云フ御答ヲ得マシタナラバ満足致スノデアリマス、第五回トシテ御尋致シマスルハ、ソレハ第八條ノ費用ニ充ツル爲メ特別稅ノ賦課デアリマス、此事ハ前回大藏大臣ノ御出席ヲ得マシテ應答ヲ重ネタデアリマスガ、遂ニ多クハ要領ヲ得ズニ終テ居リマス、然ル所此財源ノ事ハ此計畫ヲ實行ヲ致シマスル上ニ、非常ニ關係ヲ有スルノデアリマシテ、或ハ市街地區内ノ土地ノ利用ト云フヤウナ事モ、本事業ヲ速成セシムルノ一ツデアアル、或ハ官有地ノ無償下付ヲスルコト云フ事モ、同時ニ助成セシムベキ一ツデアリマス、且又第九條ニ於キマシテ「區域内ニ存スル國有河岸地ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノハ」年々斯様な精神ノ一點モ現レテ居ルコトデアリマスカラ、是等ノ點ニ對シマシテ主務大臣トシテノ御考ハ——無論御考慮ニナッテ居ルコト、思ヒマスガ、是等ニ付テノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ、前回此六大都市ノ官有地ニ對スル種別ヲ舉ゲマシテ材料ヲ求メテ置キマシタガ、是ハ今日未ダ入手致シマ

セヌガ、ソレハ後デ宜シウゴザイマスガ、當局ノ御意見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス、又此地下ノ利用ノ事デアリマスガ、之モ財源ヲ求メル方法トシテ、又一面便利ナ方法トシテ、道路ニ接シテ居リマスル即チ建築線ニ接シテ居リマスル商館若クハ住宅ノ者ハ、其私有地ニ屬シテ居ル所有地ニ於テ、地下ノ利用ハ建築法等ニ依ッテ出來マセウガ、之ニ接スル人道トカ、地下ヲ利用スル事ニ對シマシテモ、其財源ヲ得若クハ利用セシムルコト云フ兩方面カラ見テ、研究スベキ事デアラウト思フ、或ハ此道路改修等ニ依リマシテ起テ參リマスル問題トシテハ、即チ地價増加益金、俗ニ差益稅ト云フモノモ起テ參ラウト思ヒマスガ、又或ハ庭園稅、最も窮餘ノ策ト致シマシテハ、都會地デ一ノ財源ヲ求ムル爲メ遊席地市營ト云フヤウナ事モ致シテ居リマス、確カ是ハ水戸市ガ先年市會ノ決議ヲ經テ致シタコト思ヒマスガ、是等ノ事、又進ンデハ賦金ト云フヤウナモノモ起テ參ジテ居ル、例ヘバ藝妓ニ對シテノ税金ノ其外ニ、線香代一本ニ付テ幾ラ取ルト云フヤウナ、財源ニ窮迫シテマヘバ、サウ云フ事ヲ考ヘテ參ルト思ヒマスガ、地方ノ財源ハ殊ニ又都市ノ財源ハ內務大臣モ御承知ノ如ク、地方稅制限緩和ニ依リマシテ、教員給付ナリ振向ケルコトモアリマスカラ、サウ取立テラレテハ地方ノ衰弱スル其結果、都市計畫ヲ促進スルドロダナケシテ、其地方ガ自ラ經營シナケレバナラヌ事マデ達ニハ甚ダシキ事情ニ陥ルヤウナコトニナリマシテ、市ノ地區内ニ住居致シマスル者ガ、沿々トシテ其市ノ計畫以外ノ處ニ住居シ、市稅ヲ免ル、爲メニ移住スル、大阪ノ如キハ日中ノ執務時間ニ於ケル人口ト、其朝夕ノ執務時間以外ニ於ケル人口トノ住居者ノ差ニ著シキ差ガアルト云フコトハ、是等ノコトモ考慮シテ居ルト思フデ居リマス、此點ニ付テ御考ヲ同ヒタイノデアリマス、ソレカラ更ニ是ハ社會政策ノ場合ニ御尋シタ方ガ宜カッタラウト思ヒマスガ、落シマシタカラ此場合伺ヒマスガ、糞尿ノ處分デゴザイマス、是ハ都市計畫ノ上ニ、又衛生上ニ最も重大ナルコトニナッテ居リマス、糞尿ヲ大都市ノ中ニハ之ヲ市ノ收入ニ入レテ、其收入ヲ以テ一面市費ノ支辨ヲ致シタ市モアリマスガ、又一方カラ見レバ建築法等ノ履行ニ依リマシテ、建物ガ文明的ニナッテ參リマスレバ、是ハ寧ろ財源トスルヨリモ、或ハ處分ノ方ニ金ガ掛カルト云フコトニナラウト思ヒマスガ、是等ニ付テハ縷々申上ゲマセヌ、是等ハ餘程研究サレテ居ル問題デゴザイマス、ソレカラ終リニ一點特ニ伺ッテ置キタイノハ、是ハ大藏大臣ニ御尋シヤウト思ヒマシタガ、當時ノ御答辯ノ事情ニ微シマシテ、此事ヲ御尋申シテモ或ハ徒ニ時間ヲ費スバカリデハアルマイカト思フデ差控ヘタノデアリマス、本來ノ筋トシ

テハ大蔵大臣ニ御尋スルノガ至當ト思ヒマスケレドモ、但シ

都市計畫ノ事業ノ財源トシテ、私ハ唯一ノ財源ト思フカラ

伺ヒマス。云フノハ、今日徴收致シテ居リマスル戰時利得

税ノ問題デアリマス、是ハ講和條約調印ノ日ニ於テ其效力

ヲ失フベキ立法ノ精神ニナリテ居リマスルノデ、目下講和豫

備會議中、近ク講和會議モ進行致シマシテ、即チ本年內ニ

於テ此税ハ消滅致スモノト思ヒマスルガ、元來此税ノ一方

カラ觀察致シテ見マスルト、世ハ所謂成金税ト申スモノニ

相當ルノデアリマス、是等ハ大都市ニ於テ一億圓近イ若ク

ハソレ以上ニモアラウト云フ、ソレガ利得ノ税金ニ當ルノデ

アリマスカラ、世ノ風潮ニ鑑ミ思想上ノ流れニ考ヘマシテモ、

是等ノモノハ形ヲ變ヘマシテ、實質ヲ變更スル意味デアリ

マセヌ、而シテ將來都市計畫ノ社會政策的方面ニ、此モ

ヲ以テ財源トシテ其事業ヲ遂行スルコト云フコトハ、最モ私

ハ適切ナ事デナカラウカ、先日貴族院ニ於テ内務大臣モ議

員ノ質問ニ對シテ御答辯ニナツテ居ラレタヤウデアリマシタ

ガ、昨年ノ米騒動ノ如キ、一面ニ於テハ此世界ノ大勢ノ波

動ヲ受ケタノガ一ノ原因デアリマスガ、其ノ一ノ原因ハ所謂

成金ト云フヤウナ者ノ放恣放縱ナル所ノ行為ニ對シテ、一

ノ反感ヲ與ヘタ結果モ亦閑却スルコトハ出來スト云フ御趣

旨ノヤウニ承知致シマシタ、是等ノ事カラ見マシテモ、今度

此資產階級及ビ中産階級以下トノ思想ノ調和等カラ考

ヘマシテモ、是等ノ税金ヲ以テ收入ト致シテ、都市ノ社會政

策ノ方面ニ向ケルト云フコトハ、最モ私ハ適切ナコトデアリ

ハシマイカ、前回大蔵大臣ニ伺ヒマシタガ、簡易生命保險

資金ノ運用ト云フコトデ、今日預金全部ニ百萬圓以上モ

這入デ居ル、是ハ法律ヲ改正シナケレバナラヌノデゴザイマ

ス、今日ハ徵々タルモノデゴザイマスガ、將來ハ中々大キナ金

ニナラウト思ヒマスカラ、一寸御尋シタノデアリマスガ、其事

ハ別トシマシタ、唯今申シマシタ唯一ノ財源トナツテ居リマ

ス其財源ヲ以テ、社會政策ヲ行ハル、ト云フコトハ、都市ノ經

營許リデナク、其及ボス所ノ效果ニ至リマシテハ、蓋シ大ナ

ルモノアリト思フデアリマス、是デケテ伺ヒマシテ内務大臣

ニ對スル御尋ハ私モ終ラウト思ヒマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 風紀ノ爲メニスル地區ノ

問題ニ付テ、最初ニ御話ガアリマシタガ、第十條ノ二項ニ必

要ナレバ地區ヲ指定スルコトヲ得トアリマスガ、自然サウ云

フ場合ニハ都市計畫ノ審議ニ上ル譯デアリマス、大體地區

域ノ設定ト云フコトハ、午前ニ申シタ通り此法案ガ出タラ

ウト云ウテ、全ク是マデノ沿革事情ヲ見ナイ勝手ニヤルト云

フコトデスカ

○小山松壽君 サウデス

○國務大臣(床次竹二郎君) 今ノ所デハ何モ考ヘテ居リ

マセヌ、是等ハ第四條ニ其他勅令ヲ以テ定ムルモノトアリマ

スカラ、或ハ何カ必要ナコトガアレバ、ソレニ依テ規定ヲ致

シテモ宜カラウト思ヒマスガ、唯今ノ所デハ別ニ考ヘ持ッテ居

リマセヌ、ソレカラソレニ關聯シテ此地ノ利用ノ御話ガアリ

マシタガ、是モ將來ハ問題ガ或ハ起ッテ來ヤウト思フノデス、

其時ハ矢張此都市計畫委員會ノ大體調査設計ニ依ッテ

定メタ方ガ宜カラウト思ヒマス、サウシテ其設計ガ立チマス

ナラバ、茲ニ主務大臣ノ許可ヲ受ケテ特別ニ費用ヲ徴收シ

テ、或ハ地下ノ利用ヲ許スト云フヤウナ事ガ起ッテ來ル場合

モアラウト思ヒマス、第九條ノ御尋ハ國有河岸地トナツテ居

リマスガ、他ノ國有土地ニ付テハ何カ考ガアルカト云フ御尋

デアット思ヒマスガ、サウデアリマスガ

○小山松壽君 ソレハ地域內ニ於ケル土地ヲ利用シテ財

源ニスルト云フ事モ一方法デアラウ、官有地ノ無償下付ト

云フヤウナ事ヲシテ市ニ一財源ヲ得セシメテ、計畫事業ヲ

促進シ助成スルト云フ事モ一方法デアラウト考ヘル、例ヘバ

第九條ノ國有河岸地ト云フヤウナモノヲ公共ノ用ニ供スル

場合ニハ、之ヲ下付スルト云フ例モアルカト云フ事デアリ

マス

○國務大臣(床次竹二郎君) ソレハ御質問ノヤウナ事

ガ、自然計畫ヲ進メテ行ク上ニ於テハアラウト思ヒマス、其

時ハ私ノ方面カラ申シマスレバ、出來ルダケ此事業ノ進行

上ニ都合ノ好イヤウニ盡力致シタイ積リデ居リマス、ソレカ

ラ糞尿ノ問題ノ御話ガアリマシタガ、是ハ隨分大都會地ニ

於テハ難儀ナ問題ニナツテ來ルダラウト思ヒマス、其解決ハ

詰リ下水ノ計畫ト相伴ハナケレバ、本當ノ處分ハ出來ヌダ

ラウト思フデ居リマス、現ニ東京ナドデハ是マデノヤリ來リニ

依ッテ處分ヲ致サウト思フデモ、餘程難儀ナ狀態ニナツテ來ハ

セヌカト思ハレリヤウナ事モアリマスルガ、詰リ是ハ下水ノ問

題ニ伴ッテ解決シナケレバ、本當ノ解決ハ出來ヌダラウト思

ヒマス、ソレカラ戰時利得税ガ此事業ノ遂行上ニ好イ財源

デハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、成程ソレハサウデアリマ

スウケレドモ、唯今ノ所デハ戰時利得税ヲ以テ直チニ此方

ノ財源ニ充テヤウト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマセヌ、是ハ後

日ノ問題ニナリマス

○横田孝史君 今議會ニ對シテ内務大臣ハ數個ノ重要

ナル法律案ヲ御提出ニナリマシタ、先ヅ以テ其御努力ニ對

ト云フガ如キモノニ付テ、何等カ御考ガアリマスガ、實ハ此

問題ヲ議スルニ付テ豫メ伺ッテ置クベキ必要ガアラウト考ヘ

マス

○國務大臣(床次竹二郎君) 都制法ナリ若クハ特別市

制ナリト云フヤウナ事ニ付テハ、未ダ私ハ確信ヲ有スルモノ

ガアリマセヌカラ、今ノ所デ明確ナル御答ハ出來マセヌ、兎モ

角年來議論サレテ居ル問題デアリマスカラ、十分ニ攻究ヲ

致シマシテ成案ヲ得マシタナラバ提出ヲスル積リデ居リマス

ガ、今ノ所デハ左様ナ所マデ參ッテ居リマセヌ

○横田孝史君 本案ヲ見マスルニ、第一條第二條第三條

ガ此法案ノ主ナル條項デアラウト考ヘマスルガ、第一條ニ交

通、衛生、保安、經濟、斯ウ列記シテアリマス、此意味カラ推

シマシテ、矢張教育ト云フ如キモノヲ此中ニ加ヘラルベキ必

要ガアリハスマイカト考ヘル、都市ノ經濟ト云フ事ハ如何ナ

ル意味ニモ見エマスガ、或ハ具體的ニ申セバ水道工事ノ如

キ、下水工事ノ如キ、斯ウ云フ特殊ノモノヲ意味スルノデア

ルカ、尋常一般ノ事デアレバ、先刻或ル委員ニ對スル御答

ノ通り、此計畫ニ付テノ財政ノ如キハ恰モ町村制ノ上ニモ

アルデハナイカト云フヤウナ意味ノ御答辯デアッタヤウニ考ヘ

マスガ故ニ、此事ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、尙ホ便

利ノ爲メニ一二共ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス、追テ他ノ諸

君ノ御質問モアリマスカラ時間ヲ節約スル意味ニ於テ

伺ッテ見タイト思フ、其次ハ財源ノ事デス、既ニ財源ニ對シ

テハ先刻小山君ノ御尋モアリ、前日大蔵大臣ニ對スル吾々

ノ質問應答モアリマシタガ、大蔵大臣ノ御答辯ハ頗ル吾々

ノ腑ニ落チヌノデアリマス、之ニ付テハ高木君モ御尋ニナツ

譯デアリマスルガ、要スルニ人ト金ト云フ事ガ如何ナル問題

ニ對シテモ必要デアリマスガ、殊ニ此計畫ニ對シテハ最モ其

人ヲ得ルト云フ事ト、其財源ト云フ事ガ主ナル問題デラウ

ト思フ、ソレデ此人ノ事ニ就テハ次ニ委員組織ノ事ニ就テ

伺ヒタイト思ヒマスルカラ讓リマシテ、此財源ニ付テ即チ市

町村制云々ト云フコトノ例ヲ御引キニナツタヤウニ考ヘマス

ケレドモ、是ハ中々容易ナ事業デハナイ、國家百年ノ長計ト

云フ事ガアリマスガ、此意味カラ申シマスレバ是ハ都市千年

ノ計畫デアル、ソレラドウシテモ是等ノ事ヲヤル以上ハ、後ノ事

ヲ考ヘテ最モ完全ナル事ヲヤラナケレバナラヌ、苟モ姑息の

行為ニモ出ゾルノデアレバ、新ニ此法案ヲ御提出ニナル必

要モ無イヤウニ考ヘラレマス、ソレデ唯今參考ニ御示ニナリ

マシタ此圖ニ依リマシテモ、現ニ東京ノ如キハ現在ノ市ニ對

シテ接續町村、殆ド東京ト同一ニ見ルベキ行政ノ地域ガ約

勢ヲ以テ進シテ居ル、即チ全國ニ於テ年々五十万ノ人口
 増加シ、其多クハ大都市ニ吸収サレ、此事實カラ觀マ
 シテモ今指定サレテ居ル六大都市現在及將來ト云フモノ
 ハ、想像スルニ餘リアラウト思フ居リマス、ソレデ此新舊市
 街ノ別ニ付キマシテモ、既ニ何方カノ質問ノ一節ニモアツタ
 ヤウニ心得マスガ、如何ニ市區ノ整理ヲセント欲シテモ、現
 在既ニ商業地タリ、工業地タリ、若クハ住居地タルモノヲ
 之ヲ新ニ改造スルト云フコトニ付キマシテハ、第一ニ費額ノ
 點ニ於テ、第二ニ之ニ伏在シマス事情ノ點ニ於テ、容易ニ
 實行シ得ラヌノデアル、果シテ然ラバ此接續町村即チ、膨
 脹シツ、アル所ノ市區ニ對シテヤルトスレバ、所謂可能的ノ
 事實デアル、例ヘバ各種ノ歴史カラ申シマシテモ、大阪ノ街
 區ハ昔玉造カラ段々整然トシテ居ル、然ルニ最近ノ事實ヲ
 見マスルト、殆ド大阪市ノ周圍全體ニ對シテ膨脹シテ居ル、
 東京固ヨリ然リ、或ハ神戸ノ如キ東西ニ激シク延長シテ居
 ル、建築法ノ地域ニ付テ商業地工業地或ハ住宅ト云フモ
 ノヲ區別スルガ如キ事實モ、唯今申述ベマスル如ク、現在都
 市舊街區ニ依ラズシテ、新街區ニ對シテ其方針ヲ示シ、其
 方針ノ下ニ各自事業ニ著手スル、斯ウ云フコトニナルノデハ
 ナカラウカト思フ、是ハ誰ガスルト言ヘバ、即チ法案ニアリマ
 スル如ク計畫委員ナルモノガ殆ド中心デアツテ、此計畫ニ對
 シテ主務省ハ認可ヲ與ヘラレ、此順序ニ依テ進ム、斯ウ
 云フノデアリマシテ、其委員ノ權限極メテ大ナリ、第二ハ財
 源——財源ハ唯、僅ニ第八條ニ些々タル地方税ノ増收位
 ノコトヲ以テ、到底此事業ニ充ツルト云フコトハ不可能デア
 ル、果シテ然ラバドウスルカト云フニ付キマシテハ、吾ハ先
 刻ノ御答辯及大藏大臣ノ御答ニ依テ、所謂満足スル
 場合ニ至リ兼ネルノデアリマス、試ニ例ヘバ此道路法ヲ制
 定サレ、矢張國庫ノ支出ト云フカ、補助ト云フガ如キ條
 項ガ制定サレテアル、承ル所ニ依レバ國庫ノ補助モ場合ニ
 依ッテハ辭サナイ、辭サナイガ之ヲ明文ニ列ネルコトハ困ル、斯
 ウ云フヤウナ先刻ノ御話デアリマシタガ、到底如何ナル事業
 デモ、金無クテハ出來ヌノデアアル、況ヤ是ダケノ事業ヲ遂行
 セント欲スルニ付テ尙更デアアル、若シ果シテ事實國庫ノ補
 助ト云フモノガ爲シ得ラレルモノデアルトスレバ、何ガ爲メニ
 明文ニ記入スルコトヲ避ケルノデアアルカ、其點ガ吾ハ甚ダ疑
 ナキヲ得ヌノデアリマス、更ニ進ンデ事實カラ申シマスレバ、
 國費ノ大部分ト云フモノハ、或ハ直接税ト言ハズ、間接税
 ト言ハズ、大都市ガ最モ國費ヲ負擔シテ居ル、然ルニ國家
 ハ此大都市ノ計畫ニ對シテ如何ナル援助ヲ與ヘタカト云ヘ
 バ、殆ド歴史ノ上ニ於テハ見ルベキモノガ少イ事情カラ言ヘ
 バスノ如キ次第デアル、ソレ故ニ第二ノ質問ハ財源ニ
 付テ今一遍吾ハ首肯スルニ足ルダケノ意味ニ於テ御説

明ヲ願ヒタイ、ソレカラ次ハ委員ノ權限、此法ハ殆ド委員萬
 能主義デアル、一面ニハ政府當局ノヲ認可シテ實行スルノ
 デアリマスガ、其原動力タリ主動力タルモノハ計畫委員デ
 アル、此計畫委員ノ凡ソ重ナル權限ノ如キハ、ドウシテモ此
 法文ニ明記セラルベキ筈ノモノデアリハスマイカ、斯ウ云フコ
 トヲ考ヘルノデアリマス、ソレカラ尙ホ之ニ牽聯シテ伺ヒタイノハ
 都市計畫調查會ト云フモノガアル、ソレカラ此法文ノ附則
 ニ於テ是レ——モノハ廢スト云フ上ニハ、市區改正委員ハ
 廢セラレコトニナツテ居リマスガ、此都市計畫調查會ナル
 モノハ廢スルコトニナツテ居ラヌヤウニ見エル、尙且ツ先刻配
 付ニナリマシタ命令事項ノ要領ト云フモノヲ見マスルト、中
 央委員地方委員ト云フコトニナツテ居ル、果シテ現行ノ都
 市計畫調查會ナルモノガ、存續スルモノトスレバ、是ガ即チ
 此命令事項ノ中央委員ト云フコトニナツテ、ソレカラ此法文
 ニ掲ゲテアリマス計畫委員ナルモノガ地方委員、斯ウ云フ
 コトニ解釋シテ宜イノデアリマスルカドウカ、ソレカラ此中央
 委員會ニ於テハ從來ハ無イヤウデアリマスガ、是ハ餘程重
 要ナル職權ヲ有スルモノデアリマスルガ故ニ、之ニ對シテ他
 ニ幾多ノ例モアルコトデアリマスルカ、伺ヒ置キタイノハ、貴
 衆兩院議員ヲ之ニ加ヘルト云フガ如キコトハ、吾ハニ於テハ
 極メテ必要ナ事デアリハスマイカト考ヘマスガ、此邊ニ付テ
 ノ御考ハ如何デアリマセウカ、ソレカラ今一ツニハ現在ノ地
 方委員ト見ルベキ此市區改正委員、是ハ唯、名稱ガ變ルノ
 ミデアツテ、サウシテ此法案ガ成立シマスルト同時ニ、更ニ其
 者ヲ任命ト云フカ選舉スルノデアアル——云フガ如キハ即チ
 是ハ間接デアリマスルカ、私共ノ誤聞カモ知レマセヌ、誤聞
 カモ知レマセヌガ政府當局ニ於テハサウニ云フコトニスル筈デ
 アルト云フコトモ言明サレタト云フコトヲ聞クノデアリマス、
 何故サウ云フコトヲ聽クカト申シマスルト、現在ノ市區改正
 ニ或ハ郡村ノ縣會議員トカ云フモノガ加テ居ル、若シ夫レ
 府縣費ヲ以テ之ニ補助スルト云フヤウナ順序デアレバ、或ハ
 其事モ必要ガアルカモ知ラス、此財源ハ此法文中ニサウ云
 フ意味合ノ事ハドウモ發見シナイヤウデアリマス、發見シナ
 イニモ拘ラズ郡村ノ縣會議員ガ加テ居ル、尤モソレハ議長
 トカ郡部會議長トカ云フモノデアリマスガ、矢張將來モサウ
 云フ者ヲ加ヘルト云フコトニナルノデアアルカ、尙ホ之ニ關聯致
 シマシテ併セテ伺ヒ置キタイノハ、現ニ橫濱及神戸ノ築港
 ニ對スル委員デアリマス、是ハ此中ニ市區改正委員ハ市民
 中ヨリ何名或ハ商業會議所ニ於テハ議員中ヨリ互選スル
 ト云フガ如キ事實ガアルノデアアル、何方カニ先刻御答ニナ
 タ中ニアリマシタ通り、所謂立憲の行爲ニ出テ居ル、固ヨ
 リ重ニ市區改正委員デアリマスガ故ニ、市會議員若干名ヲ
 加ヘルト云フコトハ必要デアリマセウ、必要デアリマセウガ更

ニ此市民側ヨリ神戸及橫濱ノ實例ニ倣シテ選舉セシムル、或
 ハ其土地ノ商業ノ智識ヲ吸收スル意味ニ於テ、商業會
 議所側ヨリ互選スルト云フガ如キコトハ、此重要ナル委員
 ノ組織ノ一分子ト致シマシテ緊切ナルコトデアリハスマイ
 カ、斯ウ云フヤウニモ考ヘラレルノデアリマス先ヅ以テ此點ヲ
 伺ヒ見タイト思ヒマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 第一條ニ教育ト云フ文字
 ガ見エナイガドウカト云フ御話デアツタヤウデスガ、此都市計
 畫ヲ爲スニハ教育ノコトモ私ハ必要ダト思ヒマス、周圍ノ
 事情ガ其人ヲ感化スルト云フコトガアルノデスカラ失張此
 計畫ハ大體カラ見テ市民ノ教育ト云フコトハ考ヘテ爲スベ
 キガ當然ダト思ヒマス、併シ殊ニ茲ニ文字ヲ挿入シナクテモ
 其事ハ宜シイ積リデアリマス、ソレカラ其次ハ財源ノコトデ
 スネ

○横田孝史君 サウデス

○國務大臣(床次竹二郎君) 財源ノコトニ付テノ御尋ハ
 主トシテ國庫補助ノコトダツタト思ヒマスガ、國庫補助ノコ
 トハ必ズ相當ノ補助ヲスルト、斯ウ云フコトニ致シマスル
 ニハ、茲ニ明文ヲ置カケレバナルマイト思ヒマス、必ズスル
 ト——併シ「補助スルコトヲ得」ト云フ箇條ナラバ、先程小
 山君ニ御答シタヤウニ、茲ニ無イカラト云フデモ出來ナイコ
 トハナイ、豫算ヲ取ツテ御協賛ヲ經テ置キマスレバ、總テノ
 補助ハ皆サウ云フ工合デ出來テ居ルノガ多イノデアリマス
 カラ差支ナイ積リデアリマス、ソコデ入レテアレバ尙ホハキ
 リスルノデアリマスルガ、併ナガラ實際上ニ於テハ補助ヲスル
 積リデアレバ、其條文ガ無クテモ宜シイノデアリマスルカ省
 イタ次第デアリマス、而シテ必要アリト思フ時ニハ、出來得
 ルダケ當局主務大臣トシテハ私ハ盡力スル積リデアリマス、
 斯ウ云フコトヲ小山君ニ申上ゲタノデアリマス、ソレト關聯
 シテハ公債ノ規定ナドモ其儘デアリマシタガ、今度ハ取りマ
 シタガ矢張實際ニ於テハ是ハ大事業デアリマスルカ、特別
 會計ヲ設定スルトカ云フヤウナコトハ必要ダト思ヒマスル
 ガ、コ、デ川岸地ト限ッテデアリマスルカ、他ノ一般ノ官有
 地ニ致シマシテモ、此事業ヲ遂行スル上ニ於テ段々補助下
 付——無料デ使用セシムルカ、若クハ下付スルカト云フヤウ
 ナ事實問題ニモ遭遇スルダラウト思ヒマスルカ、サウ云フコ
 トニモ出來ルダケ此事業ノ進行ヲ助ケタイ積リデアリマス、
 ソレカラ其次ニハ委員ノ組織ノコトデアリマスガ、大體今度
 ノ案デハ斯ウ致ス積リデアリマス、今日出來テ居ル所ノ此
 都市計畫委員ト云フモノハ、總テ內務省ニ纏メルコトニナ
 テ居リマスレドモ、此法案通過ノ曉ニ於テハ、內務省ノ
 中央ニ都市計畫委員ヲ置イテ、各地方ニハ地方ノ都市計
 畫ニ關スル委員ヲ置カウト思フノデス、其土地ノコトハ其土

地ニ關係アル人ガ最モ能ク知テ居ル譯デアリマスカラ、其土地ノ委員ハ地方ニ任ス、ソコ設計ノ出來タモノ、大體ヲ認メルト云フコトヲ、中央ノ委員會ニ於テ致サウト思フノデス、而シテ地方ノ委員ガ組織ニナリマスレバ、現在アリマスルモノト大體ニ於テ甚ダシク變更ハシナイ積リデアリマス小山君カラ御話モアリマスルシ、本會デモ高木君カラモ御論ガ出タガ、ア、云フコトハ注意スベキ御尤ナ御考ト考ヘテ居リマス、ソレカラ郡村カラ委員ヲ入レルノハドウカト云フコトデアリマスガ、六大都市以外ニ今度ノ計畫事業ハ涉ルコトガ多カラウト思フデアリマス、即チ郡村カラ委員ヲ入レテ置クト云フコトモ隨テ必要ナリト思フノデス、中央ノ都市計畫委員ノ中ニ貴衆兩院ノ議員ヲドウスルカト云フコトデアリマスガ、唯今ノ所デハ必ズシモ兩院議員カラト斯ウ云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、自然兩院議員ニシテ委員ニナル人モアリマセウト考ヘマスケレドモ、兩院議員カラ必ズ若干名ト云フヤウナ考ハ持ッテ居リマセヌ、ソレカラドウデシタカ

○横田孝史君 委員ノ權限ヲ本案ニ規定スル必要ハナイカト云フノデス

○國務大臣(床次竹二郎君) 委員ノ權限ノ大體ハ、此一條カラ三條マデヲ御覽下スダラ分ルコトデアリマスカラ、是レ以外ノコトハ命令ヲ以テ規定シテ差支ナイ積リデアリマス

○横田孝史君 尙ホ此財源ニ就テ今一應此案ヲ議スルニ付キマシテハ、最モ重要ノ問題ト思ヒマスガ故ニ承ッテ置キタイ、幸ニ現在ノ内務大臣ガ永ク其職ニ居ラシヤルト云フガ如キコトガ事實デアリマスルナラバ、唯今ノ御言葉デ以テ吾々首肯シテ宜イノデスケレトモ、此明文ニ無イ以上ハ若シ百年ノ後ニ内務大臣ガ御辭職ニナルト云フヤウナコトガ假ニアリトセバ、明文ニ無イ場合ニハ吾々ハ多少不安ノ念ヲ感ゼザルヲ得ナイ、ソレ故ニ若シ既ニサウ云フ先刻モ述ベラレタヤウナ御考ノアリマス以上ハ、此法文ニ道路法案ノ如キモ既ニ然リデアリマスカラシテ、明記スルノ必要ガアルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、併シ餘リ私ハ議論ノ意味ニ於テデハナイ、自分ガ會得スベキ意味ニ於テ伺テ居ルノデアリマス、ソレカラ此際ニ川岸地ノミナラズ、川岸地ノ如キモノト云フ洵ニ親切ナル此事業ニ對シテ御考デアリマスガ、ソレニ東京ノ事ニ最モ精通サレテ居ル諸君ガ澤山御在リデアラカ、私共或ハ誤聞カモ知レマセヌガ、將來東京ノ市區改正ニ付テ、東京ニ於ケル官有地或ハ濠端ノ外濠ノ埋立ト云フガ如キコトハ非常ナ財源ニナデ、此事業遂行ノ上ニ於テ頗ル便利ヲ得タト云フコトニ聞イテ居リマス、又大阪ノ如キハ隨分川ノ多イ處デアリマスガ、是ハ官有地ガ餘計無

カタノデアリマス、僅カアツタノハ西村知事ノ時デ、多クノ地面ヲ極メテ安イ價格ノ下ニ拂下ゲタノデアリマス、此大阪ノ如キハ他ニハナイ、神戸ノ如キハ最モ然リテ、殆ドソレニ類シタモノガナイノデアリマスカラ、河岸地ハ勿論、河岸地ニ類シタヤウナ官有地ガ有タナラバ、ソレハ此事業ノ爲メニ利ヲ與ヘルト云フ御意思ハ、事業ノ爲メ御忠實デアリマスガ、而モ實際ニ於テサウ云フモノハ六大都市ニハ無イヤウニ考ヘラレル、ソレ故ニ實ハ財源問題ニ付テ一種不安ノ念ヲ感ゼザルヲ得ヌノデアリマスソレカラ此私共ノ述べ方ノ拙キガ爲メニ御聽取リ得ナカッタカモ知リマセヌガ、郡村ノ人ヲ入レルノハ絶對ニイカヌ、斯ウ云フ意味デハナイ、斯ウ云フ意味デハナクシテ、寧ろ新タニ委員ヲ選出シ——現在膨脹シツ、アルハ主ニ現在ノ市外、即チ其市接續郡村デアラガ故ニ、是等ノ地方ニ於ケル適當ナ人物ヲ舉ゲ、之ヲ加ヘルト云フコトハ、最モ適當ナコトデアアルマイカ、第二條ノ方針ガ決定シタ場合ニハ、其接續町村ノ代表者ヲ無視シ、現在市ノ代表的人々ノミガ勝手次第ナ事ヲ行リ放題デアル、斯ウ云フ點ガ見エルノデアリマス、此點ニ於テ密接ナ關係ヲ有テ居ル、或ハ近接町村ハ統一シテ市ニ編入スル、斯ウ云フコトハ現在及未來ニ於テ事業遂行ノ上ニ避ケベカラザルコトデアルト云フガ如キコトハアリハシナイカ、此意味ニ於テ市會議員ニ限ラズ、同時ニ市會議員以外ノ者ヲモ加ヘルト云フコトハ、市ノ内外ヲ通ジテ適材ヲ得ルト云フコトニナリハシナイカト思ヒマス、此反比例ニ府縣費ノ負擔ヲ要シナイ、縣會議長デアラガ故ニ加ヘル、郡部會議長デアラガ故ニ加ヘルノト云フ、サウ云フ形式ハ立テナイデ、事實ノ上ニ必要ナ人ヲ此中ニ入レタラドウデアアルカト云フ、斯ウ云フ意味デ伺ッテデアリマス、尙ホ序ナガラ伺テ置キマスガ、過日政府委員ノ方ノ御説明中ニ、斯ウ云フ事ガアツタヤウデアリマス、此法令ハ、元ノ市區改正條例ヲ骨子トシテ、昨年ノ修正デ即チ東京以外ヲモ合セルト云フ事實ハ之ヲ斟酌シ、更ニ委員會ノ狀勢ヲ斟酌シテ制定シタ、ソレ故ニ謂ハ名ハ變ッテモ實質ハ變ッテ居ラヌ、唯、變ッテ居ルノハ第十條、第十二條、第十七條ノモノデアアル、斯ウ云フ風ニ伺ッタデアアル、要スルニ是ハ速記録ガアリマセヌカラ、私共多少記憶洩ガアルカ知レマセヌガ、此點ニ付テドウモ疑フ生ゼザルヲ得ヌノデアリマス、果シテ元ノ市區改正條例ヲ骨子トシテ、殊ニ昨年修正ノ趣旨ヲ参照シ、昨年ノ之ニ對スル委員會ノ狀勢ヲ斟酌シテヤツタモノト云フコトガ、果シテ私共ノ承ッタ通りデアリマスレバ、昨年ノ修正ノ最モ主ナルモノハ何デアアルカト云ヒマスルト、建物ヲ處分スルコト、是ハ一方カラ云ヘバ頗ル不利益ガ、土地家屋ヲ買收スルコト云フ側カラ云ヘバ、實際純理論カラ云ヘバ少シ氣ノ毒デアルケレドモ、此事業ヲ苟モ遂

行セントスル場合ニ於テハ、到底收用法ヲヤッタゲデハ中ミイカヌト云フコトハ、東京ノ實例ニ於テ明ガアル、ソレ故ニ多少純理論ニ反シテモ、便利ノ爲メニ土地建物處分規則ト云フ類ノ法律デアラガ、尙且ツ活用セラレツ、アル、管ニ利用活用セラレツ、アルノミナラズ、新タニ加ハリタル所ノ五大都市ニモ利用スルコト云フコトニナッテ居リマス、御論ハドナラデモ宜シイ、果シテ昨年ノ修正、昨年ノ委員會ノ狀勢ヲ酌量シタト云フ言葉ガ事實デアラナラバ、今回之ヲ御止メニナッタコトハ、吾々ハ當ヲ得ナイコト、言ハザルヲ得ナイノデアリマス、同時ニ此耕地整理法ハ讀ンデ字ノ如ク、耕地整理ノ爲メノ法規デアアル、現在ノ都市ニ於テ神戸アタリデ若シ新市街ヲ設ケル時ニハ、他ニ據ルベキ法規ガアリマセヌカラ、之ニ據ッテ居ルト云フコトデアリマスガ、又名カラシテモ亦實質カラ云フテモ、耕地整理デアレバ成ベク畦畔ヲ少クシテ利用スベキ土地ヲ多クシテ、實質ヲ多クシナレバナラヌガ、新市街ハ成ベク思ヒ切ッテ街ヲ造ル、是ガ丁度耕地整理ト反對ノ性質デアアル、斯ウ云フモノヲ以テ今日折角斯ノ如キ法律ヲ制定セラレ、ナラバ、斯ノ如キモノニ準據シナレバナラヌト云フコトハ、甚ダ吾々ハ不道理デアルト云フコトヲ考ヘザルヲ得ヌノデアリマス、況ヤ土地建物處分規則ヲ廢メルト同時ニ、之ニ該當スル規則ガ何處ニ在ルカト云ヘバ、十八條ノ收用法適用、此モノ、外一寸見當ラヌヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、折角此澤山ノ有益ナ參考材料ヲ、今少シ短カク早ク御提供下サレタナラバ、吾々モ長ク質問セヌデモ幸ニ短カク早クコトガ出來タノデアラウト思ヒマス、序ナガラ申上デマスガ、若シ何カアリマスレバ、此際御廻シテ願ヒタイト思ヒマス、サウ云フヤウナ譯デアリマスルガ故ニ、昨年ノ修正云々ト云フ政府委員ノ御言葉ニ對シテ、恰モ其事實ハ反對ノ結果ニナッテ居ルト思ヒマスガ、若シ私共ノ考ガ誤解デアリマスレバ、吾々ノ誤解ガ解ケルヤウニ説明ヲ願ヘバ、大變仕合せデアリマス、ソレカラ些細ナ問題デアリマスガ、内閣ノ認可云々ト云フ、斯ウ云フ法文ニ於テハ、矢張主務大臣ノ認可トカ、政府ノ許可トカ云フガ如キ方ガ宜クハナイカト思ヒマス、是ハ極ク些細ナコトデアリマスガ、序ナガラ合點ノ行クベキ意味ニ於テ此場合ニ一寸伺ッテ見タイト思ヒマス、後トハモウツデアリマスガ、複雜ニ互リマスルガ故ニ……

○國務大臣(床次竹二郎君) 委員ノ選任ノコトニ付テ御話ニナッタコトハ、是ハ御尤ナコトデス、サウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデス、ソレカラ國庫ノ補助ニ關スル規定ハ、先程私ガ申シタノハ斯ウ云フコトデアリマス、例ヘバ年々一定ノ額ヲ此事業ノ爲メニ國庫ハ補助スル補助スルト云フヤウナ風ニ規定スルノデアレバ、ドウシテモ茲ニ無ケレバイカヌケレドモ、補助スルコトヲ得ト云フノデアラナラバ、此中ニ必ズシモ無クテ

モ宜イノデ、實際ニ於テ出來ルコトデアルカラ削ツテノデアルト、斯ウ申シテノデアリマス、要ハ左様ナ「補助スルコトヲ得」ト云フヤウナコトハ、是ハ實際ノ働デアリマスカラ、其實際上ノ働ニ付テハ、此條文ノ有ル無シニ拘ラズ、勿論主務大臣トシテハ大ニ盡力致サントスルコトヲ思フノデアリマス、儲デソレニ付テハ人ガ更タカラ困ルト云フ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、元々「得」ト云フコトデアリマスルカラ、人ガ更タトモ其邊ニエライ變リハナイト思ヒマスガ、併ナガラ元都市計畫事業ト云フコトハ、唯、六大都市ノ利益ノミヲ見テ規定スル法文デハナインノデ、必竟六大都市ハ國家ノ中心點ニ當ル所デアリマスカラ、此所ノ總テ施設ガ良クナルナラヌト云フコトハ延テ國家ノ上ニ大關係ノアル譯デアリマスカラ、是ハ何レノ大臣ト雖モ其局ニ當ル人ハ私ヨリハ益、盡力スル譯ニナルノデアリマス、ソレハマアサウ御心配ニ及バヌト思フノデアリマス、ソレカラ此計畫ハ内閣ノ認可ヲ受ケルヤウニナテ居ルノハ、ドウカト云フコトデアリマスガ、隨分此事業ハ申上ゲル如ク大事ナ事業デアリマスカラ、其所マデノ手續ヲ經テ置ク方ガ宜カラウト思フノデス、又普通ノ土地收用ニ關スル事業ノ如キハ、矢張り内閣ノ認定ト云フコトヲ受ケルヤウニモナテ居リマスカラ、其等ニ比較シテ、サウナテ居ル方ガ宜カラウト思フノデス

○横田孝史君 少シ私共ノ吟辯ノ爲メニ、御聽取ヲ願ハレナカッタ點ガアリマス、政府ノ認可ガ惡イト云フ意味デ伺フタノデナク、内務大臣ノ認可ト云フ例モアルノデ、ソレモ宜ササウナモノデアアル、此法案ニ特ニ内閣ノ認可トアル、此文字ニ付テ序ナガラドウ云フ區別ガアルカ、疑フ解クベキ御答ヲ得タイト申シテノデアリマス、ソレカラモウ一ツ伺フタノハ、詰リ私共ハ「得」デナクシテ「可シ」ニシテ戴キタイノデ、前言ヲ繰返サヤウデ恐入マスガ、ソレ位ノ事ヲシテモ宜イ資格ガアルト思フ、即チ直接稅ト言ハズ間接稅ト言ハズ、非常ナ御奉公申シテ居ル、都市ニ對シテハ會テ何等ノ恩典モナク、奉モ斯ウ云フ結構ナ案ヲ出サレタノデアアルカラ「得」デナク「可シ」ニシテ戴キタイノデアリマス、道路法案ノ時ニモ其希望ヲ述ベマシタガ、此六大都市ガ頗ル財政ノ上ニ經濟ノ上ニ、中堅トナテ働ヲナシテ居ルモノデアアルカラ、ドウカ「得」デナク「可シ」トシテ戴クコトハ出來マセヌカト云フ意味デ伺フタノデアリマス、尙ホ序ニ伺フテ置キマスガ、此地域デアリマス、即チ商業地、工業地、住居地、是ハ寔ニ斯ク出來得ベキモノトスレバ、結構ノ事デアリマスガ、之ヲヤルニ付テハ隨分困難デアルト云フコトハ、最前質問ノ場合ニモ申上ゲマシタガ、此事ハ頗ル結構ナ事デ必要デアルノニ、何故ニ之ヲ都市計畫ノ方ニ御制定ニナラナカッタノデアアルカ、是ガ附隨法ト申シテハ當リマセヌカ知リマセヌカ、此二案中ノ主ナルモノ

ハ、都市計畫法デアアル左傳デ云ヘバ都市計畫法ハ經デアアル、道路法ハ傳デアアル、斯ウ云フ意味ニ吾ハ見テ居タ、然ルニ之ヲ書カヌデ、傳ニ御書キニナツノハドウ云フ譯デアアルカ、ドウシテモ春秋左傳ノ傳ニアラズシテ經ニ持テ行クベキモノデナイカト云フ疑ガ第一ニ起ツタノデ、此事ヲ伺フテ置キタイ、ソレカラ今一ツ最モ此計畫ニ付テ必要ナルモノハ街路デアアル、此街路ニ付テハ既ニ先達道路法案ノ出マシタ時ニ他日案ガ提出セラル、答デアアルカラ、其時ニ能ク得心ノ行クヤウニ御話ヲシヤウト云フ御言葉ヲ拜聽シタ、然ルニ此都市計畫トシテ最モ必要ナルハ街路ノ整理デアアル、此事ニ付テ何等ノ規定ガナイセウニ思フ、現ニ理窟ハ姑ク措テ問ハズ、東京ノ現狀ニ照シテモ電車ガ走テ居ル、其前後自動車ガ馳驅シテ居ル、同時ニ自轉車ガ縱橫無盡ニ走廻テ居ル、或ハ運輸機關トシテ不十分ナル荷車馬力ト云フヤウナモノガ、同様ニ駈テテ居ル、是等ノ危險不便ハ言フマデ有ク、實ニ失態ト云フカ、私ハ缺點ト申シマス、是等ハ遠キ事ヲ見ズトモ目前ニ斯様ナ有様デアアルガ、東京ノミナラズ大阪、神戸ノ實例ニ照シテモ、凡ソ繁榮シツ、アリ、活動シツ、アリ、凡ソ般賑ヲ極メツ、アル都市ニ於テハ、皆サウ云フ様デアアル、丁度之ヲ人身生理ノ意義カラ言フ、下等動物ハ氣管モ食道モ其他總テ脈絡ガ一デアアル、ソレガ段々高等動物トナリ、吾々ノ如キ最高等動物ニナルト、氣管ハ氣脈、食道ハ食道、動脈ハ動脈、靜脈ハ靜脈ト整然トシテ秩序ガ立テ居ル、東京ノ現狀ヲ見ル此下等動物ノ有様デアッテ實ニ不都合千萬デアアル、折角此案ヲ提出ナサルニ付テ、下等動物ノ狀態ヲシテ、何故ニ高等動物ノ狀態ニスル考ノ下ニ街路ノ整理ト云フコトニ御氣ガ附カレナシタノデアアルカ、或ハ他ニ何カ方法有リトスレバ、幸ニ此際承テ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 第一ノ御希望ノ必ズ補助スベシ、サウ云フ風ノ事ハ今日ノ場合一寸六ヶ敷イノデアリマス、補助スベシト書ケバ必ズソレノ額モ決メナケレバナラヌノデスガ、是ハ詰リ六大都市ヲ主トシテ働カセル積リデアアルケレドモ、各、狀況モ違ハマセウシ、書ケバ一定ノ額ヲ補助スベシト云フノデアリマセウガ、ソレハ一寸今ノ所デハ六ヶ敷イノデス、ソレハ其當時ノ敏腕ナ主務大臣ニ依頼シテヤル、サウ云フ位ノ所デ此處御承知ヲ願フテ置キマス、ソレカラ建築法ト之ト區分シタノハドウ云フ譯カ、成程是ハ一緒ニナテ居テモ宜イ譯デス、又一緒ニナテ初メテ眞ノ働ガ出來ル譯デアリマスケレドモ、併シ一方カラ見マスレバ、此建築物ノ取締ニ關スル事ハ、必ズシモ六大都市ニ限タモノデナイ

○横田孝史君 一寸失禮デスガ、此地域別ヲ建築法ニハレズシテ都市法ノ方ニハレベキモノデハナイカト云フ疑ノ下

ニ御尋シタノデアリマス

○國務大臣(床次竹二郎君) ソレハ御尋ノ通り、若シ建築法案ガ全ク成立タヌモノトスルナラバ、都市計畫法案ノ中ニ多少ノ文字ヲ入レテ御話ノヤウニ目的ヲ達スルコトニ致ス必要ガアラウト思ヒマス、併シ原案トシテハ兩方トモ御賛成下サル、サウスレバ是デ能ク行レルト云フ積リデアリマス、別々ニナテ居レバ今申上ゲタヤウニ、建築法ダケヲ處ニ依テハ施行スルコトモアリマセウシ又地區ノ設定ノ如キハ建築物ノ方ト關係アルコトガ隨分アルノデスカラソレ德斯ウ別々タヤウナ次第デアリマス、ソレカラ街路ノ整理ハ最モ必要ナコトデアリマスルガ、其等ノ事ハ此處ニ文字ニハ見エマセヌガ、自然都市計畫ヲナス上ニ於テハ、其邊ノ事ハ大ニ考慮シナケレバナラヌ唯今ノ東京市モ當時市區改正條例デア出來テ大分最初ノ中ハ是デ宜イ積リデアッタガ今ニナテ見ルト九間ノモノハ十一間ニナラナケレバイカヌトク一間ノモノハ十二間ニナケレバイカヌト云フヤウニナツタノデ此邊ハ計畫上ニ考慮ヲ要スベキ問題デアリマス、文字ハ入ッテ居リマセヌガ、計畫ノ上ニ相當注意致セバ出來ルコトデアリマス

○高木正年君 一昨日ノ内務大臣ガ御出ガゴザイマセヌ、大體ニ於テ質問ヲ申シタ所其事ハ隣席ノ横田君ヨリ今日明確ニ御尋ニナリマシタカラ、私モ其點ニ付テマダ幾多ノ疑ヲ持テ居リマスガ、餘リ一ツ事ヲ度メ時間ナキ委員會デア御尋スルハ宜シクナイト思ヒマスカラ、私ハ意見ヲ申ス場合ニ申下ゲマシテ、其事ハ暫ク止メマシテ唯私ハ實際ニ就テ内務大臣ノ御意見ノ在ル所ヲ伺フテ置キタイト思ヒマス、今同都市計畫ヲ御定メニナル一面ニ市街地建築法ヲ御制定ニナルニ付テ、總テノ都市一面ニ市街地建築法ヲテニ互テ斯クスベシト云フ大體ノ意見ハ無クモ兎モ角其中心ニ一ノ都市ニ就テ、斯ク「セネ」ナラヌ故ニ都市計畫ヲ設ケテヤルノデアアル幾年カノ間ニ稍、具體的ナ御考慮ガアッテ初メテ此御考察ガ生レテ來ルモノト思フ、例ヘバ道路法ノ如キ舊國道、舊府縣道若クハ郡道、町村道——郡道ハ新規ノモノデアリマス、之ヲ整理スルコトガ眼目デ、大體ノ方針ヲ決メテアッテ法律ガ出テ來ル先ヅ東京市ノ如キニ就テ昨日モ一昨日モ他ノ諸君カラモ御尋ニナツタノデアアルガ、現在東京市及東京附近ノ狀態ニ就テドウ云フ御考ヲ持ッテ整理ヲナザルカト云フコトガ、此法案ヲ作ル基礎ニナルベキモノト私ハ思フノデアリマス、此點ニ就テ内務大臣ノ御意志ヲ伺フテ置キタイ、ソレカラ實際問題ニ付テ御尋シテ見タイト思ヒマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 唯今高木君ノ御尋ハ、特ニ之ヲ東京市ノ爲メニ都市計畫法案ヲ出ス、高木正年君

サウデハナイト呼フ云フナラバ、或ハ御尋ノヤウナ事モ必要カモ知レマセス、併シ是ハ詰リ唯今ノ所デハ、六大都市ニ向テ施行シヤウト思フノスケレドモ、其六大都市ニ向テ一々斯ノ如キ計畫ヲ立テ、ヤリタイノダト云フ具體的案ヲ備ヘテ出ス、ソレニハ及バヌト思フノデス、先程小山君ノ御尋ガアテ我國モ近來都市ノ發達ハ激シイモノデアル、殊ニ區域外ニ互テ郡村ノ發達ガ著シイ、此時ニ當テ所謂東京ナラ能ク謂フ大東京デアルトカ、名古屋デアルナラ大名古屋デアルトカ、名古屋市並ニ其接續地方モ含メテ、乃チ斯クアルベシト云フツノ計畫ヲ立テ、進ムト云フコトガ今日ニ於テ必要ダ、ソレガ爲メニハ茲ニ法案ヲ作テ其便利ノ途ヲ開イテ置クノダ、マア他ノ點モアリマススケレドモ大體其様ニ話シタノデス

○高木正年君 私ノ申上デタノハ、何カ、殊更ニ内務大臣ヲ誘キ出シテ此間ニ攻撃デモ致スヤウニ御考デアッテハ困ル、サウ云フ意味デハ少シモナイ、唯、都市計畫調査會ナルモノガ出來マシテモ、發案者、即チ内務大臣——内務大臣ガ都市計畫調査會ヲ御拵ニナッテ、之ヲ發案サレルト云フ時分ニハ、先ツ相當ナ一定ノ六大都市ニ就テ御意嚮ガアルベキモノト思フ、實際御尋シタノデ、ソレハ有體ニ言ヒマスレバ其事ハナイ、先ツ調査會ヲ開イテテロ——ヤルノダト云フナラバ、其意味ニ於テ私ハ御尋ヲ進メテ行キマス、少シク其點ニ付テハ内務大臣ノ不用意ナ點ヲ遺憾ニ感ズルノデアリマス、私共此法案ヲ讀ンデ見マシテ、交通、衛生、保安、經濟、斯様ニ四項目ニ分ケラレテ居リマスルカ、最モ其中交通ナドト云フコトニ就テハ、餘リ是ハ解釋ヲ要サヌノデアリマス、要スルニ道路ノ事、或ハ河川ノ事、總テ交通ニ關スル事ハ包含サレテ居リマスカラ、是ハ強テ御尋スルノデハナイ、都下ノ住民ニ對シテ最モ私共今後ニ於ケル所ノ安定ヲ得ナイ、住民ノ安定ヲ得ナイ點ガ多クアルト思フノデアリマス、此點ニ付テ實際下ウナサルト云フ御考ガアルカ、御尋スルノデアリマス、現ニ衛生ノ點ニ就テハ大ニ關係シテ居リマスノハ色々アリマスガ、最モ近來東京市ノ或ル一部ノ者、及ビ之ニ隣接スル町村ノ者ガ不安ヲ感ジテ居ルノハ低地ノ處分デ、會テ東京市ノ中ノ殊ニ本所深川ガ荒川ノ洪水ノ爲メニ侵サレテ、隨テ荒川ノ河水問題ガ起リマシタ、大體今日放水路モ出來テ、是ガ爲メニ國家ニ數千萬圓ヲ負擔サセ、土地ノ人民モ其四分ノ一ノ負擔ヲ拂ッテ居ル、併ナガラ今日ニナッテ見マスト、荒川ノ改修ノミデハ未ダ東京市ノ低地問題ハ解決シナイ、現ニ大正六年ノ海嘯ノ如キハ、荒川ノ放水路ガ如何ニ完全ニ出來テモ、動モスルト海嘯ニ來ラレルト云フテ効ヲ成サナイ、六年計リデナイ、其二三年前ニモアッテ、衛生ノ上カラ割出スト、ドウシテモ今日ノ儘ニ置ケ

ナイト云フコトニナッテ居ル、斯様ナ事ハ一體如何ナサルカ、又近來各工業發展ノ爲メニ、工場ノ出來マシタ爲メ、都下ニ於ケル工場ノ爲メニ、住宅地ノ侵サレテ居ルト云フコトハ非常ナルモノデアル、現ニ私ノ郡デゴザイマスガ、芝區ニ接近シテ居ル所ノ町村ニ於テハ、有名ナ御殿山ノ如キ、全ク今日ハ煙害ノ爲メニ住居スル者ガ無クナッテ、大崎ノ島津邸ノ如キ、有毒ノ瓦斯ノ爲メニ非常ニ侵サレテ居ル、斯ウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、都市ノ計畫法ノ行ハル、ニ就テハ、先ツ低地ト今ノ工業地ト住宅地トノ點ニ就テ、大體内務大臣ノ方針トシテ伺フコトガ出來ル程度デアラウト思フ、今日マダ何等ノ御考慮ガナイカ、唯、都市計畫法ニ依ッテ調査委員會ノ開會ヲ待ッテ、初メテハ決定ニナルベキモノデアリマスガ、一應國務大臣ノ御意思ノアル所ヲ伺ッテ置キタイ

○國務大臣(床次竹二郎君) 私ハ唯今ノ御尋ニ付テハ斯ウ思フノデスガ、其事ハ小山君及横田君ガ御話ヲシタノデス、現在東京市ノ市區改正委員會ト云フモノハ内務省ニ置イテアルノデス、併シ將來ハ内務省ニハ中央ノ都市計畫ニ關スル委員ヲ置キマススケレドモ、ソレノ地方ニ都市計畫ヲ積リテ置キマスアリマス、此處ニ於テ專ラ設計ヲ立テサセクル心得テ居ルト私ハ考ヘル、ソレデ此處ニ坐ッテ居ッテ名古屋ノ事ナリト神戶ノ事ナリ、京都ノ事ナリ——設計ヲ立テタルト云フコトハ、寧ロ當ヲ得ヌコト、考ヘマス、成程東京ダケハ帝都ノ下デアリマスカラ、ソレデ宜シウゴザイマススケレドモ、是ハ總テ地方ノ事ハ地方ノ人ガ考ヲ著ケルト云フコトガ、最モ相當ナリト信ジテ居リマス、左様ナ考ヲ持ッテ居ル爲メニ、此法案ヲ出スノニ豫メ京都市ハ爾カアルベシ神戶市ハ爾カアルベシト云フヤウナ考ハ毛頭持チマセス、各、其地方ニ於テ相當ナ計畫ヲ立テ、而シテ之ニ對シテ中央ニ於テ都市計畫委員會ヲ置イテ、ソレヲ調査シテ決定ヲスル、斯ウ云フ積リテ居ルノデアリマス、御尋ノ東京市ノ低地ヲ今ドウスルカト云フコトハ、是カラ後ハ考ヘタコトヲ注意ハ致シマススケレドモ、矢張東京市自身ヲシテ彼處ノ低地所ハドウスル、此處ニ例ヘバ貧民長家ガ固マッテ居ルカラ、其處分ヲドウスルト云フコトハ、各、地方ニ於テ案ヲ立テサセルニリガ居リマス

○高木正年君 私ハ小部分ニ付テ申シタノデナイ、東京ノ工業地ト稱スル本所深川ノ如キ、隣接スル王子ノ如キ、砂村ノ如キ、是等ノ爲メニ工業上ニ多大ノ損失ヲ齎シテ居リマス、或一會社ノ如キハ、四十三年ノ水ニ因ッテ二度ノ水害ニ依ッテ二百萬圓ノ損害デアッテ、殆ド東京ノ工業ヲ形造

ル是等ノ土地ニ於テハ、如何トシテモ工業ヲ接續スルニ付テ懸念ニ堪ヘナイ、是ハ頗ル大問題デアル、或ル小部分ノ低地問題デナイ、東京市ノ街路問題ガ大問題デアルト同時ニ、斯様ナ事ニ付テハ先ヅ内相ノ頭ニ無ケレバナラヌト思ヒマス、現ニ區域ニ付キマシテハ、市區改正條例ニ依ッテ大部分補助シテ居リマス、昨年改正ニナッテ市區改正條例ハ廢サレマシタガ、アノ精神ニ依ッテ見ルト、是等ノ町村ハ唯負擔ヲ命ジテヤッテ居ル、實際ニ於テハ斯様ナ土地ハ實行ガ出來ナイ、ソレ故ニ私ハ其部分ニ付テ申スノデナイ、殆ド東京ノ東北ニ屬スル部分ニ於テ斯ノ如キ狀態ニ今日ハナッテ居ル、衛生ノ點ニ於テ不安ヲ感ジテ居ル許リデナイ、所謂保安ノ點ニ於テ大々的ニ不安ヲ感ジテ居ル、是等ハ將來ドウナルカ、一方又此法案ニ依ッテ住宅地、工業地、商業地ノ區別ガ出來マセウケレドモ、併ナガラ商業地ト工業地ト區別ガ付イテモ、其隣接町村ニ於テ是モ此間ニ何トカ考慮ヲ拂ハヌト、有毒瓦斯ノ爲メニ住宅地ガ侵サレマス、是等ニ付テドウ御考ニナッテ居ルカ、都市計畫調査會ガ出來ルカラ、調査會デ何モ彼モヤルカラ、内務省デハ之ヲ一向考ヘテ居ラスト云フコトナラバ、甚ダ不用意ノコト、思ヒマス、ソレデ實際例ヲ二三舉ゲテ申シマス、殊ニ内務省ノ目ノ先ニ現レテ居ル事實デアリマスカラ申上ゲルノデアリマス、之ニ付テ何モ御考慮ガ無ケレバ御尋シマセス、ソレカラ立チマシタ序デアリマスカラ申上ゲマス、先刻横田君ガ御尋シマシタ私モ曩ニ申シタ内閣ノ認可云々ト云フアレハ形式上ノ意味デアリマスガ、或ハ責任上ノ意味ニ屬スルノデアリマスガ、一體私共此都市計畫法案ヲ受取テ、最モ不安心ニ感ジテ居ルノハ、先刻横田君ノ御質問ニナッテコトデ、是ダケノ重大ナ權限ヲ記スルニ、都市計畫調査會ノ議ニ依ッテ決マル如何ナル權限ガアルカ、法律ニハ少シモ書イテナイ、命令ニ依ルコトニナッテ居ル、執行上ノ責任ハ當局ニ在リマセウケレドモ、決定上ノ責任ハ調査會ニ在ルト考ヘマス、調査會ノ責任ハ頗ル重イ、併ナガラ調査會ハ一ノ諮問機關同様ナモノデアアル、責任ハ内閣ニ在ルト云フ意味デ認可ヲスルコトニナッテ居ル、唯、是ハ所謂形式上ノ文字デ、矢張調査會ノ議ハ内閣ガ形式上認可スベキモノト云フコトニ解釋シテ宜シウゴザイマスガ、責任上カラ來テ居ルカ、形式上カラ來テ居ルカト云フコトヲ御尋ヲシタイ、アリ様ヲ申セバ、調査會デ議定サレタ事ニ付テ個人ニ損害ヲ及ボシタ場合ハ、行政訴訟或ハ一般ノ裁判ニ持ッテ行クコトガ出來ル、併ナガラ大體ニ於テ調査會ガ決定シタ事ヲ、實際ニ行フ責任ハ當局ニ在ッテ、決定上ニ對スル責任ガ調査會ニ在ルトスレバ、ドウシテモ過日來私ガ申シタ、又横田君ガ申サレタヤウニ、モウ少シ調査會ノ責任ヲ明確ニ法律ニ書イテ戴ク、

此法案ヲ讀シテ見マス、丁度十一箇所程命令ニ任セル、此法案ハ大體ヲ通ジテ政府若クハ政府ノ機關トスル諮問機關ニ、總テノ國民ノ權利ヲ犧牲ニスルコトヲ任ス、謂ハハ無條件ノ委任狀ヲ貼ッテヤウナモノデアリマス、近來斯ノ如キ法案ガ屢、出テ來ル、如何トシテモ不安心ニ堪ヘナイ、先刻内務大臣ハ特別會計ヲ設ケルト言ハレタ、其特別會計ヲ設ケルニ付テモ色々規定ガアリマス、甚ダ此點モ不安心デアリマス、兎モ角此法案ハ如何ニシテモ行政廳ノ所謂權能萬能ニ任セルヤウナコトニナリシマフデアリマス、ドウシテモ調査會ノ職務權限ダケハ、法律事項トシテ、セメテハ此法律上ニ調査會ノ仕事ノ幅ダケデモ決メテ置キタイ、而モ私ノ唯今申シタ如ク、實際ニ於テハ内閣ガ責任ヲ負フノダ、ソレニシテモ矢張内閣ダケデ何事モヤレルト云フコトハ、今日ノ立憲時代ニ於テ少シ不穩當デアリヤウニ考ヘラレマス、ドウモ此法案ハ床次君ヲ御信用申セバ或ハ宜イカモ知レマス、床次君ガ萬代ノ内務大臣デナイデアリマス、私共ハ永遠ニ内閣ノ仕事ノ上ニ於テ過ノナイヤウニ、人民ノ權利ノ上ニ於テモ無暗ニ侵害ヲサレナイヤウニシタイと思フテ、質問スルデアリマス、其點ニ付テ吾々ガ意ヲ安ンジテ、此法律案ヲ議定スルコトノ出來ルヤウナ御答辯ヲ願ヒタイ

○國務大臣(床次竹二郎君) 頃ニ高木サンハ不用意ト仰シヤルガ、ドウ云フ御意味デアルカ私ハ分リマセヌガ、先程カラ申ス如ク、近來此都市ノ發達ノ狀況、並ニ都市ニ隣接スル郡村ノ狀況ヲ見テ、茲ニ都市計畫ヲ立ツル必要ガアル、斯ウ考ヘテ、ソレガ爲メニ此都市計畫ノ事業遂行上ニ關スル法案ヲ提出シタ譯デアリマス、何處其處ノ低地何處其處ノ工場敷地ト仰シヤイマス、色々此都市ニ關シタ仕事ハアルノデス、地域ヲ設定スルコトモアルダラウシ、道路ノコトヲ考ヘナケレバナラヌダラウシ、上水道モ下水道モアルダラウシ、其事ヲ計畫致シテ進メルノニ都合ノ好イヤウニ茲ニ法文ヲ作ッテデスカラ、ソレヲ作ルノニ東京市ノ本所深川ガドウデアアルノ、何處ノ低地ハドウデアアルノト云フコトヲ具體的ニ決メテ、此法案ヲ提出スル必要ハ無イト私ハ思フノデス

○高木正年君 御考慮ガアルカドウカト云フコトヲ伺フノデス

○國務大臣(床次竹二郎君) 考慮スル必要ハ無イト思ヒマス、併ナガラ實際多少ノ調査書ハ取ッテゴザイマス、ケレドモ、此法案ヲ決定スルニサウ云フコトヲ御話スルノ必要ハ無イ、ソレデ考慮シテハ居ラヌト申シタノデス

○高木正年君 是レ以上ハ議論ニナリマスカラ申シマセヌ

ガ、市街地建物法ニ依ッテ、或ル町村ノ一部ヲ市街地ト見テ建物法ヲ實施スルニ付テ、或ハ是ガ爲メニ土地ノ改良ヲシナケレバナラヌノ、色々費用ガ掛ッテ來ル、此場合ニハ一部ニ對シテダケ負擔ヲ命ズルト云フコトニナルノデスカ、勢ヒサウデアラウト思ヒマス、若シ果シテサウデアリマスレバ、其負擔ヲ命ズル者ニ對シテ、其町村ノ賦課ニ付テ、現在ノ町村制デアレナイコトハナイガ餘程ヤリニクイダラウト思フ、其邊ハドウ云フ御考ヲ持ッテ御在デニナリマス

○政府委員(池田宏君) 其點ハ大體地域ガ如何ニ決マルカト云フコトガ根本ニナリテ來ルト思フノデスカ、是ハ大體町村ヲ本ニシテ決メルヤウニシタイト云フ考デアリマス、自然サウナルダラウト思ヒマス、但シソレハ委員會ノ決定ニ依ルコトデアリマス、委員會ノ決定ヲ見マセヌケレバ分リマセヌガ、多分サウ云フコトニナルダラウト想像致シマス、去ナガラ地區ノ狀況ニ依リマスレバ、或ハ大字トカ一區トカ云フヤウナ所ニ限局サレル場合モアルダラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ場合ニハ、唯今御話ニナリヤウナ風ニシテ始末ヲ付ケテ往ク考デス

○高木正年君 不均一ニ課稅ヲスルト云フコトニナルノデスカ

○政府委員(池田宏君) 其積リデアリマス

○高木益太郎君 此都市計畫ノ第二條ノ方デ、都市計畫區域ヲ定メル場合ニハ關係町村ノ意見ヲ聞クト云フコトガアリマス、ソレカラ第三條ニハ都市計畫都市計畫事業及毎年度施行スベキ都市計畫事業ハ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ主務大臣ノヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受クベシトアリマシテ、關係町村ノ意見ヲ聞クト云フヤウナコトガ無イノデアリマス、ソコデ先刻來段々横山君、横田君、高木君、小山君ノ政府ニ對スル質問ノ趣意ハ、要スルニ都市計畫委員會ノ權限ガ餘リ廣過ギルト云フコトニ付テ、大分御心配ニナリヤウデアリマス、少クトモ矢張都市計畫、都市計畫事業、又ハ毎年度執行スベキ都市計畫ニ付テハ、矢張第二條ノ如ク關係町村ノ意見ヲ聞クト云フコトニナレバ、唯、意見ヲ聽クタケデアリマス、存外又意見ヲ聞イテ見ルト、東京ナラ東京、大阪ナラ大阪慣習經濟關係其他各般ノ事情ニ付テ、計畫委員會ガ知ラザル所ノ色々ノ知識ヲ得、便利ヲ得ルコトガ多カラウト思フ、單ニ此都市計畫ノ區域ノ場合ノミ、關係町村ノ意見ヲ聞カズシテ、第三條ノ場合ニモ矢張意見ヲ徵スル、慎重審議ヲスル途ヲ開ク、斯ウ云フ事柄ガ穩カハナイカト思フノデスカ、政府ハ之ニ對シテドウ云フ御考ヲ御持チデアリマセウカ、例ヘバ外國ノ立法例ニ見マシテモ、紐育ノ千九百十四年ノ法律トシテ、二百四十二條ニ於キマシテ「委員會ハ最終決議ノ議定ニ先チ其ノ草

案ノ報告ヲ爲シ且之ニ關スル公開演說會ヲ開催スヘシ其時機及會場ハ地所局之ヲ指定スヘシ」トアリマシテ、其公開演說會ヲ開催スル時期及ビ會場ハ市ノ公報ニ十日間連載スルト云フコトガゴザイマス、ソレカラ同法ノ總則及施行法ノ方ニ參リマシテ、第二十三條ニ「地所局ハ職權ニ依リ或ハ申請ニ依リ、公告及公開演說會ヲシタル後本決議ニ定メタル規定又ハ地域ヲ改訂増補又ハ變補スルコトヲ得」斯ウ云フ規定ガアリマシテ、十分民衆ニ演說會ヲ開キ、又其上ニ十日間連續シテ公告スルト云フヤウニ、周密ナル方法ニ依ッテ、行政處分ノ如何ト云フコトヲ彼等ノ頭ニ注入シテ、所謂聞打ト云フヤウナ事ノ無イヤウニスルト云フヤウナ規定ガ、紐育市ニ有ルコトハ、政府カラ提出シタ書類ニ依ッテ明白デアリマス、モウ今日ハ官憲方能ノ時代ハナイ、東京市ノ事ヲスルニハ東京市ノ人ト密接ニ能ク相談ヲシテ、彼等ニ會得セシメ、和氣霽々ノ裡ニ之ヲ施行スル方針ニ往カケレバナラヌト云フコトハ無論ノコトデアリマス、サウスレバ從來ノ市區改正規則ノ如ク、少數ナル委員、其委員ノ多クト云フモノハ、市ノ選出ノ市會議員デナク、却テ御役人ノ方ガ頭數ガ多イ、愈決ヲ採ッテ見ルト、御役人ノ方ノ頭數デ決マシマフト云フヤウナ時代ハ、餘程モウ舊式ナ時代デアリマス、所謂官僚式ノ語デアリマス、今日ハ所謂デモクラシイ民主主義ノ時代デアリマス、何處マデモ彼等ノ頭ニ入ルヤウニ、彼等ノ言モ能ク聞クト云フ途ヲ採ルコトガ必要デハ無カラウカ、第二段ニ於テハ、紐育ノヤウニ公開演說會ト云フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、例ヘバ池田サンナラ池田サンガ神田デ斯ウ云フコトヲヤルト云フコトニ付テ、神田ノ區役所、即チ神田ノ議事堂ニ利害關係ノ有ル町村民ヲ集メテ、斯ウ云フ風ニ私ハ思フテ居ラドウダラウ、此點ニ付テオ前達ハドウ云フ意見ガ有ルカ、意見ガ有レバ聽イテヤルト云フヤウナ工合ニ能ク案ヲ練ッテ、其練タモノヲ都市計畫委員會ノ原案ニスルト云フコトデアリマシタナラバ、何等苦情ガ無ク、大ニ市民ガ満足スルダラウト思フ、畢竟スルニ市民ノ衛生、交通、經濟、保安ノ爲メニスル話デアリマス、市民ノ頭ニ能ク徹底スルヤウナ手續ヲ履ンダガ宜クハナイカ、若シソレガ出來ナカッタナラバ、矢張第二條ノ如ク、第三條ノ場合ニ於テモ關係町村ノ意見ヲ聞ク、斯ウ云フコトガ私ハ好イ仕事デハナイカト考ヘル、其實例ハ頂度前ノ議會デ私カラシテ此目前ノ内閣ニ言ッテ點デアリマス、例ヘバ東京デ一番ノ中心地點ハ東京停車場デアアル、此停車場ガドナ工合ニ出來テ居ルカト云フト、一番ノ東京ノ商業ノ中心區域ト云フモノヲ背ロニシテシマシテ、山ノ手方ノ方ニ向ッテ停車場ノ入口ガ出來テ居ル、サウシテ電車トノ關係ハドウカト云フト連絡ガ著イテ居

ラス、甚だ面目クナイ、若シ是ガ東京ノ一番人口ノ密集シテ居ル所ノ商業中心ノ區域ヲ前ニシテコトデアラナラバ、サウスルト外濠ヲ越エテ日本橋通ヲ横切テ、一直線ニ淺草ノ方面ニ連絡スルコトガ出来ルト、丁度巴里ノ「シャンゼリゼー」ヤ伯林ノ「ウンテルデンリンデン」ト同ジヤウナ工合ニ、美觀ノ上カモ交通ノ上カモ良カラウト思フデアリマス、ソレヲ鐵道院ガデアナコトニ決メテ、出来上ッタデアリガ、市民ニ取テハ實ニ馬鹿氣タモノデアアル、アレハ山ノ手ノ爲メニ役人ノ爲メニ出来タ停車場デアルト云フ批評モアリマスガ、私ハ尤ナ事デアルト思フ、ソレデ鐵道院ノ諸君ニ向テモ色ニ御話ヲシ、更ニアノ入口ヲ商業ノ中心區域ノ方ニモ開イテ貫ヒタイモノデアルト云フノデ、現ニ願書ヲ出シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレハ實例デアリマスケレドモ、其外サウ云フ事實ト云フモノハ幾ラモアル、東京邊ノ事情ト云フモノハ三年や五年居テ分ルモノデアリマス、ドウシテモ東京學ト云フモノヲ——帝都學ト云フモノヲ研究シナケレバナラス、商業交通ノ關係、經濟關係ハドウ云フ程度デアアルカト云フ事ニ付テ、是ハ衆智ヲ集メテヤルト云フコトハ、眞ニ必要デアリナカ、ドウモ築港モ方ニ出来損テ居ルト、思ヒマスガ、今度此計畫ガ出来損フコトニナッテハ大變デア、芳川君ガ市區改正委員長トナ、テヤラレタ書類モ此處ニアリマスガ、第一回ノ書類ヲ見ルト、區長マデ入ッテ居ル、市區改正委員ノ任命ト云フモノハ、芳川顯正君ガ委員長デアツテ、ソレカラ一番下級ハ區長マデ入レテアル、其顔振レヲ見マシテモ、餘程人物ヲ集メテ居ルヤウニ思ヒマス、犬養君、田口君、芳野君、沼間君、須藤君、福田君、藤田君、角田君其他歴々ノ人ガ入ッテ居ル、是等ヲ見テモ、餘程商業經濟關係ヲ顧慮シテ居ルヤウニ思フデアリマスガ、斯ウ云フヤウニ此計畫委員會ニ付テモ、モウ少シ徹底スルコトハ出来ヌデア、間ノ連絡ヲ附ケルヤウナ方針ニ、御願ヒスルコトハ市民トアリマセウカ、偶、紐ヨリ立法例ヲ見テモ、斯ウナッテ居ルノデ、是程デナクとも、出来ルダケハシカリシタモノニシタイ、ドウモ折角四千何百万圓ノ金ヲ掛ケテ、角田君ノ時代ニ出来タ東京市ノ市區改正モ、今日ノ自動車ヤ何カノ往來ノ交通關係ヲ見ルト、根本カラ——少ナクとも幹線ト云フモノハ直サナケレバナラス、今度ハ又飛行機ヤ何カノ關係デ、飛行機デ以テ郵便ノ運搬ヲスルトカ、飛行機デ何十人ト云フ人ヲ乗セテ往來スルト云フ時代デアアル、ソレヲヤリ掛ケテ見テ又イケヌト云フヤウナ事ニナッテモイカヌト思フカラ、今度ハ一ツ餘程根本ノ二大々ノ私ハヤリタイト思フ、ソレニ付テ出来ルダケ多勢ノ意見ヲ聽クト云フ事ハ、或ハ苦情モナク適當デアリナカト考ヘル偶、外國ノ立法例ナドヲ見テモ、國民ノ要求ハ此位ニスルノガ相當デアナカラウカト考ヘ

マス、其點ニ付テ政府ノ意見ヲ承リタイ
○國務大臣(床次竹二郎君) 唯今ノ高木君ノ御話ハ、其御趣意ハ大體ニ於テ全ク私ハ御同感デアリマス、サウナルベキガ宜シイト思フノデス、ソレデ勿論此二條ニ付テハ關係郡市町村ノ意見ヲ聽クコトニナッテ居リマスガ、諸テ區域ガ決マデカラノ計畫トカ、計畫ノ事業トカ云フモノハ、是ハ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ決メルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスノデ、詰リ高木君ノ御趣意ハ、此都市計畫委員會ノ組織如何ニ依テ、達セラレ、ト達セラレヌノ關係ニナラウト思フノデス、尙ホ其上ニ總テノ意見ヲ聽クト云フコトモ宜シウゴザイマセウガ、併シ大體ノ委員ノ組織ガ、御趣意ノ徹底スルヤウナ工合ニ出来テ居リマシタナラバ、宜カラウト考ヘルノデアリマス、ソコデ先程モ申上ゲタ如ク、私ハ今度ノ都市計畫委員ト云フモノハ、之ヲ內務省ニ集メズシテ、各、其地方ニ設置ヲ致ス積リテ居リマス、全ク其點ハ高木君ト同意見デアリマシテ、地方ノ事ハ地方ノ人ガ最モ能ク知ッテ居ルト云フ關係カラ、地方ニ於ケル都市計畫委員設計計畫ハ立テルガ宜シイ、斯ウ云フ考デアリマス、地方デ決定メタモノヲ更ニ中央ノ都市計畫委員會ニ掛ケテ決定スル、或ハ全然地方ノ委員會ニ委セテモ宜イノデアリマスガ、ソコハ念ヲ入レタ方ガ宜カラウト思ヒマス、往々斯ウ云フ事業ハ土地ノ人ハ其土地ノ事ヲ最モ能ク心得テ居ルト共ニ、又多少情實ニ驅ラレヌトモ申サレヌノデアリマスカラ、時アテ妙ナ決定デモアルト云フ時分ニハ、モウ一遍之ヲ訂シ得ル途ノ殘デ居ル方ガ宜カラウト思フノデ、即チ地方ニ於ケル計畫委員ト、更ニ中央ニ於ケル計畫委員トヲ設ケテ審査スルコトニ致シタノデアリマス、地方ニ於ケル計畫委員ハ、或ハ全然之ヲ其都市ノ市會ニ委セテモ宜シイカモ、如レマセヌガ、併ナガラ又斯ウ云フ事業ハ特殊ノ技能智識經驗モ必要デアリマスカラ、市ノ關係以外ニ警察ノ事ニ當ッテ居ル人デアルトカ、若クハ實業ニ從事シテ居ル人デアルトカ、又ハ鐵道ナリ通信ナリノ事ニ從事シテ居ル人デアルトカ、又ハ鐵道色ニナ智識ヲ集メテ、其調査ノ任ニ當ルト云フヤウニシタ宜カラウト考ヘルノデアリマス、其故ニ此調査委員ノ組織ニシタノデアリマス、唯、其中ニ多ク市ノ公職ニ在ル人ガ入ルヤ否ヤノ問題デ、其中ニ多ク市民ノ意見ヲ代表スルダケノ人ガ入ッテ居レバ、改メテ市會ニ御諮リニナラナクとも、自ラ意思ノ疏通ハ取レルダラウト考ヘテ居リマス、唯、是ハ組織ノ如何ニ依ルコト、思ヒマス、大體ノ御主意ハ至極御賛成ヲ申シマス

必要トスル、然ルニ政府ノ方ニ他ニ空地ガアルト云フ場合ニハ、必シモ之ヲ買収シナイデ交換ヲスルト云フヤウナ事ガアルヤウデアリマス、ソレデ今日東京市ノ實況ヲ申上ゲマス、神田、日本橋、京橋邊リデハ、中ニ其附近ニ替地ヲ得ルト云フコトハ容易デナイガ、此條文ノ中ニハ換地ト云フコトモ含マレテ居ルト解釋シテ宜イノデアリマセウカ、若シサウ云フ解釋ガ出来ナイト云フコトデアッタナラバ、一方ニ希望ニ依ッテハ換地ヲ許スト云フ規定ヲ御設ケニナッタラドウデアラウカ、隨分市内ニハ澤山ノ官有地ガアリマシテ、今官有地調査委員ガ調査中デアリヤウデアリマス、ソレデスカラ此等ノ便宜ヲ開イテ置クト大變助カダラウト思ヒマスガ、此法文デアサウ云フ解釋ガ出来ル御見込デアラカドウカ、丁度今私ガ持ッテ居ル書類ニ依リマシテモ、東京市ニハ官有地ガ八百六十五万五千坪アッテ、東京ノ全面積ノ三分ノ一ニ當ル斯ウ云フヤウナコトガ書類ノ上ニ現ハレテ居リマスカラ、金デナク土地ト換ヘテヤルト云フ途ヲ開クト云フコトモ、市民ノ爲メニ必要デアナカラウカト思ヒマス、ソレカラ今一ツハ外國ノ立法例ヲ見ルト、土地ノ買収ニ就テハ陪審制ノヤウナモノヲ設ケテ、協定ヲスルコトガアリマスガ、今日ノ東京市區改正ニ依ル買収價格ノ結果ヲ見ルト、餘リ値段ガ安過ギル、例ヘバ一坪三百圓モスル地面ヲ百五十圓位ノ價格ニ協定ヲシテ居ル、司法省ノ登記所ニ行ッテ見ルト、ソレガ一坪三百圓ト云フ登記ノ價格ニナッテ居ル、斯ウ云フコトニ就テ色ニ非難ガアルヤウデアリマスガ、之ニ就テハ陪審組織デアルト云フヤウナコトハ、出来ナイデアリマセウカ、ソレニ就テ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ今一ツ伺ヒタイノハ、東京市民ノ福利ヲ増進スル爲メニ關係ノ大ナル瓦斯トカ、電燈トカ、電話トカ、又問題ノ起ルノハ自動車ノ如キモノデアルトカ、市民ノ公共ニ關スルコトニ就テ、或ハ手段ヲ執ッテハ如何デアラウカ、之ニ就テ紐育ナドニ於テハ、特ニ監査委員ヲ設ケテ、ソレガ爲メニ一局ヲ置イテ居ルヤウデアリマス、デ都市ニ在ッテハ例ヘバ自動車ナドニ就テハ大資本家ガヤッテ居ルノデ、色ニノ點ニ於テ勢力ヲ有ッテ居ル、或ハ自動車會社カラ市會議員ヲ出シテ居ルトカ云フコトデ、自己ノ利益ヲ圖ラントスルヤウナ事ニナッテ居リマス、ソレデ市民ノ方ハドウカト云フト、瓦斯ノ如キハ甚ダ怪シカラヌ話デ、供給ガ不足デアアル、幾ラ催促ヲシテモ十分ナル供給ヲシナイ、電燈ニ就テモ同様ノ弊害ガアル、斯ウ云フ公共ノコトニ就テハ、官吏以外ニ特別ノ監督機關ヲ設ケテ、大ニ市民ノ經濟、衛生、生活、其他ノ關係ヲ十分ニ監査シテ——市民ノ方デハ一々電燈會社、瓦斯會社、自動車會社ヲ相手取、テ訴ヲ起スト云フコトモ出来ナイ、此頃或人ガ、瓦斯會社ノ供給ガ不十分デアルト云フコトデ訴ヲ起シテ、極ク僅カナ金

額アリマスガ、瓦斯會社が敗訴トナッテ支拂タト云フコト
アリマスガ、日本デハ一々損害ガアツ、設備が不完全デア
ルト云フヤウナコトデ、訴ヲ起スヤウナコトハシナイノデアリマ
スカ、サウ云フ場合ニハ市ノ公共ノ利益ヲ代表スル、監査
機關ヲ設ケルト云フヤウナコトニ就テ、内務大臣ハ如何ナル
御考ヲ持ッテ居ルカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ今一ツは紐
有デヤッテ居ルコトデアリマスガ、或ル時間ヲ限リ總テ往來
ヲ兒童ノ爲メニ開放シテヤッテ居ルヤウデアリマス、即チ或ル
時間ハ自動車其他一切ノ危險ノ交通ヲ止メテ、兒童ヲ遊
ハセルト云フコトニナッテ居ル、是ハサウシナイト都市ノ兒童
ハ公園ヘ行クト言フデモ中々距離ガアル、家ニ居ッテハ惡イ空
氣ヲ吸ッテ居ル、隨テ體格ガ非常ニ弱クテ、田舎ノ子供ト比
ベルトト人間モ一方ハ丈夫ノヤウデアアルノニ、一方ハ細ク
テ長イ、弱シイ、是ハ内務省ノ調査ニ依ッテ見テモ明デア
ル、ソコデ紐有ノ如キハ或ル時間ニ限ッテ往來ヲ兒童ノ爲メ
ニ開放シテ、運動サセルト云フコトニシテ居ル、私共ノ子供
ノ時ニハ、家ノ前デ紙鳶ヲ揚ゲル羽子ヲ突クヤウナコトモ、
何デモ出來タガ、今日ハ其程ノコトハ出來ナイトシテモ、紐
有デヤッテ居ル位ナコトヲスルコトハ必要デアルト思フ、將來
ノ東京市民ヲ拵ヘルノニ弱イ者許リ拵ヘテハ仕方ガナイカ
ラ、或ル時間、例ヘバ午後四時ノ營業時間ガ過ぎタナラバ、
四時カラ五時マデ、或ハ五時カラ六時マデ往來ヲ開放シテ
勝手次第二子供ヲ遊バセル、今日ノ有様デハ往來ヲ歩イテ
居テモ、後カラ自動車ヤ自轉車ガ飛ンデ來ルト云フヤウナ
コトデ、危クテ安心シテ歩クコトモ出來ナイト云フ狀態デア
ル、是ハ何トカ考ヲ回ラス必要ハナイデアラウカ、公園ヘ行ク
ト言フデモ私共ノ所カラ日比谷公園マデ寒イノニ歩イテ行
クコトハ困難デアル、殊ニ此頃ノヤウニ風邪ガ流行スルカラ
子供ノ爲メニモイカヌ、斯ウ云フヤウナ點ニ付テ内務大臣ハ
ドンナ考ヲ御持デアアルカ、之ヲ伺ヒテ置キマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 第一ノ換地ノ處分ニ付テ
ハ、例ヘバ官有地ト民有地ノ換地處分ト云フコトハ、是ハ
此中ニ無クモ現行法令ノ適用ニ依ッテ出來ヤウト思ヒマ
ス、ソレカラ地區此都市計畫事業ニ伴ッテ自然換地ノコト
マデ考ヘナケレバナラヌヤウナコトニナッテ居ル、例
ヘバ道路ヲ開クトサウスルト道路敷ノ一方ハ其儘デ、家並
ハ道路敷ニカ、ルトサウスルト、收用サレタ地主ハ行キ場ニ
困ルト云フヤウナコトガ今日有ルノデアリマスガ、其等ニ
付テハ此十六條ノ二項ニ規定シテアル所ニ依ッテ、相當ノ道
ガ取レルト云フコトニナル積リデス、ソレカラ現在ノ市區改
正事業ニ於ケル土地收用ノ手續ハ、大分是ハ古い規定ニ
依ッテ居リマスノデ、今高木君ノ御話ノ如ク隨分無理ナ事

モアルノデス、今度ハ一般ニ土地收用法ヲ適用スルヤウニ
改メシテ、其結果ハ自然土地ノ收用ニ當ッテハ、土地收用
審査會ナルモノモ開カケレバナラヌノデ、此法案ハ矢張時
代ニ應ジテ相當權利ノ保護上ニモ宜シイト思フノデス、ソレ
カラ公共事業ノ瓦斯電氣ノ如キコトニ付キマシテノ監督
ハ、其監督ノ規定ニ在ルモノモアリ無イモノモゴザイマス
ガ、缺ケタルモノハ追テ規定ヲ造ル必要モアルト思ヒマス
レドモ、是ハ平生市ト致シマシテモ、誰カ特別ノ人ヲ置イテ
常ニ注意シテ居ルト云フコトハ必要ダラウト思フノデス、此
都市計畫ノ方ノ側カラ申シマスレバ現在ノ市區改正委員
會ノ權限ノ中ニ委員會ハ委員又ハ臨時委員ヲ派遣シテ
市區改正事業執行ノ狀況ヲ檢査セシメ設計ノ施行ニ關シ
必要ナル事項ニ付關係市町村長ニ照會シ時宜ニ依リ内
務大臣ニ云々トアリマス、其様ナ條項ガアルノデスガ、大體
規定ノ缺ケタモノハ造ル必要ガアラウト私モ思ッテ居リマス、
サウシテ市ニ於テ相當ナ人ヲ置イテ注意サル、ト云フコトハ
最モ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ末段ニ兒童ノタメニ道路
ノ開放ヲスル紐有ノ事例ノ如キハ餘程是ハ面白イ遣方ダ
ト思ヒマスガ、其等ノ事ハドウシテモ内務省ト致シマシテモ
注意シナケレバナラヌガ、市トシテハ都市ノ行政ノ任ニ當ル
人ガ能ク注意致シテ相當ナ事ヲナスベキモノト思ヒマス

○三輪市太郎君 私ハ今日補缺員トシテ初メ出タノデ
アリマスガ、其當時ニ於テハ餘程質問モ致シタイト思ヒマシ
タガ、參考書ナリ或ハ諸君ノ質問應答ナドヲ新聞ナド承
知シテ居リマスカラ、私ハ一二點御問致シタイト思ヒマス、ソ
レハ市區改正ト鐵道ニ關聯スル事項デゴザイマス、實例舉
ゲテ御尋シタ方ガ宜カラウト思フ、名古屋ニ於テ近頃名
古屋停車場擴張問題ハ多年ノ懸案デアッテ其改築ノ方法
等ヲ豫メ此頃進メラレタコトヲ記憶致シテ居ルノデゴザイマ
スガ未ダ是等ニ對シテハ、土地收用ト實際ノ仕事ハ進ン
デ居ナイノデゴザイマスガ、此都市計畫法案ガ通過シタナ
ラバ、此第六條等ニ依ッテ公共團體若クハ行政廳ニ於テ
所謂差増稅ト云フカ増加稅ト云フカ是等ノモノヲ財源ト
シテ計畫ヲ立テタナラバ、一面ニハ此都市ノ改正ト相俟
テ大變便利デアラウト思フ、所謂停車場ハ一家ニ於ケル左
關口ノヤウナモノデアッテ、ドウシテモ此市區改正ト停車場
トハ、離レベカラザル所ノ關係ヲ有ッテ居ルモノデアル、併シ
高架鐵道トカ其他到底不可能ノコトヲ、假リニ其地方ノ
人ガ唱ヘルコトハ、固ヨリ其鐵道院ノ方モ御同意ニナラス
コトハ明カデアル、實際交通上ニ何等設備ニ支障ヲ來サヌ
程度ニ於テ、而モ其財源ハ方法ニ依ッテハ、或ハ増加稅等ニ
依ッテ財源ヲ見出スコトガ出來テ、餘程便利ナ法案ノヤウニ
ナッテ居ル、マダ何等ノ設備ヲサレテ居ラヌ場合デアアルカラ、

幸ニ此法案モ此議會ニ通過スルトシテ見レバ、斯ウ云フコ
トニ付テハ政府ハ如何デアラウカ、此法案ノ結果ニ依ッテ
此都市計畫委員會ノ意見ヲモ參酌サレテ、彼ノ改築ヲ施サ
レルノ意思ハ無イモノデアアルカ、アレハアレデ、進メルデア
ルカ、私共ノ考トシテハ方法如何ニ依ッテハ三十幾万坪ノ土地ノ收
用代金ハ餘程減額スルコトガ出來得デアラウト、ト斯ウ云
フコトヲ心付イタ爲メニ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマ
ス、ソレカラ第二ハ是ハ御尋スルマデモナイ事ノヤウニ思ヒ
マスガ、此都市計畫ノ目的ハ、交通等ニ最モ重キヲ置イテ
居ラレルヤウデアリマスガ、今日ノ六大都市ノ中ニモ電鐵若
クハ瓦斯等ハ營利會社經營シツ、アル土地モアルノデア
リマス、斯ウ云フモノハ或ハ此都市計畫委員會ニ於テ市營
ニ移スガ宜イト云フヤウナコトヲ——當然斯カル問題ハ其
權能ニ屬スルカノ如ク解釋サレマスガ、果シテ私ノ解釋通り
デ間違ヒハナイノデアラウカドウデアラウカ、此二點ヲ御尋
致シタイ

○國務大臣(床次竹二郎君) 第一ノ鐵道ノ停車場ナド
ト都市計畫トノ關係デアリマスガ、都市計畫法ガ出來デ、
其範圍ニ屬スルコトハ無論ソレニ依リヤウニ努メナケレバナ
ラスト思フノデス、又今日都市計畫ノ立ッテ居ラヌ所デモ、
實際ニ於テ停車場ノ新築改築等ニ付キマシテハ、公式ナリ
非公式ナリ、何等カノ方法ヲ以テ其市ノ意見ハ成ベク聽ク
コトニシテ居ルノデス、先刻名古屋ノ事ニ付テハ小山君カラ
モ御尋ガアリマシタガ、唯今鐵道院デ計畫シテ居ルノハ千
何百萬圓デアリマシタカ、今ノ停車場ヲドツチノ方面ニナリ
マスガ、市カラ離レタ方ニ移スコトニナッテ居リマス、サウシテ
其處ハ高架式デハゴザイマセス、高架式ニナッテ居ラヌノハ
市ノ狀況カラ申シテ強テ高架式ニスル必要モナイト判斷致
シタノデアリマス、ケレドモ其判斷ガ誤ッテ居ルト云フナラバ、
更ニ鐵道ノ線路ヲ他ニ邪魔ニナラス所マデ移スカ若クハ其
處ニ置クナラバ現在デハ餘程多クノ金ヲ要シマスカラ、如
何ニスルカ考慮シナケレバナラヌ譯デアリマスガ、唯今ハ御
話スル通りノ考ヲ以テ設計致シタノデアリマス、ソレカラ都
市計畫ト例ヘバ電車ナドノ私設ノ電車ヲ市營ノ電車ニ移
スヤ否ヤト云フヤウナコトハ、是ハ都市計畫トハ關係ノナイ
積リデアリマス、其方ハ宜シク政府自身ニ於テ、事柄ハ決定
スルガ宜シカラウト思ッテ居リマス

○三輪市太郎君 大體了解致シマシタ、第一問ノ方デゴ
ザイマスガ、サウスルト要スルニ現在ノ名古屋停車場ノ擴張
工事ノ方法ハ、唯今大臣ノ御述ベノ如ク、到底高架鐵道
ノ如キコトハ是ハ吾ト雖モ不可能ナコトハ能ク存ジテ居
リマスガ、別段設備ニ何等不便ヲ感ジヌ、云フ程度内ニ於
テ、而モ此鐵道院ノ經營ヲ減ズルト云フ方法ガアルトスレ

バ、此頃示サレタモノハ確定不動ノモノデハナイ、多少ノ尙
ホ御考慮ノ餘地ハアルモノト判斷シテ宜シウゴザイマスカ
○國務大臣(床次竹二郎君) サウデス、金ガ掛ラナイ
デーマア少々ハ掛テモ仕方ガナイガ、大層之ニ勝テ便利
ナ方法ガアルトスレバ、勿論耳ヲ傾ケナレバナラヌノデス
○川崎安之助君 私ノ御尋シタイコトハ、諸君ノ御質問
ニ依テ大抵ハ了解シマシタガ、唯、二三簡單ニ御尋致シ
マス、此法案ニ依リマス、宮城下カ或ハ皇居ニ對スル關係
ガ明記シテアリマス、ソレハ定メテ市街地建築法ノ第十五
條ニアル、所謂美觀地區ト云フコトニ依テ整理サレノデ
セウガ、所ガ美觀地區ノ中ニハ或ハ公園デアルカ、名勝地
デアルカ云フヤウナモノノ混テ居ル、苟モ神聖尊嚴ヲ保
タナレバナラヌ皇居ヲ淺草公園ノヤウナ俗惡ナ地ト同ジ
名稱ノ下ニ之ヲ取扱フト云フコトハ、國民ノ風教ノ上ニ於
テ如何デアラウカ、餘程尊嚴ヲ害スルモノト私共ハ思ヒマス、
此點ニ付テハ立法ノ當時ニ於テ、此美觀區域ト云フコトニ
付テハ、色々御覽穿ノアツタコト思ヒマスガ、何カ他ニモウ
少シ皇居ニ對シテハ名前ノ付ケ方ガナイモノデアリマセウカ、
此點ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(床次竹二郎君) 皇居所在ノ附近ニ於テハ
實ハ何等明文ヲ掲ゲヌデモ、其任ニ當ル人ニ必ズ相當ナ
考ヲ致スコト信ジテ居ノデス、併シ若シ強テドレカノ條
文ニ依テ處置シナレバナラヌト云ヘバ、第十五條ニ御尋
ノ如ク依リ譯デアリマス、併シ條文ノ適用ナシニ自ラ解決ガ
付タラウト思ヒマス

○川崎安之助君 唯今ノ御答辯ハモウ少シ不徹底ノヤウ
ニ思ヒマスガ、寧ロサウ云フ不徹底ノ方却テ宜イカモ知レ
マセヌ、ソレハ是デヤメマス、次ハ監獄デスガ、私共ノ考ハ監
獄ハ建築物法ノ第二條、若クハ第三條ニ該當スルモノデア
ラウト思ヒマス、即チ住居ノ安寧ヲ害シヌハ商業ノ利便ヲ
害スルモノデアル、然ルニ實例ヲ舉ゲテ申シマス、京都市
ノ監獄ナルモノハ現在離宮ト境ヲ接シテ居ル、殊ニ又京都
ノ住宅地若クハ商業地トナルベキ地、アノ尤大ナル所ノ監
獄ガ存シテ居ル、是ハ都市計畫ヤル時分ニハ必ず何處カ
ニ移轉シナレバナラヌト云フコトニナルハ當然ノコトデア
リマス、其場合ニ國家ハ果シテ國家ノ費用ヲ以テ移轉サレ
ルノデアリマスガ、或ハ下級團體タル都市ニ向テ其補償ヲ
要求サレノデアリマスガ、其點ヲ明カニシテ置キタイ思
ヒマス

○國務大臣(床次竹二郎君) サウ云フ今御尋ノ如キ個
個ノ問題ニ付テハ考ヘテ居リマセヌカラ、今此處デ明カニ申
上ゲ兼ネマスガ、併シ官廳ニ屬スル建築物デアツテ、極メテ不
都合ナリトシテ移轉ヲ要スルモノガアリマスル時ニハ、官廳

自ラ處理ヲスルガ宜カラウト思ヒマス、但シ獨リ今御話ノ例
ニ限ラヌ、此建築物法案ヲ施行スルコトニナリマシテモ俄ニ
之ヲ履行シナレバナラヌト云フヤウナ事ニナリマシテハ、何
レノ方面ニ於テモ難義ヲ感ズルコトニナルダラウト思フノデ
スカ、其施行上ニ付テハ餘程手加減ヲ要スルモノト思ヒ
マス、獨リ建築許可デアリマセヌ、此都市ノ計畫ト云フヤウ
ナ事ハ大事業デアリマスカ、之ヲ急速ニ遂行セントスルガ
如キハ、單リ事柄ガ難義デアルノミナラヌ、却テ其目的ヲ達
スル譯ニモナルマイト思フノデス、其處ハ執行者ニ於テ餘程
手加減ヲ致サナレバナリマイト思ヒマス

○川崎安之助君 先刻來鐵道ノ問題ガ出テ居リマスカ
幸ヒ大臣ハ鐵道院ノ總裁デアリマスカラ承テ置キマスガ、
小山君カラモ今朝京都市ノ鐵道ノ事ニ付テ御尋ガアリマ
シタガ、御承知ノ通り京都市ノ入口ニ於テ現在鐵道ガ横
斷シテ居ル、京都市ガ折角工業地タル傾向ヲ持チナガラ、
鐵道ノ爲ニ阻碍サレテ發展ガ出來ヌト云フヤウナ傾向ヲ
持テ居リマスカ、私共ノ承所デハ、京都市ノ停車場ガ出
來マス時ニ、市ノ地域内ニ於テハ高架線ニナルヤウニ間イ
テ居リマシタ、然ルニ御大典ニ付テ京都市停車場ノ改造ヲ急
イダ爲メニ、高架式ヲ廢メタト云フ事デアリマス、京都ノ停
車場ハ近頃出來タモノデ便利ニ出來テ居リマスカ、アレハ
永久的ノモノデ無クシテ、二十年カ三十年位維持シタラ宜
イノデアラウト思ヒマスガ、若シ彼ノ停車場ヲ改築スル時期
ニ至リマセバ、政府ハ當初ノ通り彼ノ京都市ヲ横斷シテ
居ル所ノ鐵道ハ、高架線ニ爲サル御意思ガアルカドウカ承
テ置キタイ

○國務大臣(床次竹二郎君) 唯今川崎サンノ京都驛ノ
事ハ、私能ク其事情ヲ此處デ御答ガ出來マセヌガ、併シ鐵
道ノ建設モ市ノ發達ニ妨害ヲナス譯ニハ行キマセヌシ、寧ロ
發達ハ助長スルヤウニ仕向ケテ行カナレバナラヌノデアリ
マスカ、京都ノ事ハ能ク知リマセヌケレドモ、今出來テ居
ル所ノ停車場デモ、將來或ハ高架式ニシタイ、高架式ナラ
ザルモ改良ヲ致シタリシナレバナラヌ處ハ、彼方此方ニア
ル譯デアリマス、若シ京都ノ狀況ニシテ愈、已ムヲ得ヌト云
フコトニナリマセバ、御話ノ如キ計畫ヲ致スヨリ外ナイカモ
知レマセヌ、併シ今日ニ御答ハ出來マセヌ

○川崎安之助君 建築物ト云フ定義ニ付テ少シ伺テ置
キタイ、是ハ政府委員ノ方デモ固ヨリ結構デゴザイマスガ、
此建築物法ヲ見マス、總テ建築物ト云フモノハ普通ノ家、
即チ家屋ニ限テアルヤウデアリマスガ、家屋以外ニ物見臺
ト云フヤウナモノデ鐵道カ木材ヲ以テ高イ物ヲ拵ヘテ、サウ
シテ眺望ヲ恣ニスルト云フヤウナモノガ随分アル、斯ウ云フ
物ハ果シテ建築物ノ中ニ含有サレルノデアラウカ、尙ホ其他

ニ或ハ市中ノ眞中ニ銅像ヲ建テル、又ハ賣藥ノ廣告デア
ルカ隨分都市ノ美觀ヲ殺グヤウナ物ガ現在澤山アリマス
ガ、是等ハ此法案ノ中ニ含有セズシテ、現在ノ如ク警察行
政ヲ以テ取締ラレルモノデアルカ、ドウカ承リタイ、尙ホ序ニ
都市計畫法ノ第六條ニ於キマシテ「都市計畫事業ノ執行
ニ要スル費用ハ行政官廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ國」
トシテアル、其次「公共團體ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行
スル場合ニ在リテハ其ノ公共團體トアル、上ノハ行政官
廳」デアツテ次ノ「行政廳」トシテ、官ノ字ガ付イテ居ナイノ
ハ、何カ區分ガアルノデアリマスガ、ソレカラ第八條ノ特別稅
ノコトデアリマス、之ニ同ジ直接國稅デアリナガラ所得稅ヲ
除カレタ理由ハ何故デアルカ、ソレカラ地租割ニ於テ東京
市區改正條例ニ依リマスル、耕地ノ地租ヲ除クコトニナ
テ居ル、此度ノ法令ニ於テハ矢張耕地ノ地租ニモ課スルコ
トニナサレタガ、是ハドウ云フ譯デアルカ、此點ヲ承リタイ

○政府委員(池田宏君) 建築物法ノ豫想シテ居リマス
建築物ハ、是ハ單リ家屋ニ限ラナイ積リデアリマス、然ラバ
如何ナル範圍マデノ建築物ヲ含ムカト云フコトハ、施行規
則ノ問題ニナリマスガ、唯今御話ニナリマシヤウナ家屋以
外ノ建築物ニ對シマシテハ、ソレハ建築物法ノ第二十五條
デ適當ナル規定ヲ設ケタイト云フ積リデアリマス、即チ銅像
デアルトカ或ハ假設建築物ノヤウナ物、或ハ煙突ノ如キモノ
ニ對シマシテハ、此建築物法ヲ其儘適用スルコトハ六ヶ敷
イ場合ガアリマセウカラ、ソレハ其方デ適當ナ措置ヲ致ス積
リデアリマス、ソレカラ都市計畫法ノ第六條ニ「行政官廳ト
行政廳ト書分ケテアリマスノハ、是ハ行政官廳ト申シマス
ル時分ニハ國ノ官廳ヲ指スノデアリマシテ、公共團體ヲ統
轄スル行政廳ト申シマスノハ府縣以下ノ行政廳ヲ指スノ
デアリマス」次ニ第八條特別稅中ニ所得稅ニ付テ何等ノ規
定ヲ致シマセヌデシタノハ、是ハ全ク再々申上ゲマスル通り
大體ニ於キマシテ市區改正條例ヲ踏襲シヤウト云フノガ本
デゴザイマシテ、財源等ニ付キマシテモ今日マデ市區改正條
例ニ於テ認メマスモノヲ、先ヅ此法ノ中ニ列舉スル、其他ノ
モノハ十分ニ考慮ヲ致シマシテ、四號ノ中デ定メル必要ガア
レバ定メルヤウニシタイト云フ意味デアリマス、地租割ノ事
ニ付キマシテ耕地ヲ除キマセヌノハ、是ハ今日ノ都市ノ内外
ニ於ケル宅地ノ發展ノ狀況カラ考ヘ、都市ノ發展ノ狀況カ
ラ考ヘマシテ、此法案ニアリマスル如ク都市計畫ノ仕事ヲ
區域内ニ施行シマスルニ於キマシテハ、獨リ宅地ニ對シテノ
ミ地租ヲ課シ、其他ノ土地ニ對シテ地租ヲ課サナイト云フ
理由ガ無イト思ヒマシタカラ——同ジデアルト思ヒマシタカ
ラ其點ニ付キマシテ、特ニ小ナル改正ヲ致シタ譯デアリマ

○磯貝浩君 矢張補助ノ事ニ付テ一二點伺ヒタイト思ヒマス、本案ノ如キハ普通ノ法案トハ其趣ヲ異ニ致シマシテ、其效果ハ全ク直チニ經費ノ輕重ト並行アルモノデアルト思ヒマス、故ニ其效果ヲシテ大ナラシメントスレバ其經費ハ直チニ多額ヲ要スルト云フコトハ論ヲ俟タヌコトデアリマス、而モ本案ノ運用ハ其地域ガ限定サレタルノデアリマス、今日此都市ノ改善ヲ圖リマスノハ、今日ヨリシテ其緩急ヲ圖リ著手スルニアラザレバ、將來ハ益々困難ナル事情ニ陥ルコトハ明カナコトデアルト思ヒマス、何レノ都市ニ於テモ是ガ實行ニ當リマシテ、極メテ困難ヲ感ズルハ財政ノ點デアリデアリマス、又本法ノ運用ヲ骨子トモ申スベキモノハ確カニ財政問題デアルト思ヒマス、元來都市即チ此本法ノ施行ヲ要シマス所ノ都市ノ如キハ、先刻モ横田君ガ申サレマシタ如ク、常ニ國家ニ對シマシテ普通ノ自治體ヨリハ餘程重大ナ負擔ヲ支拂フテ居ルノデアリマスガ、故ニ國家モ亦其都市ガ社會的重大ナ勤キヲ爲ス行爲ニ對シマシテハ、當然相當ノ報酬ヲ與フベキモノデアルト私ハ思フノデアリマス、今日内務大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマシテ、政府ノ御意思ノアル所ハ略々承知致シマシタケレドモ、未ダ如何ナル方法ニ依テ補助ヲ與ヘラル、カト云フコトハ、全ク未定ノ問題ニ屬シテ居リマス、内務大臣ノ御辯明ヲ承リマスルト、ドウシテモ國家ガ之レニ向テ補助ノ價無シト云フコトガ當然ノヤウニ聞ヘルノデアリマスルガ、其事柄ガ明記ヲ缺イテ居ルノハ最モ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、實際ニ於テ舊都市ノ改善若クハ新都市ノ計畫ヲ、假令其一部分ニテモデス、是ガ實行ヲ遠グントシマスレバ、番ニ本案ニ規定サル所ノ收入ノミニ依リテ爲シ與フモノデアリト云フコトハ、無論ノコトデアリマス、故ニ援助ノ方法ニ付テモ政府ハ必ズシモ一時ニ多額ノ費用ヲ出サレナクとも、私ハ方法ガアルト思フノデアリマス、ソレハ所謂特別會計ノ方法デモ設ケラレマシテ、低利ノ資金ヲ貸與セラル、ト同時ニ、其利率ノ補助ヲ與フルト云フガ如キハ、極メテ少額ナル金ヲ以テ大ナル資金ノ運用ヲ助ケマスルガ故ニ、小サキ金ニ於テ大ナル仕事ヲ爲シ得ラルルト私ハ思フノデアリマス、此等ノ如キハ極メテ此法案ヲ實行スルニ當ッテ、補助ヲ與フルノ最モ適當ナ方法デアアルマイカト私ハ思フノデアリマス、又其他ニハ官有土地ノ無代下附ノ如キモ、何レモ補助ノ方法デアアルノデアリマス、其故私ハ是非先刻モ横田君ノ申シマシタ如ク、補助ヲ爲スコトヲ得ルト云フ事ヨリモ、是ハ今一應内務大臣ニモ篤ト御考慮ヲ煩シマシテ「スベシ」ト云フ改正ニ願フコトガ出來レバ幸デアルト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ特ニ承ッテ置キタイノハ、現今市ニ於テ實際ニ其市ノ單獨ナル收入トナルベキ金額、私ハ之ヲ特ニ稅トハ言ヒタクナイ、所謂稅金デハナ

イノデアリマス、收入スベキ金額ト私ハ之ヲ申スノデアリマスガ、此收入スベキ金額ガデス、地方議會ニ於テドウ扱ハレテ居ルカト申シマスルト、或ル場所ニ於テハ、郡市ノ關係上、市ハ常ニ郡部ニ屬スル議員ノ頭數ノ利用ニ依リマシテ、當然其市ノ收入トナルベキモノガ、市ノ收入ニナシテ居ラナイノデアリマス、是等ハ本法ノ施行ヲ要シマス市ニ於テハ、實際ニ於テ極メテ大ナル關係ヲ有スルモノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ其收入金額ガ一ヶ年ニ二十萬圓アリトスレバ、五萬圓ノ利率ノ公債ヲ補助致シマシテモ、四百萬圓ト云フ金額ヲ永遠ニ運用スルコトガ出來ルノデアリマス、斯ウ云フ事柄ニ對シテハ、兎ニ角是ハ唯地方ノミニ依テ之ヲ改正シ得ルコトハ到底望ムコトガ出來ナイノデアリマス、所謂本法第八條第四項ニ規定サレタル如キ事ハ、斯ウ云フヤウナモノニ應用スルモノデアアルマイカト私ハ存ズルノデアリマスルガ、此點ニ就テ政府ノ御所見ヲ承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○國務大臣(床次竹二郎君) 補助ノ規定ヲ設ケタイト云フ重ネテノ御話デアリマスルガ、實際ノ今日ノ事ヲ申上ダマスレバ、例ヘバ水道ノ補助、若クハ築港ノ補助、又ハ今ハ在リマセヌケレドモ、東京市ナドニハ是カラ下水大工事ヲ起サナケレバナリマスマイガ、サウ云フヤウナ時ニ當ッテハ、ドウシテモ是ハ補助ヲシナケレバナリマス、現在港灣又ハ上水道ニハ補助ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ニハ何ニモ規定ハ無イノデアリマス、其事業ノ必要ニ應ジテヤルノデアリマス、デスカラ此處デ規定ヲ加ヘルト致シマシタ所ガ、都市計畫事業遂行上必要ナル事ニ付テハ、一部ノ補助ヲナスコトガ出來ルト云フコトヲ書クヨリ外ハナイノデスカラ、今日實際ヤッテ居ルノデ、ソレデ先程カラモ申ス如ク敢テ之ヲ挿入スルニ及バヌト、斯ウ申スノデアリマス

○政府委員(池田宏君) 第二ノ御問ニ對シマシテハ、便宜私カラ申上ダマスガ、御話ノヤウナコトハ確ニ地方ニ依リマシテアルト私モ考ヘテ居リマス、ソレハ今日ノ地方制度ノ運用ノ問題デアリマスノデ、本案ニ於テハ其點ヲ如何ニスルカト云フコトヲ考ヘテ居リマセヌ、一ニ地方制度ノ運用上ノ議論トシテ、研究スベキ問題デアラウト思ヒマス

○磯貝浩君 唯今ノ御説明ニ依リマスレバ、當然地方制度ノ運用ニ依ルノハソレハ論ヲ俟タナイノデアリマスガ、特ニ本案ガ御提出ニナッテ、此法案ヲ施行スルト云フ市ニ對シマシテハ、先刻申シマスル知ク極メテ其財源ニ苦シデ居ルノデアリマスカラ、右様ナ事實ハ第八條第四號ニ據ッテ御取扱ニナルコトハ、全ク出來ナイモノデアアルカト云フコトヲ私ハ承リタイノデアリマス

○政府委員(池田宏君) 第四號デハ唯今御話ノヤウナ

事ハ扱フト云フ考デアリマセヌ

○委員長(法學博士小山溫君) 丁度四時ヲ打チマシタガ、マダ進ンデ御遣リニナリマスカドウシマセウ

〔「モウ今日ハ是デ散會ヲ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(法學博士小山溫君) ソレデハ今日ハ是デ止マス

午後四時一分散會